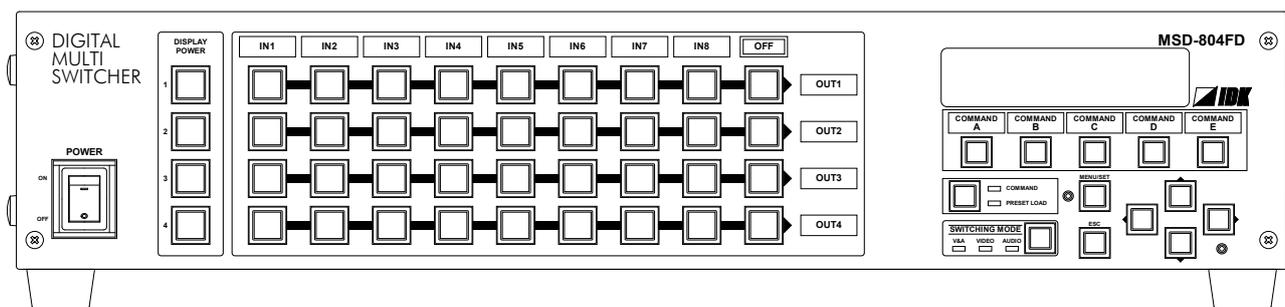


# デジタルマルチスイッチャ MSD-804FD

<コマンドガイド>

取扱説明書 Ver.1.2.3



- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

## 商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または、登録商標です。
- HDBaseT™および HDBaseT Alliancer ロゴは、HDBaseT Alliance の登録商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- Microsoft, Windows, Internet Explorer, および Visual Basic は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft® .NET は、お客様、情報、システムおよびデバイスを繋ぐソフトウェアです。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。  
なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。

# この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図や通信コマンドなどが、一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.idk.co.jp/>

## 取扱説明書の分冊構成

この取扱説明書は、目的に応じて分冊で提供しています。必要に応じて、各取扱説明書をお読みください。  
なお、コマンドガイドについては、ホームページからの提供となります。

### ■ ユーザーズガイド

[目的]

- ・簡単な操作方法を知る。
- ・設置し、他の機器と接続する。
- ・入出力調整や設定などをする。

### ■ コマンドガイド (本書)

[目的]

- ・シリアル通信および LAN 通信などによる外部制御をする。

## 目次

1	通信仕様	5
1.1	RS-232C通信仕様	5
1.2	LAN通信仕様	6
1.2.1	TCP-IP接続数の制限と解決策	6
2	ASCIIコード表	10
3	コマンド	12
3.1	コマンド概要	12
3.2	コマンド一覧	13
3.3	コマンド詳細	20
3.3.1	エラーステータス	20
3.3.2	電源スイッチ	21
3.3.3	入力チャンネル選択	22
3.3.4	画角設定	24
3.3.5	画質設定	37
3.3.6	入力設定	42
3.3.7	入力タイミング設定	44
3.3.8	出力設定	47
3.3.9	音声設定	56
3.3.10	EDID設定	64
3.3.11	RS-232C設定	71
3.3.12	LAN設定	73
3.3.13	制御コマンド送信機能	80
3.3.14	プリセットメモリ	100
3.3.15	ビットマップ設定	107
3.3.16	その他設定	116

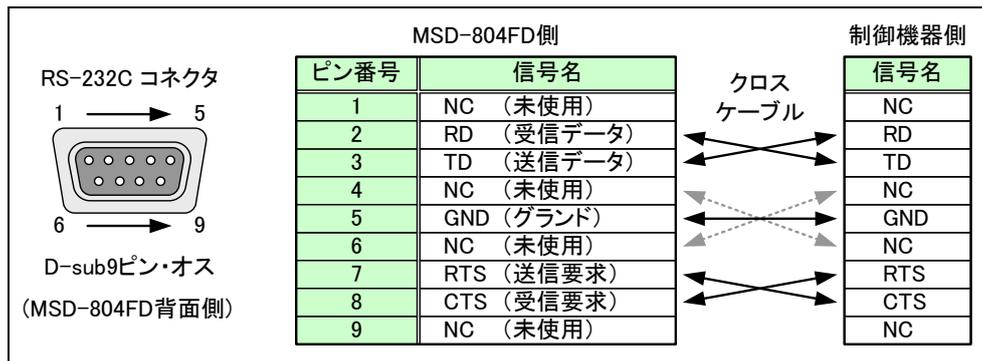
## 1 通信仕様

### 1.1 RS-232C通信仕様

本機は、RS-232C コネクタを使ったシリアル通信による外部制御が可能です。パソコンなどの制御装置と本機を RS-232C ケーブルで接続し、コマンドにより本機の制御や状態の取得を行ってください。コマンドの文字表記はASCII コード表(P.10)に従います。RS-232C コネクタの通信設定は「7.10 RS-232C」(参照:ユーザーズガイド)をご覧ください。

[表 1.1a] RS-232C 通信仕様

準拠規格	RS-232C
通信速度	4800, 9600, 19200, 38400[bps]
データビット長	8, 7[bit]
パリティチェック	なし, 偶数, 奇数
ストップビット	1, 2[bit]
Xパラメータ	無効
フロー制御	なし
デリミタ	CR LF ( 復帰+改行, 16 進表記の 0D と 0A )
通信方式	全二重



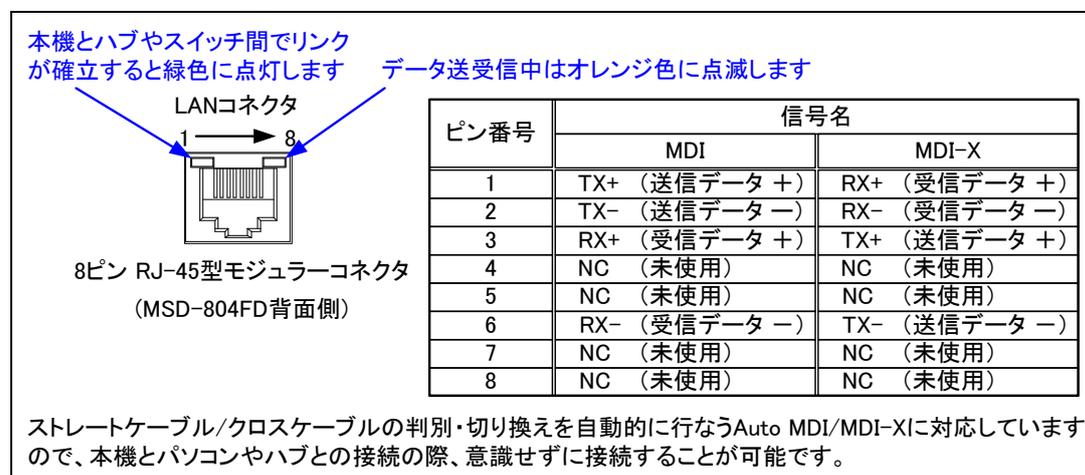
[図 1.1] RS-232C コネクタ・ケーブル仕様

## 1.2 LAN通信仕様

本機はLANによる外部制御が可能です。パソコンなどの制御装置と本機をLANで接続し、コマンドにより本機の制御や状態の取得を行ってください。コマンドの文字表記はASCIIコード表(P.10)に従います。コマンドによる制御を行う場合はポート6000～6999番、1100番、23番を使用してください。コネクション接続後、30秒以上通信が無い場合、コネクションは切断されます。LANの設定は「7.11 LAN」(参照: ユーザーズガイド)をご覧ください。

[表 1.1] LAN 通信仕様

物理層	10Base-T(IEEE802.3i)/100Base-TX(IEEE802.3u)
ネットワーク層	ARP, IP, ICMP
トランスポート層	TCP コマンド制御使用ポート : 23, 1100, 6000～6999 WEB ブラウザ制御(HTTP)使用ポート : 80, 5000～5999
アプリケーション層	HTTP, TELNET



[図 1.2] LAN コネクタ仕様

### 1.2.1 TCP-IPコネクション数の制限と解決策

本機が同時に接続できるのは、最大8コネクション(8ポート)です。したがって、9台以上のパソコンから制御を行う場合に、本機とのコネクションができないことがあります。

9コネクション以上の接続を行う場合は、お客様側のソフトで、通信コマンド送受信毎にTCP-IPのコネクションとクローズを行うことにより、本機側でポートの占有と解放が行われ、常時ポートが占有されなくなるため、論理的に8コネクション(8ポート)以上の接続を行うことが可能です。

お客様側パソコンソフト		MSD-804FD
TCP-IP コネクション	→	(1 ポート占有→空き 7 ポート)
コマンド送信(@xxx)	→	
	←	コマンド返信(@xxx)
TCP-IP クローズ	→	(1 ポート開放→空き 8 ポート)

[図 1.3] 接続数を増やす手法

※注意： パソコン側から本機へ30秒間コマンドの送信が行われなかった場合、本機はコネクション数制限の問題を回避するため、コネクションの切断処理を行います。そのためパソコン側からは再度コネクションを確立しないと通信ができません。再度コネクションを確立するためには、今まで繋いでいたパソコン側のコネクションの切断処理をした後に、再度コネクションの確立処理を行ってください。(本機のポート数は8ポートのため、コネクションが繋がったままパソコン側の電源などが落とされた場合、永久にポートが占有されてしまうため、パソコン側から通信コマンドが来ないとき、コネクションの切断処理を行っています)

以下に、Microsoft Visual Basic.NET 2008 でのプログラミング例を示します。

105 行目の Button1\_Click で、TextBox1 の「送信する通信コマンド」、TextBox2 の「通信先ホスト」、TextBox3 の「ポート番号」を取得し、本機へ通信コマンドを送信します。

本例では、コネクションとクローズを繰り返した場合に、データ送受信の遅延が問題になったときのために、以下のプログラミングを行っています。プログラミング例の、4、5、14、15、16 行目に相当します。

```
' クライアントをオープンします。
Private stClient As TcpClient          ' クライアントクラス
Private stns As System.Net.Sockets.NetworkStream ' ストリームクラス
Private portNum As Integer            ' ポート番号
Private hostName As String            ' ホスト名

stClient = New System.Net.Sockets.TcpClient(hostName, portNum)
stClient.NoDelay = True                ' 遅延を無効にします
stns = stClient.GetStream()            ' ストリーム オープン
```

#### ※ TcpClient.NoDelay

送信バッファまたは受信バッファが設定されているサイズを超えていない場合に遅延を無効にします。既定値は False です。NoDelay プロパティの変更により、送受信による遅延時間の軽減が可能です。

#### Microsoft Visual Basic.NET 2008 でのプログラミング例

```
1: Imports System
2: Imports System.Net.Sockets
3: Public Class Form1
4: Private stClient As TcpClient          ' クライアント
5: Private stns As System.Net.Sockets.NetworkStream ' ストリーム

6: Public Function mOpen(ByVal pHostName As String, ByVal pPortNum As Integer) As Boolean
7:     ' *****
8:     ' オープン
9:     ' 戻り値 成功:True 失敗:False
10:    ' *****
11:    mOpen = False                ' 初期値
12:    Try
13:        ' クライアントをオープンします。
14:        stClient = New System.Net.Sockets.TcpClient(pHostName, pPortNum)
15:        stClient.NoDelay = True    ' 送信/受信遅延を無効にします。
16:        stns = stClient.GetStream() ' ストリーム オープン
17:        If stns.CanTimeout Then
18:            stns.ReadTimeout = 1000 ' タイムアウト時間(1000ms)
19:        End If
```

```

20:     mOpen = True                                     ' 成功
21:     Catch ex As Exception
22:         Console.WriteLine(ex.Message)              ' 例外処理の表示
23:     End Try
24:
25: End Function
26: Private Function mSendMessage(ByVal pMsg As String) As String
27:     '*****
28:     '   メッセージ送信
29:     '   pMsg   送信メッセージ
30:     '   戻り値  返答文字列
31:     '*****
32:     Dim dtBirth As DateTime                           ' タイムアウト時間
33:     Dim wNow As DateTime                             ' 現在時間
34:     Dim pRecvMsg As String                           ' 返信メッセージ
35:     Dim bytes2(1024) As Byte                         ' 返信メッセージ一時格納エリア (Byte 型)
36:     Dim bytesRead2 As Integer                       ' 返信メッセージ一時格納エリア (Integer 型)
37:     Dim word As Byte()                              ' システム出力時の書き出し一時データ格納エリア
38:
39:     mSendMessage = ""                                ' 返信値 クリア
40:     pRecvMsg = ""                                   ' ワークエリアクリア
41:
42:     Try
43:         '----送信チェック----
44:         If stns.CanWrite Then                        ' 書き込み可能?
45:             ' 文字エンコード
46:             word = System.Text.Encoding.Default.GetBytes(pMsg + vbCrLf)
47:             ' ソケットに出力
48:             stns.Write(word, 0, word.Length)
49:         Else
50:             Exit Function
51:         End If
52:
53:         '----受信----
54:         dtBirth = DateTime.Now
55:         dtBirth = dtBirth.AddSeconds(3)              ' 3秒でタイムアウト
56:         Do
57:             wNow = DateTime.Now                      ' 現在時間と比較
58:             If (wNow > dtBirth) Then
59:                 Exit Do                              ' オーバーした場合処理を中断
60:             End If
61:
62:             If stns.CanRead Then                     ' 読み込み可能状態の場合
63:                 ' データの読み込み
64:                 bytesRead2 = stns.Read(bytes2, 0, bytes2.Length)
65:                 ' エンコード
66:                 pRecvMsg = pRecvMsg & _
67:                 System.Text.Encoding.Default.GetString(bytes2, 0, bytesRead2)
68:                 If pRecvMsg <> "" Then
69:                     ' @から CRLF までを抽出
70:                     If ((InStr(pRecvMsg, vbCrLf) <> 0) And (InStr(pRecvMsg, "@") <> 0)) Then
71:                         pRecvMsg = Mid(pRecvMsg, _
72:                             InStr(pRecvMsg, "@"), _
73:                             InStr(pRecvMsg, vbCrLf) _
74:                             - InStr(pRecvMsg, "@"))
75:                     End Do
76:                 End If
77:             End If
78:         End If
79:     Loop
80:     mSendMessage = pRecvMsg                          ' 受信データを返答
81:
82:     Catch ex As Exception
83:         Console.WriteLine(ex.Message)              ' 例外処理の表示
84:     End Try
85:
86: End Function

```

```

87: Public Sub mClose()
88:     '*****
89:     ' クローズ
90:     '*****
91:     Try
92:         If Not stns Is Nothing Then           ' ストリームの存在有無
93:             stns.Close()                     ' ストリームクローズ
94:         End If
95:
96:         If Not stClient Is Nothing Then      ' クライアントの存在有無
97:             stClient.Close()                ' クライアントクローズ
98:         End If
99:
100:    Catch ex As Exception
101:        Console.WriteLine(ex.Message)       ' 例外処理の表示
102:    End Try
103:
104: End Sub

105: Private Sub Button1_Click(ByVal sender As System.Object, ByVal e As System.EventArgs) Handles Button1.Click
106:     Dim wRecvMsg As String                  ' 受信文字列格納場所
107:     Dim i As Integer
108:     Dim wHostName As String
109:     Dim wPortNum As Integer
110:
111:     If (TextBox2.Text = "") Then           ' ホスト名チェック
112:         MsgBox("ホスト名が設定されてません。")
113:         Exit Sub
114:     End If
115:
116:     wHostName = TextBox2.Text
117:
118:     If (TextBox3.Text = "") Then           ' ポート番号チェック
119:         MsgBox("ポート番号が設定されてません。")
120:         Exit Sub
121:     End If
122:     wPortNum = Val(TextBox3.Text)
123:
124:     If TextBox1.Text = "" Then             ' 送信文字列チェック
125:         MsgBox("送信文字が設定されてません。")
126:         Exit Sub
127:     End If
128:
129:     Label6.Text = ""
130:
131:     For i = 0 To 2 ' 3回リトライを繰り返します (万が一、他のクライアントにより MSD-804FD 側のポートが全て
                                     使われた場合の処理)
132:         If Not mOpen(wHostName, wPortNum) Then
133:             MsgBox("通信オープンエラー")
134:             GoTo Exit_Step
135:         End If
136:
137:         ' オープンします
138:         wRecvMsg = mSendMessage(TextBox1.Text) ' 送信します
139:         Console.WriteLine("wRecvMsg:" & wRecvMsg & Now)
140:         mClose() ' クローズします
141:
142:         If wRecvMsg <> "" Then
143:             Label6.Text = wRecvMsg
144:             GoTo Exit_Step
145:         End If
146:
147:     Next i
148:
149:     MsgBox("送信エラー")
150:
151: Exit_Step:
152:
153: End Sub
154: End Class

```

## 2 ASCII コード表

[表 2.1] ASCII コード表(1/2)

文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進
NUL	00	SP	20	@	40	`	60
SOH	01	!	21	A	41	a	61
STX	02	"	22	B	42	b	62
ETX	03	#	23	C	43	c	63
EOT	04	\$	24	D	44	d	64
ENQ	05	%	25	E	45	e	65
ACK	06	&	26	F	46	f	66
BEL	07	'	27	G	47	g	67
BS	08	(	28	H	48	h	68
HT	09	)	29	I	49	i	69
LF	0A	*	2A	J	4A	j	6A
VT	0B	+	2B	K	4B	k	6B
FF	0C	,	2C	L	4C	l	6C
CR	0D	-	2D	M	4D	m	6D
SO	0E	.	2E	N	4E	n	6E
SI	0F	/	2F	O	4F	o	6F
DLE	10	0	30	P	50	p	70
DC1	11	1	31	Q	51	q	71
DC2	12	2	32	R	52	r	72
DC3	13	3	33	S	53	s	73
DC4	14	4	34	T	54	t	74
NAK	15	5	35	U	55	u	75
SYN	16	6	36	V	56	v	76
ETB	17	7	37	W	57	w	77
CAN	18	8	38	X	58	x	78
EM	19	9	39	Y	59	y	79
SUB	1A	:	3A	Z	5A	z	7A
ESC	1B	;	3B	[	5B	{	7B
FS	1C	<	3C	¥	5C		7C
GS	1D	=	3D	]	5D	}	7D
RS	1E	>	3E	^	5E	~	7E
US	1F	?	3F	_	5F	DEL	7F

[表 2.2] ASCII コード表(2/2)

文字	16 進	コントロールコード詳細
<i>NUL</i>	00	NULI(ヌル)
<i>SOH</i>	01	Start Of Heading(ヘッダ開始)
<i>STX</i>	02	Start of TeXt(テキスト開始)
<i>ETX</i>	03	End of TeXt(テキスト終了)
<i>EOT</i>	04	End Of Transmission(転送終了)
<i>ENQ</i>	05	ENQuiry(問合せ)
<i>ACK</i>	06	ACkNnowledge(肯定応答)
<i>BEL</i>	07	BELI(ベル)
<i>BS</i>	08	Back Space(後退)
<i>HT</i>	09	Horizontal Tabulation(水平タブ)
<i>LF</i>	0A	Line Feed(改行)
<i>VT</i>	0B	Vertical Tabulation(垂直タブ)
<i>FF</i>	0C	Form Feed(改ページ)
<i>CR</i>	0D	Carriage Return(復帰)
<i>SO</i>	0E	Shift Out(シフトアウト)
<i>SI</i>	0F	Shift In(シフトイン)
<i>DLE</i>	10	Data Link Escape(伝送制御拡張)
<i>DC1</i>	11	Device Control 1(装置制御 1)
<i>DC2</i>	12	Device Control 2(装置制御 2)
<i>DC3</i>	13	Device Control 3(装置制御 3)
<i>DC4</i>	14	Device Control 4(装置制御 4)
<i>NAK</i>	15	Negative AcKnowledge(否定応答)
<i>SYN</i>	16	SYNchronous idle(同期信号)
<i>ETB</i>	17	End of Transmission Block(転送ブロック終了)
<i>CAN</i>	18	CANcel(取消)
<i>EM</i>	19	End of Medium(媒体終端)
<i>SUB</i>	1A	SUBstitute(置換)
<i>ESC</i>	1B	ESCape(拡張)
<i>FS</i>	1C	File Separator(ファイル分離)
<i>GS</i>	1D	Group Separator(グループ分離)
<i>RS</i>	1E	Record Separator(レコード分離)
<i>US</i>	1F	Unit Separator(ユニット分離)
<i>SP</i>	20	SPace(空白)
<i>DEL</i>	7F	DELete(削除)

### 3 コマンド

#### 3.1 コマンド概要

コマンドは各コマンドを識別する@(16進表記の40)+3文字の半角英字(大文字小文字)とそれに続くパラメータ(半角数字\*)からなります。(コマンドによっては複数のパラメータを指定可能なものや、パラメータの必要ないものがあります)コマンドの最後にデリミタを送信することにより処理を実行します。

例： @SSW,1,1☐

☐ は、コマンドとパラメータおよびパラメータ間の区切り文字でカンマ(16進表記の2C)を表します。

☐ は、デリミタ(CR+LFで16進表記の0D+0A)を表します。

※ 一部のコマンドにはASCIIコードを指定するパラメータがあります。

##### ① 本機の設定を変更するコマンド

コマンドとパラメータをカンマで区切って送信します。(コマンドによっては複数のパラメータを指定可能なものや、パラメータの必要ないものがあります)コマンドが正常に処理されると、受信したコマンドをそのまま送り返します。

例： @SSW,1,1☐ ←送信コマンド  
@SSW,1,1☐ ←本機からの返信コマンド

##### ② 本機の設定を受信するコマンド

コマンドを送信します。(コマンドによってはパラメータの必要なものがあります)コマンドが正常に処理されると、受信したコマンドに続き現在の設定を送り返します。(コマンドによっては複数のパラメータを返すものがあります)

例： @GSW☐ ←送信コマンド  
@GSW,1,1,1,1,1,1☐ ←本機からの返信コマンド

##### ③ エラーコマンド

未定義のコマンドやパラメータに誤りがある場合などは、エラーコマンドとエラーの詳細(半角数字)を送り返します。

例： @SSW,1,4☐ ←送信コマンド(この例ではパラメータに誤りがあります)  
@ERR,1☐ ←本機からのエラーコマンド

##### ④ ヘルプ

コマンドを指定せずにデリミタのみを送信すると、コマンドの一覧を送り返します。(13分割で送り返しますので、全コマンドの一覧を受信したい場合はデリミタを13回送信してください)

例： ☐ ←デリミタの送信  
----- HELP (1/13) -----☐ ←以下はコマンドの一覧  
(CHANNEL SELECT Command) ☐  
@SSW / @GSW : Set/Get Input Channel☐  
@SSV / @GSV : Set/Get Video Input Channel☐  
@SSA / @GSA : Set/Get Audio Input Channel☐

## 3.2 コマンド一覧

## エラーステータス

コマンド	機能	詳細ページ
@ERR	エラーステータス	20

## 電源スイッチ操作

コマンド	機能	詳細ページ
@SDS	表示機器電源スイッチ設定	21
@GDS	表示機器電源スイッチ取得	21

## 入力チャンネル選択

コマンド	機能	詳細ページ
@SSW	映像・音声チャンネル同時切換	22
@GSW	入力チャンネル取得	22
@SSV	映像チャンネル切換	22
@GSV	映像チャンネル取得	23
@SSA	音声チャンネル切換	23
@GSA	音声チャンネル取得	23

## 画角設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SOT	出力解像度設定	24
@GOT	出力解像度取得	25
@GTD	実際の出力解像度取得	26
@SUM	表示機器 アスペクト比設定	27
@GUM	表示機器 アスペクト比取得	27
@SAP	アスペクト比設定	27
@GAP	アスペクト比取得	27
@SAR	アスペクト比復元処理設定	28
@GAR	アスペクト比復元処理取得	28
@SOV	オーバースキャン設定	28
@GOV	オーバースキャン取得	28
@SNP	入力表示位置設定	29
@GNP	入力表示位置取得	29
@SNS	入力表示サイズ設定	29
@GNS	入力表示サイズ取得	30
@SNM	入カマスキング設定	30
@GNM	入カマスキング取得	31
@IAS	入力オートサイジング	31
@SOP	出力表示位置設定	31
@GOP	出力表示位置取得	32
@SOS	出力表示サイズ設定	32
@GOS	出力表示サイズ取得	32
@SOM	出カマスキング設定	33
@GOM	出カマスキング取得	33
@OAS	出力オートサイジング	34
@SBC	バックカラー設定	34
@GBC	バックカラー取得	34
@STP	テストパターン設定	35
@GTP	テストパターン取得	36
@SML	マルチディスプレイモード設定	36
@GML	マルチディスプレイモード取得	36

**画質設定**

コマンド	機能	詳細ページ
@SBR	入力ブライトネス設定	37
@GBR	入力ブライトネス取得	37
@SCO	入力コントラスト設定	37
@GCO	入力コントラスト取得	38
@SHU	色相(HUE)設定	38
@GHU	色相(HUE)取得	38
@SST	サチレーション(彩度)設定	38
@GST	サチレーション(彩度)取得	39
@SSU	セットアップレベル設定	39
@GSU	セットアップレベル取得	39
@IDC	入力デフォルトカラー	39
@SOB	出力ブライトネス設定	40
@GOB	出力ブライトネス取得	40
@SOC	出力コントラスト設定	40
@GOC	出力コントラスト取得	41
@ODC	出力デフォルトカラー	41

**入力設定**

コマンド	機能	詳細ページ
@SDT	無入力監視設定	42
@GDT	無入力監視取得	42
@SHE	HDCP 入力の許可/禁止設定	42
@GHE	HDCP 入力の許可/禁止設定取得	42
@SIQ	入力イコライザ設定	43
@GIQ	入力イコライザ取得	43
@SID	入力映像信号 OFF の自動検出設定	43
@GID	入力映像信号 OFF の自動検出設定取得	43

**入力タイミング設定**

コマンド	機能	詳細ページ
@GHT	水平総ドット数取得	44
@SHS	水平取り込み開始位置設定	44
@GHS	水平取り込み開始位置取得	44
@SHD	水平表示期間設定	45
@GHD	水平表示期間取得	45
@SVS	垂直取り込み開始位置設定	45
@GVS	垂直取り込み開始位置取得	46
@SVD	垂直表示期間設定	46
@GVD	垂直表示期間取得	46
@RTT	入力タイミング設定の初期化	46

## 出力設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SEQ	出カイコライザ設定	47
@GEQ	出カイコライザ取得	47
@SDM	出力モード設定	47
@GDM	出力モード取得	48
@SUY	映像信号無入力時の同期信号出力設定	48
@GUY	映像信号無入力時の同期信号出力取得	48
@SBO	映像信号無入力時の出力映像設定	49
@GBO	映像信号無入力時の出力映像取得	49
@SFF	映像入力チャンネル切り換え効果設定	49
@GFF	映像入力チャンネル切り換え効果取得	50
@SFT	映像入力チャンネル切り換え時間設定	50
@GFT	映像入力チャンネル切り換え時間取得	50
SWC	ワイプカラー設定	51
@GWC	ワイプカラー取得	51
@SVO	映像出力コネクタ設定	52
@GVO	映像出力コネクタ取得	52
@SEN	HDCP 出力設定	52
@GEN	HDCP 出力取得	53
@SHR	HDCP 認証エラー時のリトライ回数設定	53
@GHR	HDCP 認証エラー時のリトライ回数取得	53
@SDC	Deep Color 出力設定	54
@GDC	Deep Color 出力取得	54
@SCE	CEC 接続設定	54
@GCE	CEC 接続取得	55
@HAU	HDCP 再認証	55
@SFL	フレームロックモード設定	55
@GFL	フレームロックモード取得	55

## 音声設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SSL	音声出力レベル設定	56
@GSL	音声出力レベル取得	56
@SOL	音声出力レベル 相対値設定	56
@GOL	音声出力レベル リミット状態取得	56
@SAM	音声出力ミュート設定	57
@GAM	音声出力ミュート取得	57
@SAS	音声入力選択設定	57
@GAS	音声入力選択取得	57
@GSD	実際の音声入力選択取得	58
@SSO	音声入力レベル設定	58
@GSO	音声入力レベル取得	58
@SIL	音声入力レベル 相対値設定	58
@GIL	音声入力レベル リミット状態取得	59
@SLO	出力リップシンク設定	59
@GLO	出力リップシンク取得	59
@SLY	入力リップシンク設定	59
@GLY	入力リップシンク取得	60
@SSF	アナログ音声入力のサンプリング周波数設定	60
@GSF	アナログ音声入力のサンプリング周波数取得	60
@GFD	アナログ音声入力の実際のサンプリング周波数取得	60
@SDO	音声出力コネクタ設定	61
@GDO	音声出力コネクタ取得	61
@SAO	デジタル音声出力コネクタ設定	61
@GAO	デジタル音声出力コネクタ取得	62
@SMD	マルチチャンネル音声出力設定	62
@GMD	マルチチャンネル音声出力取得	62
@SAT	テストトーン設定	63
@GAT	テストトーン取得	63

## EDID設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SED	EDID データ設定	64
@GED	EDID データ取得	64
@SVF	EDID パソコン用解像度設定	65
@GVF	EDID パソコン用解像度取得	65
@SHF	EDID AV 機器用解像度設定	66
@GHF	EDID AV 機器用解像度取得	66
@SDI	Deep Color 入力設定	66
@GDI	Deep Color 入力取得	66
@SAF	音声フォーマット設定	67
@GAF	音声フォーマット取得	68
@SSP	スピーカー数設定	69
@GSP	スピーカー数取得	70
@RME	EDID データのコピー	70

## RS-232C / HDBaseT 設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SCT	RS-232C 通信設定	71
@GCT	RS-232C 通信設定取得	71
@SCF	RS-232C 動作モード設定	72
@GCF	RS-232C 動作モード取得	72

## LAN設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SIP	LAN IP アドレス設定	73
@GIP	LAN IP アドレス取得	73
@SBI	OUTB IP アドレス設定	73
@GBI	OUTB IP アドレス取得	73
@SSB	LAN サブネットマスク設定	74
@GSB	LAN サブネットマスク取得	74
@SBS	OUTB サブネットマスク設定	74
@GBS	OUTB サブネットマスク取得	74
@SGW	LAN ゲートウェイアドレス設定	75
@GGW	LAN ゲートウェイアドレス取得	75
@SBG	OUTB ゲートウェイアドレス設定	75
@GBG	OUTB ゲートウェイアドレス取得	75
@SLF	LAN 動作モード設定	76
@GLF	LAN 動作モード取得	77
@SLP	TCP ポート番号設定	78
@GLP	TCP ポート番号取得	78
@GMC	MAC アドレス取得	78
@GMA	OUTB MAC アドレス取得	79

## 制御コマンド送信機能

コマンド	機能	詳細ページ
@EXC	制御コマンドの実行	80
@SEC	制御コマンド設定(通信コマンド制御)	81
@GEC	制御コマンド取得(通信コマンド制御)	83
@SEC	制御コマンド設定(受信データの表示)	85
@GEC	制御コマンド取得(受信データの表示)	87
@SEC	制御コマンド設定(CEC制御)	89
@GEC	制御コマンド取得(CEC制御)	90
@SRC	返信コマンド設定	91
@GRC	返信コマンド取得	92
@SCC	制御コマンド 関連付け設定	92
@GCC	制御コマンド 関連付け取得	93
@STG	制御コマンド 関連付けのトグル動作設定	95
@GTG	制御コマンド 関連付けのトグル動作取得	95
@SUP	制御コマンド 電源 ON 時実行面設定	95
@GUP	制御コマンド 電源 ON 時実行面取得	96
@SIT	制御コマンド実行時の操作無効時間設定	96
@GIT	制御コマンド実行時の操作無効時間取得	96
@DEC	登録したコマンドおよび関連付けの消去	96
@STL	制御コマンド実行キー 点灯条件設定	98
@GTL	制御コマンド実行キー 点灯条件取得	98
@STF	制御コマンド実行キー&表示機器電源スイッチ 点滅時間設定	98
@GTF	制御コマンド実行キー&表示機器電源スイッチ 点滅時間取得	99

## プリセットメモリ

コマンド	機能	詳細ページ
@RCM	クロスポイントメモリから映像・音声チャンネル設定を読み出す	100
@SCM	クロスポイントメモリへ映像・音声チャンネル設定を上書き保存する	100
@SEM	クロスポイントメモリへ映像・音声チャンネル設定を引き継ぎ保存する	100
@ECM	クロスポイントメモリの映像・音声チャンネル設定編集	101
@GCM	クロスポイントメモリの映像・音声チャンネル設定を取得する	101
@RCV	クロスポイントメモリから映像チャンネル設定を読み出す	102
@SCV	クロスポイントメモリへ映像チャンネル設定を上書き保存する	102
@SEV	クロスポイントメモリへ映像チャンネル設定を引き継ぎ保存する	102
@ECV	クロスポイントメモリの映像チャンネル設定編集	103
@GCV	クロスポイントメモリの映像チャンネル設定を取得する	103
@RCA	クロスポイントメモリから音声チャンネル設定を読み出す	103
@SCA	クロスポイントメモリへ音声チャンネル設定を上書き保存する	104
@SEA	クロスポイントメモリへ音声チャンネル設定を引き継ぎ保存する	104
@ECA	クロスポイントメモリの音声チャンネル設定編集	104
@GCA	クロスポイントメモリの音声チャンネル設定を取得する	105
@RPM	プリセットメモリから全設定を読み出す	105
@SPM	プリセットメモリに全設定を保存する	105
@SMU	電源投入時の状態設定	106
@GMU	電源投入時の状態取得	106

## ビットマップ設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SBM	ビットマップ画像の出力設定	107
@GBM	ビットマップ画像の出力取得	107
@SBB	ビットマップ バックカラー設定	108
@GBB	ビットマップ バックカラー取得	108
@SBT	ビットマップ アスペクト比設定	109
@GBT	ビットマップ アスペクト比取得	109
@SZP	ビットマップ 表示位置設定	110
@GZP	ビットマップ 表示位置取得	110
@SBA	ビットマップ 入力チャンネル割り当て設定	111
@GBA	ビットマップ 入力チャンネル割り当て取得	111
@SPB	電源投入時のビットマップ画像の出力設定	112
@GPB	電源投入時のビットマップ画像の出力取得	112
@SBD	ビットマップ用メモリの分割設定	113
@GBD	ビットマップ用メモリの分割設定取得	113
@GBV	ビットマップ用メモリの使用状態取得	114
@SBN	登録するビットマップ番号設定	114
@GBN	登録するビットマップ番号取得	114
@SFZ	フリーズ設定	115
@GFZ	フリーズ設定取得	115
@CAP	入力映像のキャプチャ	115

## その他設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SLS	キーロック設定/解除	116
@GLS	キーロック状態取得	116
@SLM	フロントパネル キーロック対象の設定	116
@GLM	フロントパネル キーロック対象の取得	117
@SBZ	ブザー音設定	117
@GBZ	ブザー音設定取得	117
@GSS	入出カステータス取得	118
@GES	モニタ EDID 情報取得	122
@GIV	バージョン情報取得	123

### 3.3 コマンド詳細

HDBaseT 出力オプションの搭載の有無により、出力に対する返り値書式のパラメータは変わりますのでご注意ください。

また、関連項目に記載される事項は、別冊の『ユーザーズガイド』をご参照ください。

#### 3.3.1 エラーステータス

@ERR	エラーステータス		
コマンド書式	返り値のみ		
返り値書式	@ERR, error [ ]		
パラメータ	<i>error</i> : エラーステータス 1 = パラメータの書式、値にエラーがあります。 2 = 未定義のコマンド／またはコマンドの書式に誤りがあります。 3 = 現在使用できないコマンドです。 5 = 制御コマンドが登録されていないため、実行できません。 6 = 制御コマンドを実行中のため、コマンドを処理することができません。 8 = 表示機器からの EDID の読み出しに失敗しました。 10 = 制御コマンドが停止条件により停止しました。 11 = 制御コマンドがリトライオーバーにより停止しました。 12 = PJLink の制御コマンドがパスワードの不一致により停止しました。 13 = キャプチャする入力映像のサイズが確保されているメモリのサイズより大きい ため、キャプチャすることができません 14 = 入力映像のキャプチャに失敗しました。 15 = HDBaseT 出力オプションが搭載されていないため、設定／取得ができません。		
実行例	送	@SSW,999,1 [ ]	パラメータエラー。
	受	@ERR,1 [ ]	
	送	@XYZ [ ]	未定義のコマンド。
受	@ERR,2 [ ]		
送	@RPM,3 [ ]	データが登録されていないメモリ番号を指定。	
受	@ERR,3 [ ]		

## 3.3.2 電源スイッチ

@SDS	表示機器電源スイッチ設定	
コマンド書式	@SDS, <i>ch_1</i> , <i>onoff_1</i> ( <i>ch_2</i> , <i>onoff_2</i> ···)	
返り値書式	@SDS, <i>ch_1</i> , <i>onoff_1</i> ( <i>ch_2</i> , <i>onoff_2</i> ···)	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	<i>onoff_1-4</i> : 表示機器の電源スイッチ 0 = OFF, 1 = ON	
実行例	送 @SDS,1,1	OUT1 に接続された表示機器の電源スイッチを ON にする。 正常終了。
	受 @SDS,1,1	
	送 @SDS,1,0	OUT1 に接続された表示機器の電源スイッチを OFF にする。 コマンドが異常終了した場合は、エラーステータスと出力番号 が返されます。(複数の出力を制御した場合は、複数のエラー が返されることがあります)
	受 @ERR,10,1	
関連項目	6.3 表示機器の電源のON/OFF	
注意事項	電源の制御が終了してから実行結果を返信するため、返信に時間がかかる場合があります。	

@GDS	表示機器電源スイッチ取得	
コマンド書式	@GDS	
返り値書式	@GDS, <i>out_1</i> ( <i>out_2</i> , <i>out_3</i> , <i>out_4</i> )	
パラメータ	<i>out_1-4</i> : 各出力の表示機器の電源スイッチ 0 = OFF, 1 = ON	
実行例	送 @GDS	表示機器の電源スイッチの状態を取得。 OUT3 の電源スイッチは OFF、その他の出力は ON。
	受 @GDS,1,1,0,1	
関連項目	6.3 表示機器の電源のON/OFF	

## 3.3.3 入力チャンネル選択

@SSW	映像・音声チャンネル同時切換	
コマンド書式	@SSW, <i>input_1</i> , <i>output_1</i> (, <i>input_2</i> , <i>output_2</i> ····)	
返り値書式	@SSW, <i>input_1</i> , <i>output_1</i> (, <i>input_2</i> , <i>output_2</i> ····)	
パラメータ	<i>input_1-4</i> : 映像・音声入力コネクタ 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6, 7 = IN7, 8 = IN8	
	<i>output_1-4</i> : 映像・音声出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2, 3 = OUT3, 4 = OUT4	
実行例	送 @SSW,1,1 受 @SSW,1,1	OUT1 の入力チャンネルに IN1 を選択する。 正常終了。
関連項目	6.1 入力チャンネルの選択	

@GSW	入力チャンネル取得	
コマンド書式	@GSW	
返り値書式	@GSW, <i>video_1</i> , <i>audio_1</i> (, <i>video_2</i> , <i>audio_2</i> , <i>video_3</i> , <i>audio_3</i> ····)	
パラメータ	<i>video_1-4</i> : 映像入力チャンネル <i>audio_1-4</i> : 音声入力チャンネル 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6, 7 = IN7, 8 = IN8	
実行例	送 @GSW 受 @GSW,1,1,1,1,2,1,1,1	入力チャンネルの状態を取得。 OUT3 の入力チャンネルは映像が IN2、音声 IN1、その他の出力の入力チャンネルは映像・音声ともに IN1。
関連項目	6.1 入力チャンネルの選択	

@SSV	映像チャンネル切換	
コマンド書式	@SSV, <i>input_1</i> , <i>output_1</i> (, <i>input_2</i> , <i>output_2</i> ····)	
返り値書式	@SSV, <i>input_1</i> , <i>output_1</i> (, <i>input_2</i> , <i>output_2</i> ····)	
パラメータ	<i>input_1-4</i> : 映像入力コネクタ 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6, 7 = IN7, 8 = IN8	
	<i>output_1-4</i> : 映像出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2, 3 = OUT3, 4 = OUT4	
実行例	送 @SSV,1,1 受 @SSV,1,1	OUT1 の入力チャンネルに IN1 を選択する。 正常終了。
関連項目	6.1 入力チャンネルの選択	

<b>@GSV</b>	<b>映像チャンネル取得</b>	
コマンド書式	@GSV [ ]	
返り値書式	@GSV, output_1 (, output_2, output_3, output_4) [ ]	
パラメータ	output_1-4 : 映像入力チャンネル 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6, 7 = IN7, 8 = IN8	
実行例	送 @GSV [ ] 受 @GSV,1,1,2,2 [ ]	映像の入力チャンネルの状態を取得。 OUT1 および OUT2 の入力チャンネルは IN1、OUT3 および OUT4 の入力チャンネルは IN2。
関連項目	6.1 入力チャンネルの選択	

<b>@SSA</b>	<b>音声チャンネル切替</b>	
コマンド書式	@SSA, input_1, output_1 (, input_2, output_2···) [ ]	
返り値書式	@SSA, input_1, output_1 (, input_2, output_2···) [ ]	
パラメータ	input_1-4 : 音声入力コネクタ 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6, 7 = IN7, 8 = IN8	
	output_1-4 : 音声出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2, 3 = OUT3, 4 = OUT4	
実行例	送 @SSA,1,1 [ ] 受 @SSA,1,1 [ ]	OUT1 の入力チャンネルに IN1 を選択する。 正常終了。
関連項目	6.1 入力チャンネルの選択	

<b>@GSA</b>	<b>音声チャンネル取得</b>	
コマンド書式	@GSA [ ]	
返り値書式	@GSA, output_1 (, output_2, output_3, output_4) [ ]	
パラメータ	output_1-4 : 音声入力チャンネル 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6, 7 = IN7, 8 = IN8	
実行例	送 @GSA [ ] 受 @GSA,1,1,2,2 [ ]	音声の入力チャンネルの状態を取得。 OUT1 および OUT2 の入力チャンネルは IN1、OUT3 および OUT4 の入力チャンネルは IN2。
関連項目	6.1 入力チャンネルの選択	

## 3.3.4 画角設定

@SOT	出力解像度設定																																	
コマンド書式	@SOT, <i>ch_1, resolution_1</i> ( <i>ch_2, resolution_2</i> ...) <input type="button" value="↵"/>																																	
返り値書式	@SOT, <i>ch_1, resolution_1</i> ( <i>ch_2, resolution_2</i> ...) <input type="button" value="↵"/>																																	
パラメータ	<p><i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4</p> <p><i>resolution_1-4</i> : 出力解像度</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">0 = AUTO-A ※初期値,</td> <td style="width: 50%;">1 = AUTO-B※<sup>1</sup>,</td> </tr> <tr> <td>2 = VGA@60 (640x480),</td> <td>3 = SVGA@60 (800x600),</td> </tr> <tr> <td>4 = XGA@60 (1024x768),</td> <td>5 = WXGA@60 (1280x768),</td> </tr> <tr> <td>6 = WXGA@60 (1280x800),</td> <td>7 = Quad-VGA@60 (1280x960),</td> </tr> <tr> <td>8 = SXGA@60 (1280x1024),</td> <td>9 = WXGA@60 (1360x768),</td> </tr> <tr> <td>10 = WXGA@60 (1366x768),</td> <td>11 = SXGA+@60 (1400x1050),</td> </tr> <tr> <td>12 = WXGA+@60 (1440x900),</td> <td>13 = WXGA++@60 (1600x900),</td> </tr> <tr> <td>14 = UXGA@60 (1600x1200),</td> <td>15 = WSXGA+@60 (1680x1050),</td> </tr> <tr> <td>16 = VESAHD@60 (1920x1080),</td> <td>17 = WUXGA@60 (1920x1200),</td> </tr> <tr> <td>18 = QWXGA@60 (2048x1152),</td> <td>19 = 480i@59.94 (720x480),</td> </tr> <tr> <td>20 = 480p@59.94 (720x480),</td> <td>21 = 576i@50 (720x576),</td> </tr> <tr> <td>22 = 576p@50 (720x576),</td> <td>23 = 720p@50 (1280x720),</td> </tr> <tr> <td>24 = 720p@59.94 (1280x720),</td> <td>25 = 720p@60 (1280x720),</td> </tr> <tr> <td>26 = 1080i@50 (1920x1080),</td> <td>27 = 1080i@59.94 (1920x1080),</td> </tr> <tr> <td>28 = 1080i@60 (1920x1080),</td> <td>29 = 1080p@50 (1920x1080),</td> </tr> <tr> <td>30 = 1080p@59.94 (1920x1080),</td> <td>31 = 1080p@60 (1920x1080)</td> </tr> </table> <p>※1 「AUTO-B」は、HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ設定が可能です。</p>		0 = AUTO-A ※初期値,	1 = AUTO-B※ <sup>1</sup> ,	2 = VGA@60 (640x480),	3 = SVGA@60 (800x600),	4 = XGA@60 (1024x768),	5 = WXGA@60 (1280x768),	6 = WXGA@60 (1280x800),	7 = Quad-VGA@60 (1280x960),	8 = SXGA@60 (1280x1024),	9 = WXGA@60 (1360x768),	10 = WXGA@60 (1366x768),	11 = SXGA+@60 (1400x1050),	12 = WXGA+@60 (1440x900),	13 = WXGA++@60 (1600x900),	14 = UXGA@60 (1600x1200),	15 = WSXGA+@60 (1680x1050),	16 = VESAHD@60 (1920x1080),	17 = WUXGA@60 (1920x1200),	18 = QWXGA@60 (2048x1152),	19 = 480i@59.94 (720x480),	20 = 480p@59.94 (720x480),	21 = 576i@50 (720x576),	22 = 576p@50 (720x576),	23 = 720p@50 (1280x720),	24 = 720p@59.94 (1280x720),	25 = 720p@60 (1280x720),	26 = 1080i@50 (1920x1080),	27 = 1080i@59.94 (1920x1080),	28 = 1080i@60 (1920x1080),	29 = 1080p@50 (1920x1080),	30 = 1080p@59.94 (1920x1080),	31 = 1080p@60 (1920x1080)
0 = AUTO-A ※初期値,	1 = AUTO-B※ <sup>1</sup> ,																																	
2 = VGA@60 (640x480),	3 = SVGA@60 (800x600),																																	
4 = XGA@60 (1024x768),	5 = WXGA@60 (1280x768),																																	
6 = WXGA@60 (1280x800),	7 = Quad-VGA@60 (1280x960),																																	
8 = SXGA@60 (1280x1024),	9 = WXGA@60 (1360x768),																																	
10 = WXGA@60 (1366x768),	11 = SXGA+@60 (1400x1050),																																	
12 = WXGA+@60 (1440x900),	13 = WXGA++@60 (1600x900),																																	
14 = UXGA@60 (1600x1200),	15 = WSXGA+@60 (1680x1050),																																	
16 = VESAHD@60 (1920x1080),	17 = WUXGA@60 (1920x1200),																																	
18 = QWXGA@60 (2048x1152),	19 = 480i@59.94 (720x480),																																	
20 = 480p@59.94 (720x480),	21 = 576i@50 (720x576),																																	
22 = 576p@50 (720x576),	23 = 720p@50 (1280x720),																																	
24 = 720p@59.94 (1280x720),	25 = 720p@60 (1280x720),																																	
26 = 1080i@50 (1920x1080),	27 = 1080i@59.94 (1920x1080),																																	
28 = 1080i@60 (1920x1080),	29 = 1080p@50 (1920x1080),																																	
30 = 1080p@59.94 (1920x1080),	31 = 1080p@60 (1920x1080)																																	
実行例	<table style="border: none;"> <tr> <td style="border-right: 1px dashed black; padding-right: 5px;">送</td> <td style="padding-right: 5px;">@SOT,1,11 <input type="button" value="↵"/></td> <td rowspan="2" style="padding-left: 10px;">OUT1 の出力解像度を SXGA+に設定する。 正常終了。</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px dashed black; padding-right: 5px;">受</td> <td style="padding-right: 5px;">@SOT,1,11 <input type="button" value="↵"/></td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px dashed black; padding-right: 5px;">送</td> <td style="padding-right: 5px;">@GOT,2,11 <input type="button" value="↵"/></td> <td rowspan="2" style="padding-left: 10px;">出力解像度を取得。 @SFL フレームロックモード設定 (P.55)が ON の場合は、 全出力共通になり、OUT1 のみ設定が可能。</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px dashed black; padding-right: 5px;">受</td> <td style="padding-right: 5px;">@ERR,1 <input type="button" value="↵"/></td> </tr> </table>	送	@SOT,1,11 <input type="button" value="↵"/>	OUT1 の出力解像度を SXGA+に設定する。 正常終了。	受	@SOT,1,11 <input type="button" value="↵"/>	送	@GOT,2,11 <input type="button" value="↵"/>	出力解像度を取得。 @SFL フレームロックモード設定 (P.55)が ON の場合は、 全出力共通になり、OUT1 のみ設定が可能。	受	@ERR,1 <input type="button" value="↵"/>																							
送	@SOT,1,11 <input type="button" value="↵"/>	OUT1 の出力解像度を SXGA+に設定する。 正常終了。																																
受	@SOT,1,11 <input type="button" value="↵"/>																																	
送	@GOT,2,11 <input type="button" value="↵"/>	出力解像度を取得。 @SFL フレームロックモード設定 (P.55)が ON の場合は、 全出力共通になり、OUT1 のみ設定が可能。																																
受	@ERR,1 <input type="button" value="↵"/>																																	
関連項目	7.3.1 出力解像度																																	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。																																	

@GOT	出力解像度取得																																	
コマンド書式	@GOT [ ]																																	
返り値書式	@GOT, out_1 (, out_2, out_3, out_4) [ ]																																	
パラメータ	<p>out1-4 : 各出力の出力解像度</p> <table> <tr> <td>0 = AUTO-A ※初期値,</td> <td>1 = AUTO-B,</td> </tr> <tr> <td>2 = VGA@60 (640x480),</td> <td>3 = SVGA@60 (800x600),</td> </tr> <tr> <td>4 = XGA@60 (1024x768),</td> <td>5 = WXGA@60 (1280x768),</td> </tr> <tr> <td>6 = WXGA@60 (1280x800),</td> <td>7 = Quad-VGA@60 (1280x960),</td> </tr> <tr> <td>8 = SXGA@60 (1280x1024),</td> <td>9 = WXGA@60 (1360x768),</td> </tr> <tr> <td>10 = WXGA@60 (1366x768),</td> <td>11 = SXGA+@60 (1400x1050),</td> </tr> <tr> <td>12 = WXGA+@60 (1440x900),</td> <td>13 = WXGA++@60 (1600x900),</td> </tr> <tr> <td>14 = UXGA@60 (1600x1200),</td> <td>15 = WSXGA+@60 (1680x1050),</td> </tr> <tr> <td>16 = VESAHD@60 (1920x1080),</td> <td>17 = WUXGA@60 (1920x1200),</td> </tr> <tr> <td>18 = QWXGA@60 (2048x1152),</td> <td>19 = 480i@59.94 (720x480),</td> </tr> <tr> <td>20 = 480p@59.94 (720x480),</td> <td>21 = 576i@50 (720x576),</td> </tr> <tr> <td>22 = 576p@50 (720x576),</td> <td>23 = 720p@50 (1280x720),</td> </tr> <tr> <td>24 = 720p@59.94 (1280x720),</td> <td>25 = 720p@60 (1280x720),</td> </tr> <tr> <td>26 = 1080i@50 (1920x1080),</td> <td>27 = 1080i@59.94 (1920x1080),</td> </tr> <tr> <td>28 = 1080i@60 (1920x1080),</td> <td>29 = 1080p@50 (1920x1080),</td> </tr> <tr> <td>30 = 1080p@59.94 (1920x1080),</td> <td>31 = 1080p@60 (1920x1080)</td> </tr> </table>		0 = AUTO-A ※初期値,	1 = AUTO-B,	2 = VGA@60 (640x480),	3 = SVGA@60 (800x600),	4 = XGA@60 (1024x768),	5 = WXGA@60 (1280x768),	6 = WXGA@60 (1280x800),	7 = Quad-VGA@60 (1280x960),	8 = SXGA@60 (1280x1024),	9 = WXGA@60 (1360x768),	10 = WXGA@60 (1366x768),	11 = SXGA+@60 (1400x1050),	12 = WXGA+@60 (1440x900),	13 = WXGA++@60 (1600x900),	14 = UXGA@60 (1600x1200),	15 = WSXGA+@60 (1680x1050),	16 = VESAHD@60 (1920x1080),	17 = WUXGA@60 (1920x1200),	18 = QWXGA@60 (2048x1152),	19 = 480i@59.94 (720x480),	20 = 480p@59.94 (720x480),	21 = 576i@50 (720x576),	22 = 576p@50 (720x576),	23 = 720p@50 (1280x720),	24 = 720p@59.94 (1280x720),	25 = 720p@60 (1280x720),	26 = 1080i@50 (1920x1080),	27 = 1080i@59.94 (1920x1080),	28 = 1080i@60 (1920x1080),	29 = 1080p@50 (1920x1080),	30 = 1080p@59.94 (1920x1080),	31 = 1080p@60 (1920x1080)
0 = AUTO-A ※初期値,	1 = AUTO-B,																																	
2 = VGA@60 (640x480),	3 = SVGA@60 (800x600),																																	
4 = XGA@60 (1024x768),	5 = WXGA@60 (1280x768),																																	
6 = WXGA@60 (1280x800),	7 = Quad-VGA@60 (1280x960),																																	
8 = SXGA@60 (1280x1024),	9 = WXGA@60 (1360x768),																																	
10 = WXGA@60 (1366x768),	11 = SXGA+@60 (1400x1050),																																	
12 = WXGA+@60 (1440x900),	13 = WXGA++@60 (1600x900),																																	
14 = UXGA@60 (1600x1200),	15 = WSXGA+@60 (1680x1050),																																	
16 = VESAHD@60 (1920x1080),	17 = WUXGA@60 (1920x1200),																																	
18 = QWXGA@60 (2048x1152),	19 = 480i@59.94 (720x480),																																	
20 = 480p@59.94 (720x480),	21 = 576i@50 (720x576),																																	
22 = 576p@50 (720x576),	23 = 720p@50 (1280x720),																																	
24 = 720p@59.94 (1280x720),	25 = 720p@60 (1280x720),																																	
26 = 1080i@50 (1920x1080),	27 = 1080i@59.94 (1920x1080),																																	
28 = 1080i@60 (1920x1080),	29 = 1080p@50 (1920x1080),																																	
30 = 1080p@59.94 (1920x1080),	31 = 1080p@60 (1920x1080)																																	
実行例	送	@GOT [ ]	出力解像度を取得。																															
	受	@GOT,7,30,30,30 [ ]	OUT1 は Quad-VGA、その他の出力は 1080p@59.94 Hz。																															
	送	@GOT [ ]	出力解像度を取得。																															
	受	@GOT,7 [ ]	@SFL フレームロックモード設定 (P.55)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1 の設定のみ返す。																															
関連項目	7.3.1 出力解像度																																	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ取得が可能です。																																	

@GTD	実際の出力解像度取得																															
コマンド書式	@GTD [ ]																															
返り値書式	@GTD, out_1 (, out_2, out_3, out_4) [ ]																															
パラメータ	<p>out1-4 : 各出力の実際の出力解像度</p> <table border="0"> <tr> <td>1 = VGA@60 (640x480),</td> <td>2 = SVGA@60 (800x600),</td> </tr> <tr> <td>3 = XGA@60 (1024x768),</td> <td>4 = WXGA@60 (1280x768),</td> </tr> <tr> <td>5 = WXGA@60 (1280x800),</td> <td>6 = Quad-VGA@60 (1280x960),</td> </tr> <tr> <td>7 = SXGA@60 (1280x1024),</td> <td>8 = WXGA@60 (1360x768),</td> </tr> <tr> <td>9 = WXGA@60 (1366x768),</td> <td>10 = SXGA+@60 (1400x1050),</td> </tr> <tr> <td>11 = WXGA+@60 (1440x900),</td> <td>12 = WXGA++@60 (1600x900),</td> </tr> <tr> <td>13 = UXGA@60 (1600x1200),</td> <td>14 = WSXGA+@60 (1680x1050),</td> </tr> <tr> <td>15 = VESAHD@60 (1920x1080),</td> <td>16 = WUXGA@60 (1920x1200),</td> </tr> <tr> <td>17 = QWXGA@60 (2048x1152),</td> <td>18 = 480i@59.94 (720x480),</td> </tr> <tr> <td>19 = 480p@59.94 (720x480),</td> <td>20 = 576i@50 (720x576),</td> </tr> <tr> <td>21 = 576p@50 (720x576),</td> <td>22 = 720p@50 (1280x720),</td> </tr> <tr> <td>23 = 720p@59.94 (1280x720),</td> <td>24 = 720p@60 (1280x720),</td> </tr> <tr> <td>25 = 1080i@50 (1920x1080),</td> <td>26 = 1080i@59.94 (1920x1080) ※初期値,</td> </tr> <tr> <td>27 = 1080i@60 (1920x1080),</td> <td>28 = 1080p@50 (1920x1080),</td> </tr> <tr> <td>29 = 1080p@59.94 (1920x1080),</td> <td>30 = 1080p@60 (1920x1080)</td> </tr> </table> <p>※ AUTO に設定されている場合は実際に出力している解像度を返信し、AUTO 以外に設定されている場合は設定した解像度を返信します</p>		1 = VGA@60 (640x480),	2 = SVGA@60 (800x600),	3 = XGA@60 (1024x768),	4 = WXGA@60 (1280x768),	5 = WXGA@60 (1280x800),	6 = Quad-VGA@60 (1280x960),	7 = SXGA@60 (1280x1024),	8 = WXGA@60 (1360x768),	9 = WXGA@60 (1366x768),	10 = SXGA+@60 (1400x1050),	11 = WXGA+@60 (1440x900),	12 = WXGA++@60 (1600x900),	13 = UXGA@60 (1600x1200),	14 = WSXGA+@60 (1680x1050),	15 = VESAHD@60 (1920x1080),	16 = WUXGA@60 (1920x1200),	17 = QWXGA@60 (2048x1152),	18 = 480i@59.94 (720x480),	19 = 480p@59.94 (720x480),	20 = 576i@50 (720x576),	21 = 576p@50 (720x576),	22 = 720p@50 (1280x720),	23 = 720p@59.94 (1280x720),	24 = 720p@60 (1280x720),	25 = 1080i@50 (1920x1080),	26 = 1080i@59.94 (1920x1080) ※初期値,	27 = 1080i@60 (1920x1080),	28 = 1080p@50 (1920x1080),	29 = 1080p@59.94 (1920x1080),	30 = 1080p@60 (1920x1080)
1 = VGA@60 (640x480),	2 = SVGA@60 (800x600),																															
3 = XGA@60 (1024x768),	4 = WXGA@60 (1280x768),																															
5 = WXGA@60 (1280x800),	6 = Quad-VGA@60 (1280x960),																															
7 = SXGA@60 (1280x1024),	8 = WXGA@60 (1360x768),																															
9 = WXGA@60 (1366x768),	10 = SXGA+@60 (1400x1050),																															
11 = WXGA+@60 (1440x900),	12 = WXGA++@60 (1600x900),																															
13 = UXGA@60 (1600x1200),	14 = WSXGA+@60 (1680x1050),																															
15 = VESAHD@60 (1920x1080),	16 = WUXGA@60 (1920x1200),																															
17 = QWXGA@60 (2048x1152),	18 = 480i@59.94 (720x480),																															
19 = 480p@59.94 (720x480),	20 = 576i@50 (720x576),																															
21 = 576p@50 (720x576),	22 = 720p@50 (1280x720),																															
23 = 720p@59.94 (1280x720),	24 = 720p@60 (1280x720),																															
25 = 1080i@50 (1920x1080),	26 = 1080i@59.94 (1920x1080) ※初期値,																															
27 = 1080i@60 (1920x1080),	28 = 1080p@50 (1920x1080),																															
29 = 1080p@59.94 (1920x1080),	30 = 1080p@60 (1920x1080)																															
実行例	送	@GTD [ ]																														
	受	@GTD,29,29,26,26 [ ]																														
		実際の出力解像度を取得。 OUT1 および OUT2 は 1080p@59.94、その他の出力は 1080i@59.94 で出力している。																														
実行例	送	@GTD [ ]																														
	受	@GTD,29 [ ]																														
		実際の出力解像度を取得 @SFL フレームロックモード設定 (P.55)が ON の場合は、OUT1 の設定のみ返す。																														
関連項目	7.3.1 出力解像度																															
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定 (P.36) が ON の場合は、全出力共通になり、OUT 1 のみ取得が可能です。																															

@SUM	表示機器 アスペクト比設定	
コマンド書式	@SUM, <i>ch_1, aspect_1</i> (, <i>ch_2, aspect_2</i> ····) 	
返り値書式	@SUM, <i>ch_1, aspect_1</i> (, <i>ch_2, aspect_2</i> ····) 	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	<i>aspect_1-4</i> : 表示機器のアスペクト比 0 = RESOLUTION ※初期値, 1 = 4:3, 2 = 5:4, 3 = 5:3, 4 = 16:9, 5 = 16:10	
実行例	送 @SUM,1,4  受 @SUM,1,4 	OUT1 に 16:9 の表示機器を接続する。 正常終了。
関連項目	7.3.2 表示機器 アスペクト比	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

@GUM	表示機器 アスペクト比取得	
コマンド書式	@GUM 	
返り値書式	@GUM, <i>out_1</i> , (, <i>out_2, out_3, out_4</i> ) 	
パラメータ	<i>out1-4</i> : 各出力の表示機器のアスペクト比 0 = RESOLUTION ※初期値, 1 = 4:3, 2 = 5:4, 3 = 5:3, 4 = 16:9, 5 = 16:10	
実行例	送 @GUM  受 @GUM,4,5,5,5 	接続されている表示機器のアスペクト比を取得。 OUT1 は 16:9、その他の出力は 16:10。
関連項目	7.3.2 表示機器 アスペクト比	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ取得が可能です。	

@SAP	アスペクト比設定	
コマンド書式	@SAP, <i>ch_1, aspect_1</i> (, <i>ch_2, aspect_2</i> ····) 	
返り値書式	@SAP, <i>ch_1, aspect_1</i> (, <i>ch_2, aspect_2</i> ····) 	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8	
	<i>aspect_1-8</i> : アスペクト比 0 = AUTO-1 ※初期値, 1 = AUTO-2, 2 = 4:3, 3 = 16:9, 4 = 14:9, 5 = 16:9 LETTER BOX, 6 = 14:9 LETTER BOX, 7 = 4:3 SIDE PANEL, 8 = 14:9 SIDE PANEL, 9 = FULL, 10 = THROUGH	
実行例	送 @SAP,7,2  受 @SAP,7,2 	IN7 のアスペクト比を 4:3 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.3 アスペクト比	

@GAP	アスペクト比取得	
コマンド書式	@GAP 	
返り値書式	@GAP, <i>in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8</i> 	
パラメータ	<i>in_1-9</i> : 各入力チャンネルのアスペクト比設定 0 = AUTO-1 ※初期値, 1 = AUTO-2, 2 = 4:3, 3 = 16:9, 4 = 14:9, 5 = 16:9 LETTER BOX, 6 = 14:9 LETTER BOX, 7 = 4:3 SIDE PANEL, 8 = 14:9 SIDE PANEL, 9 = FULL, 10 = THROUGH	
実行例	送 @GAP  受 @GAP,0,0,2,0,0,0,0,0 	各入力のアスペクト比を取得。 IN3 は 4:3、その他の入力 は AUTO-1。
関連項目	7.3.3 アスペクト比	

<b>@SAR</b>	<b>アスペクト比復元処理設定</b>	
コマンド書式	@SAR, <i>ch_1, mode_1</i> (, <i>ch_2, mode_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SAR, <i>ch_1, mode_1</i> (, <i>ch_2, mode_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8	
	<i>mode_1-8</i> : アスペクト比復元処理設定 0 = レターボックス/サイドパネル ※初期値, 1 = サイドカット/トップボトムカット	
実行例	送 @SAR,5,1 <input type="checkbox"/> 受 @SAR,5,1 <input type="checkbox"/>	IN5 をサイドカット/トップボトムカットに設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.4 アスペクト比復元処理	

<b>@GAR</b>	<b>アスペクト比復元処理取得</b>	
コマンド書式	@GAR <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GAR, <i>in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_1-9</i> : 各入力チャンネルのアスペクト比復元処理設定 0 = レターボックス/サイドパネル ※初期値, 1 = サイドカット/トップボトムカット	
実行例	送 @GAR <input type="checkbox"/> 受 @GAR,0,0,1,0,0,0,0,0 <input type="checkbox"/>	各入力のアスペクト比の復元処理を取得する。 IN3 は サイドカット/トップボトムカット、その他の入力は レターボックス/サイドパネル。
関連項目	7.3.4 アスペクト比復元処理	

<b>@SOV</b>	<b>オーバースキャン設定</b>	
コマンド書式	@SOV, <i>ch_1, overscan_1</i> (, <i>ch_2, overscan_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SOV, <i>ch_1, overscan_1</i> (, <i>ch_2, overscan_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8	
	<i>overscan_1-8</i> : オーバースキャン 100% ~ 115% ※初期値 通常のテレビ信号(SDTV)の場合 105%, ハイビジョンのテレビ信号(HDTV)またはパソコン信号の場合 100%	
実行例	送 @SOV,7,105 <input type="checkbox"/> 受 @SOV,7,105 <input type="checkbox"/>	IN7 のオーバースキャンを 105%に設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.5 オーバースキャン	

<b>@GOV</b>	<b>オーバースキャン取得</b>	
コマンド書式	@GOV <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GOV, <i>in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_1-8</i> : 各入力チャンネルのオーバースキャン設定 100% ~ 115% ※初期値 通常のテレビ信号(SDTV)の場合 105%, ハイビジョンのテレビ信号(HDTV)またはパソコン信号の場合 100%	
実行例	送 @GOV <input type="checkbox"/> 受 @GOV,100,100,105,100, 100,100,100,100 <input type="checkbox"/>	各入力のオーバースキャンを取得。 IN3 は 105%、その他の入力は 100%。
関連項目	7.3.5 オーバースキャン	

@SNP	入力表示位置設定	
コマンド書式	@SNP, <i>ch_1</i> , <i>h_position_1</i> , <i>v_position_1</i> ( <i>ch_2</i> , <i>h_position_2</i> , <i>v_position_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SNP, <i>ch_1</i> , <i>h_position_1</i> , <i>v_position_1</i> ( <i>ch_2</i> , <i>h_position_2</i> , <i>v_position_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8	
	<i>h_position_1-8</i> : 水平入力表示位置 - 水平入力表示サイズ設定 ~ + 水平出力解像度 ※初期値 0	
	<i>v_position_1-8</i> : 垂直入力表示位置 - 垂直入力表示サイズ設定 ~ + 垂直出力解像度 ※初期値 0	
	(注)出力ごとに解像度が異なる場合は、OUT1 の出力解像度が基準になります	
実行例	送	@SNP,1,-50,20 <input type="checkbox"/> IN1 の水平表示位置を-50、垂直表示位置を+20 に設定する。
	受	@SNP,1,-50,20 <input type="checkbox"/> 正常終了。
関連項目	7.3.6 入力表示位置	

@GNP	入力表示位置取得	
コマンド書式	@GNP <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GNP, <i>h_in_1</i> , <i>v_in_1</i> , <i>h_in_2</i> , <i>v_in_2</i> , <i>h_in_3</i> , <i>v_in_3</i> , <i>h_in_4</i> , <i>v_in_4</i> , <i>h_in_5</i> , <i>v_in_5</i> , <i>h_in_6</i> , <i>v_in_6</i> , <i>h_in_7</i> , <i>v_in_7</i> , <i>h_in_8</i> , <i>v_in_8</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>h_in1-8</i> : 各入力チャンネルの水平入力表示位置 - 水平入力表示サイズ設定 ~ + 水平出力解像度 ※初期値 0	
	<i>v_in1-8</i> : 各入力チャンネルの垂直入力表示位置 - 垂直入力表示サイズ設定 ~ + 垂直出力解像度 ※初期値 0	
	(注)出力ごとに解像度が異なる場合は、OUT1 の出力解像度が基準になります	
実行例	送	@GNP <input type="checkbox"/> 入力表示位置を取得。
	受	@GNP,-50,20,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0 <input type="checkbox"/> IN1 の水平表示位置は-50、垂直表示位置は 20、その他の入力の水平、垂直表示位置は全て 0。
関連項目	7.3.6 入力表示位置	

@SNS	入力表示サイズ設定	
コマンド書式	@SNS, <i>ch_1</i> , <i>h_size_1</i> , <i>v_size_1</i> ( <i>ch_2</i> , <i>h_size_2</i> , <i>v_size_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SNS, <i>ch_1</i> , <i>h_size_1</i> , <i>v_size_1</i> ( <i>ch_2</i> , <i>h_size_2</i> , <i>v_size_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8	
	<i>h_size_1-8</i> : 水平入力表示サイズ 水平出力解像度 ÷ 4 ~ 水平出力解像度 × 4 ※初期値 水平出力解像度	
	<i>v_size_1-8</i> : 垂直入力表示サイズ 垂直出力解像度 ÷ 4 ~ 垂直出力解像度 × 4 ※初期値 垂直出力解像度	
	(注)出力ごとに解像度が異なる場合は、OUT1 の出力解像度が基準になります	
実行例	送	@SNS,1,1925,1084 <input type="checkbox"/> IN1 の水平表示サイズを 1925、垂直表示サイズを 1084 に設定する。
	受	@SNS,1,1925,1084 <input type="checkbox"/> 正常終了。
関連項目	7.3.7 入力表示サイズ	

@GNS	入力表示サイズ取得	
コマンド書式	@GNS <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GNS, <i>h_in_1</i> , <i>v_in_1</i> , <i>h_in_2</i> , <i>v_in_2</i> , <i>h_in_3</i> , <i>v_in_3</i> , <i>h_in_4</i> , <i>v_in_4</i> , <i>h_in_5</i> , <i>v_in_5</i> , <i>h_in_6</i> , <i>v_in_6</i> , <i>h_in_7</i> , <i>v_in_7</i> , <i>h_in_8</i> , <i>v_in_8</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>h_in_1-8</i> : 各入力チャンネルの水平入力表示サイズ 水平出力解像度÷4 ~ 水平出力解像度×4 ※初期値 水平出力解像度	
	<i>v_in_1-8</i> : 各入力チャンネルの垂直入力表示サイズ 垂直出力解像度÷4 ~ 垂直出力解像度×4 ※初期値 垂直出力解像度	
	(注)出力ごとに解像度が異なる場合は、OUT1 の出力解像度が基準になります	
実行例	送 @GNS <input type="checkbox"/> 受 @GNS,1925,1084,1920,1080,1920, 1080,1920,1080,1920,1080,1920,108 0,1920,1080,1920,1080 <input type="checkbox"/>	入力表示サイズを取得。 IN1 の水平表示サイズは 1925、垂直表示サイズは 1084、その他の入力の水平表示サイズは 1920、垂直表示サイズは 1080。
関連項目	7.3.7 入力表示サイズ	

@SNM	入力マスキング設定	
コマンド書式	@SNM, <i>ch</i> , <i>left</i> , <i>right</i> , <i>top</i> , <i>bottom</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SNM, <i>ch</i> , <i>left</i> , <i>right</i> , <i>top</i> , <i>bottom</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 8 = IN8	
	<i>left</i> : 入力左側マスキング 水平入力表示位置 ~ 入力右側マスキング ※初期値 0	
	<i>right</i> : 入力右側マスキング 入力左側マスキング ~ 水平入力表示位置+水平入力表示サイズ ※初期値 水平入力表示サイズ	
	<i>top</i> : 入力上側マスキング 垂直入力表示位置 ~ 入力下側マスキング ※初期値 0	
	<i>bottom</i> : 入力下側マスキング 入力上側マスキング ~ 垂直入力表示位置+垂直入力表示サイズ ※初期値 垂直入力表示サイズ	
実行例	送 @SNM,1,0,1920,0,1080 <input type="checkbox"/> 受 @SNM,1,0,1920,0,1080 <input type="checkbox"/>	IN1 のマスキングを、左側0、右側1920、上側0、下側1080に設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.8 入力マスキング	

<b>@GNM</b>	<b>入力マスキング取得</b>	
コマンド書式	@GNM, <i>ch</i> [↵]	
返り値書式	@GNM, <i>ch, left, right, top, bottom</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 8 = IN8	
	<i>left</i> : 入力左側マスキング 水平入力表示位置 ~ 入力右側マスキング ※初期値 0	
	<i>right</i> : 入力右側マスキング 入力左側マスキング ~ 水平入力表示位置+水平入力表示サイズ ※初期値 水平入力表示サイズ	
	<i>top</i> : 入力上側マスキング 垂直入力表示位置 ~ 入力下側マスキング ※初期値 0	
	<i>bottom</i> : 入力下側マスキング 入力上側マスキング ~ 垂直入力表示位置+垂直入力表示サイズ ※初期値 垂直入力表示サイズ	
実行例	送 @GNM,1[↵] 受 @GNM,1,0,1920,0,1080[↵]	IN1 のマスキングを取得。 左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080。
関連項目	7.3.8 入力マスキング	

<b>@IAS</b>	<b>入力オートサイジング</b>	
コマンド書式	@IAS, <i>ch_1</i> (, <i>ch_2</i> ...) [↵]	
返り値書式	@IAS, <i>ch_1</i> (, <i>ch_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8	
実行例	送 @IAS,1[↵] 受 @IAS,1[↵]	IN1 から入力された映像が表示機器いっぱいに表示されるよう、@SAP アスペクト比設定(P.27)、@SOV オーバースキャン設定(P.28)、@SNP 入力表示位置設定(P.29)、@SNS 入力表示サイズ設定(P.29)、@SNM 入力マスキング設定(P.30)を初期化する。 正常終了。
関連項目	7.3.9 入力オートサイジング	

<b>@SOP</b>	<b>出力表示位置設定</b>	
コマンド書式	@SOP, <i>ch_1, h_position_1, v_position_1</i> (, <i>ch_2, h_position_2, v_position_2</i> ...) [↵]	
返り値書式	@SOP, <i>ch_1, h_position_1, v_position_1</i> (, <i>ch_2, h_position_2, v_position_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	<i>h_position_1-4</i> : 水平出力表示位置 -水平出力表示サイズ設定 ~ +水平出力解像度 ※初期値 0	
	<i>v_position_1-4</i> : 垂直出力表示位置 -垂直出力表示サイズ設定 ~ +垂直出力解像度 ※初期値 0	
実行例	送 @SOP,1,5,20[↵] 受 @SOP,1,5,20[↵]	OUT1 の水平表示位置を+5、垂直表示位置を+20 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.10 出力表示位置	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

@GOP	出力表示位置取得	
コマンド書式	@GOP [↵]	
返り値書式	@GOP, <i>h_out_1</i> , <i>v_out_1</i> ( <i>h_out_2</i> , <i>v_out_2</i> , <i>h_out_3</i> , <i>v_out_3</i> , <i>h_out_4</i> , <i>v_out_4</i> ) [↵]	
パラメータ	<i>h_out_1-4</i> : 各出力の水平出力表示位置 - 水平出力表示サイズ設定 ~ + 水平出力解像度 ※初期値 0	
	<i>v_out_1-4</i> : 各出力の垂直出力表示位置 - 垂直出力表示サイズ設定 ~ + 垂直出力解像度 ※初期値 0	
実行例	送 @GOP[↵] 受 @GOP,5,20,0,0,0,0,0[↵]	出力表示位置を取得。 OUT1 の水平表示位置は+5、垂直表示位置は+20、その他の出力の表示位置は水平、垂直ともに0。
関連項目	7.3.10 出力表示位置	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ取得が可能です。	

@SOS	出力表示サイズ設定	
コマンド書式	@SOS, <i>ch_1</i> , <i>h_size_1</i> , <i>v_size_1</i> ( <i>ch_2</i> , <i>h_size_2</i> , <i>v_size_2</i> ...) [↵]	
返り値書式	@SOS, <i>ch_1</i> , <i>h_size_1</i> , <i>v_size_1</i> ( <i>ch_2</i> , <i>h_size_2</i> , <i>v_size_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	<i>h_size_1-4</i> : 水平出力表示サイズ 水平出力解像度 ÷ 4 ~ 水平出力解像度 × 4 ※初期値 水平出力解像度	
	<i>v_size_1-4</i> : 垂直出力表示サイズ 垂直出力解像度 ÷ 4 ~ 垂直出力解像度 × 4 ※初期値 垂直出力解像度	
実行例	送 @SOS,1,1920,1080[↵] 受 @SOS,1,1920,1080[↵]	OUT1 の水平表示サイズを 1920、垂直表示サイズを 1080 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.11 出力表示サイズ	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

@GOS	出力表示サイズ取得	
コマンド書式	@GOS [↵]	
返り値書式	@GOS, <i>h_out_1</i> , <i>v_out_1</i> ( <i>h_out_2</i> , <i>v_out_2</i> , <i>h_out_3</i> , <i>v_out_3</i> , <i>h_out_4</i> , <i>v_out_4</i> ) [↵]	
パラメータ	<i>h_out_1-4</i> : 各出力の水平出力表示サイズ 水平出力解像度 ÷ 4 ~ 水平出力解像度 × 4 ※初期値 水平出力解像度	
	<i>v_out_1-4</i> : 各出力の垂直出力表示サイズ 垂直出力解像度 ÷ 4 ~ 垂直出力解像度 × 4 ※初期値 垂直出力解像度	
実行例	送 @GOS[↵] 受 @GOS,1920,1035,1920,1080, 1920,1080,1920,1080[↵]	出力表示サイズを取得。 OUT1 の水平表示サイズは 1920、垂直表示サイズは 1035、その他の出力の水平表示サイズは 1920、垂直表示サイズは 1080。
関連項目	7.3.11 出力表示サイズ	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ取得が可能です。	

<b>@SOM</b>	<b>出力マスク設定</b>		
コマンド書式	@SOM, <i>ch</i> , <i>left</i> , <i>right</i> , <i>top</i> , <i>bottom</i> 		
返り値書式	@SOM, <i>ch</i> , <i>left</i> , <i>right</i> , <i>top</i> , <i>bottom</i> 		
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4		
	<i>left</i> : 出力左側マスク 水平出力表示位置 (ただし 0 以上) ~ 出力右側マスク ※初期値 0		
	<i>right</i> : 出力右側マスク 出力左側マスク ~ 水平出力表示位置 + 水平出力表示サイズ (ただし水平出力解像度以下) ※初期値 水平出力解像度		
	<i>top</i> : 出力上側マスク 垂直出力表示位置 (ただし 0 以上) ~ 出力下側マスク ※初期値 0		
	<i>bottom</i> : 出力下側マスク 出力上側マスク ~ 垂直出力表示位置 + 垂直出力表示サイズ (ただし垂直出力解像度以下) ※初期値 垂直出力解像度		
実行例	送	@SOM,1,0,1920,0,1080 	OUT1 のマスクを、左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080 に設定する。
	受	@SOM,1,0,1920,0,1080 	正常終了。
関連項目	7.3.12 出力マスク		
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。		

<b>@GOM</b>	<b>出力マスク取得</b>		
コマンド書式	@GOM, <i>ch</i> 		
返り値書式	@GOM, <i>ch</i> , <i>left</i> , <i>right</i> , <i>top</i> , <i>bottom</i> 		
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4		
	<i>left</i> : 出力左側マスク 水平出力表示位置 (ただし 0 以上) ~ 出力右側マスク ※初期値 0		
	<i>right</i> : 出力右側マスク 出力左側マスク ~ 水平出力表示位置 + 水平出力表示サイズ (ただし水平出力解像度以下) ※初期値 水平出力解像度		
	<i>top</i> : 出力上側マスク 垂直出力表示位置 (ただし 0 以上) ~ 出力下側マスク ※初期値 0		
	<i>bottom</i> : 出力下側マスク 出力上側マスク ~ 垂直出力表示位置 + 垂直出力表示サイズ (ただし垂直出力解像度以下) ※初期値 垂直出力解像度		
実行例	送	@GOM,1 	OUT1 の出力マスクを取得。
	受	@GOM,1,0,1920,0,1080 	左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080。
関連項目	7.3.12 出力マスク		
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ取得が可能です。		

@OAS	出力オートサイジング	
コマンド書式	@OAS, <i>ch_1</i> (, <i>ch_2</i> ...)	
返り値書式	@OAS, <i>ch_1</i> (, <i>ch_2</i> ...)	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
実行例	送 @OAS,1 受 @OAS,1	OUT1 の出力映像が表示機器いっぱいに表示されるよう、@SOP 出力表示位置設定(P.31)、@SOS 出力表示サイズ設定(P.32)、@SOM 出力マスキング設定(P.33)を初期化する。 正常終了。
関連項目	7.3.13 出力オートサイジング	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

@SBC	バックカラー設定	
コマンド書式	@SBC, <i>ch_1</i> , <i>red_1</i> , <i>green_1</i> , <i>blue_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>red_2</i> , <i>green_2</i> , <i>blue_2</i> ...)	
返り値書式	@SBC, <i>ch_1</i> , <i>red_1</i> , <i>green_1</i> , <i>blue_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>red_2</i> , <i>green_2</i> , <i>blue_2</i> ...)	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4  <i>red_1-4</i> : バックカラー(赤) <i>green_1-4</i> : バックカラー(緑) <i>blue_1-4</i> : バックカラー(青) 0 ~ 255 ※初期値 0	
実行例	送 @SBC,1,128,128,128 受 @SBC,1,128,128,128	OUT1 のバックカラーを RGB とともに 128(灰色)に設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.14 バックカラー	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

@GBC	バックカラー取得	
コマンド書式	@GBC, <i>ch</i>	
返り値書式	@GBC, <i>ch</i> , <i>red</i> , <i>green</i> , <i>blue</i>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4  <i>red</i> : バックカラー(赤) <i>green</i> : バックカラー(緑) <i>blue</i> : バックカラー(青) 0 ~ 255 ※初期値 0	
実行例	送 @GBC,1 受 @GBC,1,128,128,128	OUT1 のバックカラーを取得。 RGB とともに 128(灰色)。
関連項目	7.3.14 バックカラー	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ取得が可能です。	

@STP	テストパターン設定	
コマンド書式	@STP, <i>ch_1</i> , <i>pattern_1</i> , <i>scroll_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>pattern_2</i> , <i>scroll_2</i> ····) 	
返り値書式	@STP, <i>ch_1</i> , <i>pattern_1</i> , <i>scroll_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>pattern_2</i> , <i>scroll_2</i> ····) 	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	<i>pattern_1-4</i> : テストパターン 0 = OFF ※ 初期値, 1 = VERTICAL COLOR BAR, 2 = HORIZONTAL COLOR BAR, 3 = VERTICAL GRAY SCALE, 4 = HORIZONTAL GRAY SCALE, 5 = VERTICAL RAMP, 6 = HORIZONTAL RAMP, 7 = 100% WHITE RASTER, 8 = 50% WHITE RASTER, 9 = 100% RED RASTER, 10 = 100% GREEN RASTER, 11 = 100% BLUE RASTER, 12 = CROSS HATCH, 13 = OUTPUT FRAME, 14 = VERTICAL STRIPE, 15 = HORIZONTAL STRIPE, 16 = VERTICAL ZEBRA, 17 = HORIZONTAL ZEBRA	
	<i>scroll_1-4</i> : スクロール 0 = OFF ※ 初期値, 1 = 3ピクセル/フレーム ~ 10 = 30ピクセル/フレーム スクロールを行う場合は、設定値×3=1フレーム毎にスクロールするピクセル数です	
実行例	送	@STP,1,1,0  OUT1 に VERTICAL COLOR BAR を表示し、スクロールしない。
	受	@STP,1,1,0  正常終了。
関連項目	7.3.15 テストパターン	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

@GTP	テストパターン取得																			
コマンド書式	@GTP <input type="checkbox"/>																			
返り値書式	@GTP, p_out_1, s_out_1 (, p_out_2, s_out_2, p_out_3, s_out_3, p_out_4, s_out_4) <input type="checkbox"/>																			
パラメータ	<p>p_out_1-4 : 各出力のテストパターン</p> <table border="0"> <tr> <td>0 = OFF ※ 初期値,</td> <td>1 = VERTICAL COLOR BAR,</td> </tr> <tr> <td>2 = HORIZONTAL COLOR BAR,</td> <td>3 = VERTICAL GRAY SCALE,</td> </tr> <tr> <td>4 = HORIZONTAL GRAY SCALE,</td> <td>5 = VERTICAL RAMP,</td> </tr> <tr> <td>6 = HORIZONTAL RAMP,</td> <td>7 = 100% WHITE RASTER,</td> </tr> <tr> <td>8 = 50% WHITE RASTER,</td> <td>9 = 100% RED RASTER,</td> </tr> <tr> <td>10 = 100% GREEN RASTER,</td> <td>11 = 100% BLUE RASTER,</td> </tr> <tr> <td>12 = CROSS HATCH,</td> <td>13 = OUTPUT FRAME,</td> </tr> <tr> <td>14 = VERTICAL STRIPE,</td> <td>15 = HORIZONTAL STRIPE,</td> </tr> <tr> <td>16 = VERTICAL ZEBRA,</td> <td>17 = HORIZONTAL ZEBRA</td> </tr> </table> <p>s_out_1-4 : スクロール</p> <p>0 = OFF ※ 初期値, 1 = 3ピクセル/フレーム ~ 10 = 30ピクセル/フレーム</p> <p>スクロールを行う場合は、設定値×3=1 フレーム毎にスクロールするピクセル数です</p>		0 = OFF ※ 初期値,	1 = VERTICAL COLOR BAR,	2 = HORIZONTAL COLOR BAR,	3 = VERTICAL GRAY SCALE,	4 = HORIZONTAL GRAY SCALE,	5 = VERTICAL RAMP,	6 = HORIZONTAL RAMP,	7 = 100% WHITE RASTER,	8 = 50% WHITE RASTER,	9 = 100% RED RASTER,	10 = 100% GREEN RASTER,	11 = 100% BLUE RASTER,	12 = CROSS HATCH,	13 = OUTPUT FRAME,	14 = VERTICAL STRIPE,	15 = HORIZONTAL STRIPE,	16 = VERTICAL ZEBRA,	17 = HORIZONTAL ZEBRA
0 = OFF ※ 初期値,	1 = VERTICAL COLOR BAR,																			
2 = HORIZONTAL COLOR BAR,	3 = VERTICAL GRAY SCALE,																			
4 = HORIZONTAL GRAY SCALE,	5 = VERTICAL RAMP,																			
6 = HORIZONTAL RAMP,	7 = 100% WHITE RASTER,																			
8 = 50% WHITE RASTER,	9 = 100% RED RASTER,																			
10 = 100% GREEN RASTER,	11 = 100% BLUE RASTER,																			
12 = CROSS HATCH,	13 = OUTPUT FRAME,																			
14 = VERTICAL STRIPE,	15 = HORIZONTAL STRIPE,																			
16 = VERTICAL ZEBRA,	17 = HORIZONTAL ZEBRA																			
実行例	送 @GTP <input type="checkbox"/> 受 @GTP,3,1,0,0,0,0,0 <input type="checkbox"/>	テストパターンの出力設定を取得する。 OUT1 は VERTICAL GRAY SCALE を 3ピクセル/フレーム でスクロールし、その他の出力はテストパターンを出力し ない。																		
関連項目	7.3.15 テストパターン																			
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ取得が可能です。																			

@SML	マルチディスプレイモード設定	
コマンド書式	@SML, multidisp <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SML, multidisp <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<p>multidisp : マルチディスプレイモード</p> <p>0 = OFF ※初期値, 1 = ON</p>	
実行例	送 @SML,1 <input type="checkbox"/> 受 @SML,1 <input type="checkbox"/>	マルチディスプレイモードを ON に設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.16 マルチディスプレイモード	

@GML	マルチディスプレイモード取得	
コマンド書式	@GML, multidisp <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GML, multidisp <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<p>multidisp : マルチディスプレイモード</p> <p>0 = OFF ※初期値, 1 = ON</p>	
実行例	送 @GML <input type="checkbox"/> 受 @GML,1 <input type="checkbox"/>	マルチディスプレイモードの状態を取得。 マルチディスプレイモードは ON に設定されている。
関連項目	7.3.16 マルチディスプレイモード	

## 3.3.5 画質設定

@SBR	入力ブライトネス設定	
コマンド書式	@SBR, <i>ch_1, bright_1, (, ch_2, bright_2...</i> )	
返り値書式	@SBR, <i>ch_1, bright_1, (, ch_2, bright_2...</i> )	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8	
	<i>bright_1-8</i> : ブライトネス 80 ~ 120 ※初期値 100	
実行例	送 @SBR,3,110 受 @SBR,3,110	IN3 のブライトネスを 110% に設定する。 正常終了。
関連項目	7.4.1 入力ブライトネス	

@GBR	入力ブライトネス取得	
コマンド書式	@GBR	
返り値書式	@GBR, <i>in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8</i>	
パラメータ	<i>in_1-8</i> : 各入力チャンネルのブライトネス 80 ~ 120 ※初期値 100	
実行例	送 @GBR 受 @GBR,110,100,100,100, 100,100,100,100	ブライトネス設定を取得。 IN1 は 110%、その他の入力は 100%。
関連項目	7.4.1 入力ブライトネス	

@SCO	入力コントラスト設定	
コマンド書式	@SCO, <i>ch_1, r_1, g_1, b_1 (, ch_2, r_2, g_2, b_2...</i> )	
返り値書式	@SCO, <i>ch_1, r_1, g_1, b_1 (, ch_2, r_2, g_2, b_2...</i> )	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8	
	<i>r_1-8</i> : コントラスト(赤) <i>g_1-8</i> : コントラスト(緑) <i>b_1-8</i> : コントラスト(青) 0 ~ 200 ※初期値 100	
実行例	送 @SCO,3,105,100,95 受 @SCO,3,105,100,95	IN3 のコントラストを赤 105%、緑 100%、青 95% に設定する。 正常終了。
関連項目	7.4.2 入力コントラスト	

@GCO	入力コントラスト取得	
コマンド書式	@GCO, <i>ch</i> [↵]	
返り値書式	@GCO, <i>ch, red, green, blue</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 8 = IN8  <i>red</i> : コントラスト(赤) <i>green</i> : コントラスト(緑) <i>blue</i> : コントラスト(青) 0 ~ 200 ※初期値 100	
実行例	送 @GCO,3[↵] 受 @GCO,3,105,100,95[↵]	IN3 のコントラスト設定を取得。 赤 105%、緑 100%、青 95%。
関連項目	7.4.2 入力コントラスト	

@SHU	色相(HUE)設定	
コマンド書式	@SHU, <i>ch_1, hue_1</i> (, <i>ch_2, hue_2</i> ...) [↵]	
返り値書式	@SHU, <i>ch_1, hue_1</i> (, <i>ch_2, hue_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-9</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8  <i>hue_1-9</i> : 色相(HUE) 0 ~ 359 ※初期値 0	
実行例	送 @SHU,1,60[↵] 受 @SHU,1,60[↵]	IN1 の色相を 60° に設定する。 正常終了。
関連項目	7.4.3 色相 (HUE)	

@GHU	色相(HUE)取得	
コマンド書式	@GHU [↵]	
返り値書式	@GHU, <i>in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8</i> [↵]	
パラメータ	<i>in_1-8</i> : 各入力チャンネルの色相(HUE) 0 ~ 359 ※初期値 0	
実行例	送 @GHU[↵] 受 @GHU,60,0,0,0,0,0,0,0[↵]	色相設定を取得。 IN1 は 60°、その他の入力は 0°。
関連項目	7.4.3 色相 (HUE)	

@SST	サチレーション(彩度)設定	
コマンド書式	@SST, <i>ch_1, saturation_1</i> (, <i>ch_2, saturation_2</i> ...) [↵]	
返り値書式	@SST, <i>ch_1, saturation_1</i> (, <i>ch_2, saturation_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8  <i>saturation_1-8</i> : サチレーション(彩度) 0 ~ 200 ※初期値 100	
実行例	送 @SST,5,105[↵] 受 @SST,5,105[↵]	IN5 のサチレーションを 105%に設定する。 正常終了。
関連項目	7.4.4 彩度 (SATURATION)	

<b>@GST</b>	<b>サチレーション(彩度)取得</b>	
コマンド書式	@GST [ ]	
返り値書式	@GST, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8 [ ]	
パラメータ	in_1-8 : 各入力チャンネルのサチレーション(彩度) 0 ~ 200 ※初期値 100	
実行例	送 @GST [ ] 受 @GST,100,100,100,100,105,100, 100,100 [ ]	サチレーションを取得する。 IN5 は 105%、その他の入力は 100%。
関連項目	7.4.4 彩度 (SATURATION)	

<b>@SSU</b>	<b>セットアップレベル設定</b>	
コマンド書式	@SSU, ch_1, setup_1 (, ch_2, setup_2...) [ ]	
返り値書式	@SSU, ch_1, setup_1 (, ch_2, setup_2...) [ ]	
パラメータ	ch_1-8 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8 setup_1-8 : セットアップレベル -20 = -20 × 0.5(-10.0%) ~ +20 = +20 × 0.5(+10.0%) ※初期値 ±0 = ±0.0%	
実行例	送 @SSU,5,15 [ ] 受 @SSU,5,15 [ ]	IN5 のセットアップレベルを+7.5%に設定する。 正常終了。
関連項目	7.4.5 セットアップレベル	

<b>@GSU</b>	<b>セットアップレベル取得</b>	
コマンド書式	@GSU [ ]	
返り値書式	@GSU, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8 [ ]	
パラメータ	in_1-8 : 各入力チャンネルのセットアップレベル -20 = -20 × 0.5(-10.0%) ~ +20 = +20 × 0.5(+10.0%) ※初期値 ±0 = ±0.0%	
実行例	送 @GSU [ ] 受 @GSU,0,0,0,0,15,0,0,0 [ ]	セットアップレベルを取得する。 IN5 は+7.5%、その他の入力は 0%。
関連項目	7.4.5 セットアップレベル	

<b>@IDC</b>	<b>入力デフォルトカラー</b>	
コマンド書式	@IDC, ch_1 (, ch_2...) [ ]	
返り値書式	@IDC, ch_1 (, ch_2...) [ ]	
パラメータ	ch_1-8 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8	
実行例	送 @IDC,1 [ ] 受 @IDC,1 [ ]	IN1 の @SBR 入力ブライトネス設定(P.37)、 @SCO 入力コントラスト設定(P.37)、@SHU 色相 (HUE)設定(P.38)、@SST サチレーション(彩度) 設定(P.38)、@SSU セットアップレベル設定 (P.39)を初期化する。 正常終了。
関連項目	7.4.6 入力デフォルトカラー	

@SOB	出力ブライテネス設定	
コマンド書式	@SOB, <i>ch_1, bright_1</i> (, <i>ch_2, bright_2</i> ····) ⓧ	
返り値書式	@SOB, <i>ch_1, bright_1</i> (, <i>ch_2, bright_2</i> ····) ⓧ	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	<i>bright_1-4</i> : ブライテネス 80 ~ 120 ※初期値 100	
実行例	送 @SOB,1,110ⓧ 受 @SOB,1,110ⓧ	OUT1 のブライテネスを 110%に設定する。 正常終了。
関連項目	7.4.7 出力ブライテネス	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

@GOB	出力ブライテネス取得	
コマンド書式	@GOB ⓧ	
返り値書式	@GOB, <i>out_1</i> (, <i>out_2, out_3, out_4</i> ) ⓧ	
パラメータ	<i>out_1-4</i> : 各出力のブライテネス 80 ~ 120 ※初期値 100	
実行例	送 @GOBⓧ 受 @GOB,110,100,100,100ⓧ	出力のブライテネス設定を取得。 OUT1 は 110%、その他の出力は 100%。
関連項目	7.4.7 出力ブライテネス	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ取得が可能です。	

@SOC	出力コントラスト設定	
コマンド書式	@SOC, <i>ch_1, red_1, green_1, blue_1</i> (, <i>ch_2, red_2, green_2, blue_2</i> ····) ⓧ	
返り値書式	@SOC, <i>ch_1, red_1, green_1, blue_1</i> (, <i>ch_2, red_2, green_2, blue_2</i> ····) ⓧ	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	<i>red_1-4</i> : コントラスト(赤) <i>green_1-4</i> : コントラスト(緑) <i>blue_1-4</i> : コントラスト(青) 0 ~ 200 ※初期値 100	
実行例	送 @SOC,1,105,100,95ⓧ 受 @SOC,1,105,100,95ⓧ	OUT1 のコントラストを赤 105%、緑 100%、青 95%に設定する。 正常終了。
関連項目	7.4.8 出力コントラスト	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

@GOC	出力コントラスト取得	
コマンド書式	@GOC, <i>ch</i> 	
返り値書式	@GOC, <i>ch, red, green, blue</i> 	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4  <i>red</i> : コントラスト(赤) <i>green</i> : コントラスト(緑) <i>blue</i> : コントラスト(青) 0 ~ 200 ※初期値 100	
実行例	送 @GOC,1  受 @GOC,1,105,100,95 	OUT1 のコントラスト設定を取得。 赤 105%、緑 100%、青 95%。
関連項目	7.4.8 出力コントラスト	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ取得が可能です。	

@ODC	出力デフォルトカラー	
コマンド書式	@ODC, <i>ch_1</i> ( <i>, ch_2...</i> ) 	
返り値書式	@ODC, <i>ch_1</i> ( <i>, ch_2...</i> ) 	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
実行例	送 @ODC,1  受 @ODC,1 	OUT1 の@SOB 出力ブライトネス設定(P.40)、@SOC 出力コントラスト設定(P.40)を初期化する。 正常終了。
関連項目	7.4.9 出力デフォルトカラー	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

## 3.3.6 入力設定

@SDT	無入力監視設定		
コマンド書式	@SDT, <i>ch_1</i> , <i>time_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>time_2</i> ···) <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@SDT, <i>ch_1</i> , <i>time_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>time_2</i> ···) <input type="checkbox"/>		
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8		
	<i>time_1-8</i> : 監視時間 0 = OFF, 2000 = 2 秒 ~ 15000 = 15 秒 ※初期値 10000 = 10 秒 100 ms 単位で設定し、下 2 桁に 0 以外を指定した場合は切り捨てられます(例えば 2955 と指定すると、2900 ms に設定されます)		
実行例	送	@SDT,3,6000 <input type="checkbox"/>	IN3 の無入力監視時間を 6000 ms(6 秒)に設定する。
	受	@SDT,3,6000 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.5.1 無入力監視		

@GDT	無入力監視取得		
コマンド書式	@GDT <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@GDT, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> , <i>in_7</i> , <i>in_8</i> <input type="checkbox"/>		
パラメータ	<i>in_1-8</i> : 各入力チャンネルの監視時間 0 = OFF, 2000 = 2 秒 ~ 15000 = 15 秒 ※初期値 10000 = 10 秒		
実行例	送	@GDT <input type="checkbox"/>	入力映像信号の無入力監視時間を取得。
	受	@GDT,6000,10000, 10000,4000,4000,4000, 4000,4000 <input type="checkbox"/>	IN1 は 6000 ms(6 秒)、IN2 と IN3 は 10000 ms(10 秒)、IN4 ~ IN8 は 4000 ms(4 秒)。
関連項目	7.5.1 無入力監視		

@SHE	HDCP 入力の許可/禁止設定		
コマンド書式	@SHE, <i>ch_1</i> , <i>hdcp_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>hdcp_2</i> ···) <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@SHE, <i>ch_1</i> , <i>hdcp_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>hdcp_2</i> ···) <input type="checkbox"/>		
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8		
	<i>hdcp_1-8</i> : HDCP 入力の許可/禁止 0 = DISABLE(許可しない), 1 = ENABLE(許可する) ※初期値		
実行例	送	@SHE,1,0 <input type="checkbox"/>	IN1 の HDCP 入力を許可しない。
	受	@SHE,1,0 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.5.2 HDCP入力の許可/禁止		

@GHE	HDCP 入力の許可/禁止設定取得		
コマンド書式	@GHE <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@GHE, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> , <i>in_7</i> , <i>in_8</i> <input type="checkbox"/>		
パラメータ	<i>in_1-8</i> : 各入力チャンネルの HDCP 入力の許可/禁止 0 = DISABLE(許可しない), 1 = ENABLE(許可する) ※初期値		
実行例	送	@GHE <input type="checkbox"/>	HDCP 入力の許可/禁止設定を取得。
	受	@GHE,1,1,0,1,1,1,1 <input type="checkbox"/>	IN3 は HDCP 入力を許可しない、その他の入力は HDCP 入力を許可する
関連項目	7.5.2 HDCP入力の許可/禁止		

@SIQ	入力イコライザ設定	
コマンド書式	@SIQ, <i>ch_1, level_1</i> (, <i>ch_2, level_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SIQ, <i>ch_1, level_1</i> (, <i>ch_2, level_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8	
	<i>level_1-8</i> : 入力イコライザ 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
実行例	送 @SIQ,3,0 <input type="checkbox"/> 受 @SIQ,3,0 <input type="checkbox"/>	IN3 の入力イコライザを OFF に設定する。 正常終了。
関連項目	7.5.3 入力イコライザ	

@GIQ	入力イコライザ取得	
コマンド書式	@GIQ <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GIQ, <i>in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_1-8</i> : 各入力チャンネルの入力イコライザ 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
実行例	送 @GIQ <input type="checkbox"/> 受 @GIQ,0,1,1,1,1,1,1,1 <input type="checkbox"/>	入力イコライザを取得。 IN1 は入力イコライザ OFF、その他の入力が入力イコライザ ON。
関連項目	7.5.3 入力イコライザ	

@SID	入力映像信号 OFF の自動検出設定	
コマンド書式	@SID, <i>ch_1, detect_1</i> (, <i>ch_2, detect_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SID, <i>ch_1, detect_1</i> (, <i>ch_2, detect_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8	
	<i>detect_1-8</i> : 自動検出 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
実行例	送 @SID,8,0 <input type="checkbox"/> 受 @SID,8,0 <input type="checkbox"/>	IN8 は入力映像信号が途切れた場合に、瞬時に映像出力を OFF にしない。 正常終了。
関連項目	7.5.4 入力映像信号OFFの自動検出	

@GID	入力映像信号 OFF の自動検出設定取得	
コマンド書式	@GID <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GID, <i>in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_1-8</i> : 各入力チャンネルの自動検出 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
実行例	送 @GID <input type="checkbox"/> 受 @GID,1,1,1,1,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>	入力映像信号 OFF の自動検出設定を取得。 IN8 は入力映像信号が途切れた場合に、瞬時に映像出力を OFF にしない、その他の入力 OFF にする。
関連項目	7.5.4 入力映像信号OFFの自動検出	

## 3.3.7 入カタイミング設定

<b>@GHT</b>	<b>水平総ドット数取得</b>	
コマンド書式	@GHT [ ]	
返り値書式	@GHT, <i>in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8</i> [ ]	
パラメータ	<i>in_1-8</i> : 各入力チャンネルの水平総ドット数 400 ~ 4125 (ただしサンプリングクロックが 13 MHz~162 MHz の範囲内) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @GHT [ ] 受 @GHT,2200,2200,0,2640, 1344,1792,0,1792,0 [ ]	水平総ドット数を取得。 信号が入力されていないチャンネルは0が返されます。
関連項目	7.6.1 水平総ドット数	

<b>@SHS</b>	<b>水平取り込み開始位置設定</b>	
コマンド書式	@SHS, <i>ch, h_start</i> [ ]	
返り値書式	@SHS, <i>ch, h_start</i> [ ]	
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8 <i>h_start</i> : 水平取り込み開始位置 64 ~ 2900 (ただし水平総ドット数-水平表示期間以下) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @SHS,5,296 [ ] 受 @SHS,5,296 [ ] 送 @SHS,6,296 [ ] 受 @ERR,3 [ ]	IN5 の水平取り込み開始位置を 296 に設定する。 正常終了。 信号が入力されていない場合は、エラーが返されます。
関連項目	7.6.2 水平取り込み開始位置	
注意事項	信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。	

<b>@GHS</b>	<b>水平取り込み開始位置取得</b>	
コマンド書式	@GHS [ ]	
返り値書式	@GHS, <i>in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8</i> [ ]	
パラメータ	<i>in_1-8</i> : 各入力チャンネルの水平取り込み開始位置 64 ~ 2900 (ただし水平総ドット数-水平表示期間以下) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @GHS [ ] 受 @GHS,192,192,496,0,296, 0,378,378 [ ]	水平取り込み開始位置を取得。 信号が入力されていないチャンネルは 0 が返されま す。
関連項目	7.6.2 水平取り込み開始位置	

@SHD	水平表示期間設定		
コマンド書式	@SHD, <i>ch</i> , <i>h_disp</i>		
返り値書式	@SHD, <i>ch</i> , <i>h_disp</i>		
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8		
	<i>h_disp</i> : 水平表示期間 64 ~ 2900 (ただし水平総ドット数-64 以下) ※初期値 入力された信号により異なります		
実行例	送	@SHD,5,1024	IN5 の水平表示期間を 1024 に設定する。 正常終了。
	受	@SHD,5,1024	
	送	@SHD,6,1024	信号が入力されていない場合は、エラーが返されます。
	受	@ERR,3	
関連項目	7.6.3 水平表示期間		
注意事項	信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。		

@GHD	水平表示期間取得		
コマンド書式	@GHD		
返り値書式	@GHD, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> , <i>in_7</i> , <i>in_8</i>		
パラメータ	<i>in_1-8</i> : 各入力チャンネルの水平表示期間 64 ~ 2900 (ただし水平総ドット数-64 以下) ※初期値 入力された信号により異なります		
実行例	送	@GHD	水平表示期間を取得。 信号が入力されていないチャンネルは0が返されます。
	受	@GHD,1920,1920,0,1920, 1024,1360,0,1360	
関連項目	7.6.3 水平表示期間		

@SVS	垂直取り込み開始位置設定		
コマンド書式	@SVS, <i>ch</i> , <i>v_start</i>		
返り値書式	@SVS, <i>ch</i> , <i>v_start</i>		
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8		
	<i>v_start</i> : 垂直取り込み開始位置 10 ~ 2048 (ただし垂直総ライン数-垂直表示期間以下) ※初期値 入力された信号により異なります		
実行例	送	@SVS,5,35	IN5 の垂直取り込み開始位置を 35 に設定する。 正常終了。
	受	@SVS,5,35	
	送	@SVS,6,35	信号が入力されていない場合は、エラーが返されま す。
	受	@ERR,3	
関連項目	7.6.4 垂直取り込み開始位置		
注意事項	信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。		

<b>@GVS</b>	<b>垂直取り込み開始位置取得</b>	
コマンド書式	@GVS [ ]	
返り値書式	@GVS, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> , <i>in_7</i> , <i>in_8</i> [ ]	
パラメータ	<i>in_1-8</i> : 各入力チャンネルの垂直取り込み開始位置 10 ~ 2048 (ただし垂直総ライン数-垂直表示期間以下) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @GVS [ ] 受 @GVS,40,0,40,40,35,0, 24,24 [ ]	垂直取り込み開始位置を取得。 信号が入力されていないチャンネルは0が返されます。
関連項目	7.6.4 垂直取り込み開始位置	

<b>@SVD</b>	<b>垂直表示期間設定</b>	
コマンド書式	@SVD, <i>ch</i> , <i>v_disp</i> [ ]	
返り値書式	@SVD, <i>ch</i> , <i>v_disp</i> [ ]	
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8  <i>v_disp</i> : 垂直表示期間 10 ~ 2048 (ただし垂直総ライン数-10 以下) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @SVD,5,768 [ ] 受 @SVD,5,768 [ ] 送 @SVD,5,768 [ ] 受 @ERR,3 [ ]	IN5 の垂直表示期間を 768 に設定する。 正常終了。 信号が入力されていない場合は、エラーが返されます。
関連項目	7.6.5 垂直表示期間	
注意事項	信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。	

<b>@GVD</b>	<b>垂直表示期間取得</b>	
コマンド書式	@GVD [ ]	
返り値書式	@GVD, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> , <i>in_7</i> , <i>in_8</i> [ ]	
パラメータ	<i>in_1-8</i> : 各入力チャンネルの垂直表示期間 10 ~ 2048 (ただし垂直総ライン数-10 以下) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @GVD [ ] 受 @GVD,0,1080,1080,900, 768,0,900,0 [ ]	垂直表示期間を取得。 信号が入力されていないチャンネルは0が返されます。
関連項目	7.6.5 垂直表示期間	

<b>@RTT</b>	<b>入力タイミング設定の初期化</b>	
コマンド書式	@RTT, <i>ch</i> [ ]	
返り値書式	@RTT, <i>ch</i> [ ]	
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 8 = IN8	
実行例	送 @RTT,1 [ ] 受 @RTT,1 [ ]	IN1 の入力タイミング設定を本機が自動検出した値に初期化する。 正常終了。
関連項目	7.6.6 初期化	
注意事項	入力信号がある場合のみ有効なコマンドです。	

## 3.3.8 出力設定

@SEQ	出力イコライザ設定	
コマンド書式	@SEQ, <i>ch_1, level_1</i> , ( <i>ch_2, level_2</i> ···)	
返り値書式	@SEQ, <i>ch_1, level_1</i> , ( <i>ch_2, level_2</i> ···)	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = OUTA 全出力, 1 = OUT1A ~ 4 = OUT4A  <i>level_1-4</i> : 出力イコライザ 0 = OFF ※初期値, 1 = LOW, 2 = MIDDLE, 3 = HIGH	
実行例	送 @SEQ,1,0	OUT1A の出力イコライザを OFF に設定する。
	受 @SEQ,1,0	正常終了。
関連項目	7.7.1 出力イコライザ	

@GEQ	出力イコライザ取得	
コマンド書式	@GEQ	
返り値書式	@GEQ, <i>out_1</i> , ( <i>out_2, out_3, out_4</i> )	
パラメータ	<i>out_1-4</i> : 各出力の出力イコライザ 0 = OFF ※初期値, 1 = LOW, 2 = MIDDLE, 3 = HIGH	
実行例	送 @GEQ	出力イコライザを取得。
	受 @GEQ,0,1,0,0	OUT2A は LOW、その他の出力は OFF。
関連項目	7.7.1 出力イコライザ	

@SDM	出力モード設定	
コマンド書式	@SDM, <i>ch_1, mode_1</i> , ( <i>ch_2, mode_2</i> ···)	
返り値書式	@SDM, <i>ch_1, mode_1</i> , ( <i>ch_2, mode_2</i> ···)	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1A ~ 4 = OUT4A, 5 = OUT1B ~ 8 = OUT4B※ ※ 「OUT1B」~「OUT4B」は、HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ設定が可能です。  <i>mode_1-4</i> : 出力モード 0 = DVI MODE, 1 = HDMI RGB MODE, 2 = HDMI YCbCr4:2:2 MODE, 3 = HDMI YCbCr4:4:4 MODE ※初期値	
実行例	送 @SDM,1,3	OUT1A 出力モードを HDMI YCbCr4:4:4 MODE に設定する。
	受 @SDM,1,3	正常終了。
関連項目	7.7.2 出力モード	

@GDM	出力モード取得	
コマンド書式	@GDM [ ]	
返り値書式	@GDM, outA_1 (, outA_2, outA_3, outA_4, outB_1, outB_2, outB_3, outB_4) [ ]	
パラメータ	outA_1-4 : OUTA の各出力の出力モード outB_1-4 : OUTB の各出力の出力モード* 0 = DVI MODE, 1 = HDMI RGB MODE, 2 = HDMI YCbCr4:2:2 MODE, 3 = HDMI YCbCr4:4:4 MODE ※初期値 ※ 「OUT1B」～「OUT4B」は、HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ値の取得が可能です。	
実行例	送 @GDM [ ] 受 @GDM,3,0,3,3,3,3,0 [ ]	出力モードを取得。 OUT2A と OUT4B は DVI MODE、その他の出力は HDMI YCbCr4:4:4 MODE。
関連項目	7.7.2 出力モード	

@SUY	映像信号無入力時の同期信号出力設定	
コマンド書式	@SUY, ch_1, sync_1 (, ch_2, sync_2...) [ ]	
返り値書式	@SUY, ch_1, sync_1 (, ch_2, sync_2...) [ ]	
パラメータ	ch_1-4 : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4 sync_1-4 : 同期信号出力 0 = 出力しない, 1 = 出力する ※初期値	
実行例	送 @SUY,1,1 [ ] 受 @SUY,1,1 [ ]	OUT1 は映像信号が入力されていない場合でも同期信号を出力する。 正常終了。
関連項目	7.7.3 映像信号無入力時の同期信号出力	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

@GUY	映像信号無入力時の同期信号出力取得	
コマンド書式	@GUY [ ]	
返り値書式	@GUY, out_1 (, out_2, out_3, out_4) [ ]	
パラメータ	out_1-4 : 各出力の同期信号出力 0 = 出力しない, 1 = 出力する ※初期値	
実行例	送 @GUY [ ] 受 @GUY,1,1,0,1 [ ]	映像信号無入力時の同期信号出力を取得。 OUT3 は同期信号を出力しない、その他の出力は同期信号を出力する。
関連項目	7.7.3 映像信号無入力時の同期信号出力	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ取得が可能です。	

@SBO	映像信号無入力時の出力映像設定	
コマンド書式	@SBO, <i>ch_1</i> , <i>video_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>video_2</i> ...) [ ]	
返り値書式	@SBO, <i>ch_1</i> , <i>video_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>video_2</i> ...) [ ]	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	<i>video_1-4</i> : 出力映像 0 = ブラック画面, 1 = ブルー画面 ※初期値, 2 = バックカラー画面	
実行例	送	@SBO,1,1 [ ] OUT1 は映像信号が入力されていない場合にブルー画面を出力する。
	受	@SBO,1,1 [ ] 正常終了。
関連項目	7.7.4 映像信号無入力時の出力映像	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

@GBO	映像信号無入力時の出力映像取得	
コマンド書式	@GBO [ ]	
返り値書式	@GBO, <i>out_1</i> (, <i>out_2</i> , <i>out_3</i> , <i>out_4</i> ) [ ]	
パラメータ	<i>out_1-4</i> : 各出力の出力映像 0 = ブラック画面, 1 = ブルー画面 ※初期値, 2 = バックカラー画面	
実行例	送	@GBO [ ] 映像信号無入力時の出力映像を取得。
	受	@GBO,1,0,0,0 [ ] OUT1 はブルー画面を出力する、その他の出力はブラック画面を出力する。
関連項目	7.7.4 映像信号無入力時の出力映像	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ取得が可能です。	

@SFF	映像入力チャンネル切り換え効果設定	
コマンド書式	@SFF, <i>ch_1</i> , <i>switching_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>switching_2</i> ...) [ ]	
返り値書式	@SFF, <i>ch_1</i> , <i>switching_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>switching_2</i> ...) [ ]	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	<i>switching_1-4</i> : 切り換え効果 0 = カット, 1 = フェードアウト/フェードイン, 2 = フリーズ+フェードアウト/フェードイン ※初期値, 3 = 左→右へワイプ, 4 = 右→左へワイプ, 5 = 上→下へワイプ, 6 = 下→上へワイプ	
実行例	送	@SFF,1,1 [ ] OUT1はフェードアウト/フェードインまたはディゾルブにより入力チャンネルを切り換える。
	受	@SFF,1,1 [ ] 正常終了。
関連項目	7.7.5 映像入力チャンネル切り換え効果	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

<b>@GFF</b>	<b>映像入力チャンネル切り換え効果取得</b>	
コマンド書式	@GFF [↵]	
返り値書式	@GFF, out_1 (, out_2, out_3, out_4) [↵]	
パラメータ	out_1-4 : 各出力の切り換え効果 0 = カット, 1 = フェードアウト/フェードイン, 2 = フリーズ+フェードアウト/フェードイン ※初期値, 3 = 左→右へワイプ, 4 = 右→左へワイプ, 5 = 上→下へワイプ, 6 = 下→上へワイプ	
実行例	送 @GFF [↵] 受 @GFF,1,1,0,1 [↵]	入力チャンネル切り換え時の効果を取得。 OUT3 はカット、その他の出力はフェードアウト/フェードインまたはディゾルブにより入力チャンネルを切り換える。
関連項目	7.7.5 映像入力チャンネル切り換え効果	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ取得が可能です。	

<b>@SFT</b>	<b>映像入力チャンネル切り換え時間設定</b>	
コマンド書式	@SFT, ch_1, time_1 (, ch_2, time_2...) [↵]	
返り値書式	@SFT, ch_1, time_1 (, ch_2, time_2...) [↵]	
パラメータ	ch_1-4 : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4  time_1-4 : 切り換え時間 100 = 0.1 秒 ~ 2000 = 2 秒 ※初期値 350 = 0.35 秒 10 ms 単位で設定し、下 1 桁に 0 以外を指定した場合は切り捨てられます。(例えば 395 と指定すると、390 ms に設定されます)	
実行例	送 @SFT,1,400 [↵] 受 @SFT,1,400 [↵]	OUT1 の映像入力チャンネルの切り換え時間は 400 ms。 正常終了。
関連項目	7.7.6 映像入力チャンネル切り換え時間	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

<b>@GFT</b>	<b>映像入力チャンネル切り換え時間取得</b>	
コマンド書式	@GFT [↵]	
返り値書式	@GFT, out_1 (, out_2, out_3, out_4) [↵]	
パラメータ	out_1-4 : 各出力の切り換え時間 100 = 0.1 秒 ~ 2000 = 2 秒 ※初期値 350 = 0.35 秒	
実行例	送 @GFT [↵] 受 @GFT,400,350,350,350 [↵]	映像入力チャンネルの切り換え時間を取得。 OUT1 は 400 ms、その他の出力は 350 ms。
関連項目	7.7.6 映像入力チャンネル切り換え時間	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ取得が可能です。	

@SWC	ワイプカラー設定	
コマンド書式	@SWC, <i>ch_1, red_1, green_1, blue_1</i> (, <i>ch_2, red_2, green_2, blue_2</i> ...) 	
返り値書式	@SWC, <i>ch_1, red_1, green_1, blue_1</i> (, <i>ch_2, red_2, green_2, blue_2</i> ...) 	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4 <hr/> <i>red_1-4</i> : ワイプカラー(赤) <i>green_1-4</i> : ワイプカラー(緑) <i>blue_1-4</i> : ワイプカラー(青) 0 ~ 255 ※初期値 0	
実行例	送 @SWC,1,255,255,255  受 @SWC,1,255,255,255 	OUT1 のワイプカラーを RGB とともに 255(白)に設定する。 正常終了。
関連項目	7.7.7 ワイプカラー	
注意事項	@SFF 映像入力チャンネル切り換え効果設定(P.49)を 3~6(ワイプ切り換え)に設定している場合のみ有効に機能します。 @SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

@GWC	ワイプカラー取得	
コマンド書式	@GWC, <i>ch</i> 	
返り値書式	@GWC, <i>ch, red, green, blue</i> 	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4 <hr/> <i>red</i> : ワイプカラー(赤) <i>green</i> : ワイプカラー(緑) <i>blue</i> : ワイプカラー(青) 0 ~ 255 ※初期値 0	
実行例	送 @GWC,1  受 @GWC,1,255,255,255 	OUT1 のワイプカラーを取得。 RGB とともに 255(白)。
関連項目	7.7.7 ワイプカラー	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ取得が可能です。	

@SVO	映像出力コネクタ設定	
コマンド書式	@SVO, <i>ch_1, out1A</i> (, <i>ch_2, out2A</i> ...) [ ]	
返り値書式	@SVO, <i>ch_1, out1A</i> (, <i>ch_2, out2A</i> ...) [ ]	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1A ~ 4 = OUT4A, 5 = OUT1B ~ 8 = OUT4B  <i>outA1-4</i> : OUTA の各コネクタの映像出力 <i>outB1-4</i> : OUTB の各コネクタの映像出力 0 = 出力しない, 1 = 出力する ※初期値,	
実行例	送 @SVO,1,1 [ ] 受 @SVO,1,1 [ ]	OUT1A コネクタは映像を出力する。 正常終了。
	送 @SVO,1,1 [ ] 受 @ERR,15 [ ]	HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ設定が可能です。
関連項目	7.7.8 映像出力コネクタ	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1A と OUT1B のみ設定が可能です。	

@GVO	映像出力コネクタ取得	
コマンド書式	@GVO [ ]	
返り値書式	@GVO, <i>outA_1</i> (, <i>outA_2, outA_3, outA_4, outB_1, outB_2, outB_3, outB_4</i> ) [ ]	
パラメータ	<i>outA_1-4</i> : OUTA コネクタの各映像出力 <i>outB_1-4</i> : OUTB コネクタの各映像出力 0 = 出力しない, 1 = 出力する ※初期値,	
実行例	送 @GVO [ ] 受 @GVO,1,1,1,0,1,1,0,1 [ ]	HDCP 出力を取得。 OUT4A と OUT3B は映像を出力しない、その他のコネクタは映像を出力する。
	送 @GVO [ ] 受 @ERR,15 [ ]	HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ値の取得が可能です。
関連項目	7.7.8 映像出力コネクタ	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1A と OUT1B のみ設定が可能です。	

@SEN	HDCP 出力設定	
コマンド書式	@SEN, <i>ch_1, hdcp_1</i> (, <i>ch_2, hdcp_2</i> ...) [ ]	
返り値書式	@SEN, <i>ch_1, hdcp_1</i> (, <i>ch_2, hdcp_2</i> ...) [ ]	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1A ~ 4 = OUT4A, 5 = OUT1B ~ 8 = OUT4B* ※ 「OUT1B」～「OUT4B」は、HDBaseT出力オプションが搭載されている場合のみ設定が可能です。  <i>hdcp_1-8</i> : HDCP 出力 0 = 入力信号に HDCP が付加されている場合のみ HDCP 出力, 1 = 常時 HDCP 出力 ※初期値, 2 = HDCP の認証を行わない	
実行例	送 @SEN,1,1 [ ] 受 @SEN,1,1 [ ]	OUT1A は常時 HDCP を出力する。 正常終了。
関連項目	7.7.9 HDCP出力	

@GEN	HDCP 出力取得	
コマンド書式	@GEN [ ]	
返り値書式	@GEN, outA_1 (, outA_2, outA_3, outA_4, outB_1, outB_2, outB_3, outB_4) [ ]	
パラメータ	<p>outA_1-4 : OUTA の各出力の HDCP 出力  outB_1-4 : OUTB の各出力の HDCP 出力*</p> <p>0 = 入力信号に HDCP が付加されている場合のみ HDCP 出力,  1 = 常時 HDCP 出力 ※初期値,  2 = HDCP の認証を行わない</p> <p>※ 「OUT1B」～「OUT4B」は、HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ値の取得が可能です。</p>	
実行例	送 @GEN [ ] 受 @GEN,1,1,1,0,1,1,0,1 [ ]	HDCP 出力を取得。 OUT4A と OUT3B は入力信号に HDCP が付加されている場合のみ HDCP 出力、その他の出力は常時 HDCP を出力する。
関連項目	7.7.9 HDCP出力	

@SHR	HDCP 認証エラー時のリトライ回数設定	
コマンド書式	@SHR, ch_1, retry_1 (, ch_2, retry_2...) [ ]	
返り値書式	@SHR, ch_1, retry_1 (, ch_2, retry_2...) [ ]	
パラメータ	<p>ch_1-8 : 出力  0 = 全出力, 1 = OUT1A ~ 4 = OUT4A, 5 = OUT1B ~ 8 = OUT4B*</p> <p>※ 「OUT1B」～「OUT4B」は、HDBaseT出力オプションが搭載されている場合のみ設定が可能です。</p> <p>retry_1-8 : リトライ回数  -1 = 成功するまでリトライする ※初期値, 0 = リトライしない,  1 ~ 100 = 任意の回数リトライを行う</p>	
実行例	送 @SHR,4,10 [ ] 受 @SHR,4,10 [ ]	OUT4A は 10 回までリトライする。 正常終了。
関連項目	7.7.10 HDCP認証エラー時のリトライ回数	

@GHR	HDCP 認証エラー時のリトライ回数取得	
コマンド書式	@GHR [ ]	
返り値書式	@GHR, outA_1 (, outA_2, outA_3, outA_4, outB_1, outB_2, outB_3, outB_4) [ ]	
パラメータ	<p>outA_1-4 : OUTA の各出力のリトライ回数  outB_1-4 : OUTB の各出力のリトライ回数*</p> <p>-1 = 成功するまでリトライする ※初期値, 0 = リトライしない,  1 ~ 100 = 任意の回数リトライを行う</p> <p>※ 「OUT1B」～「OUT4B」は、HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ値の取得が可能です。</p>	
実行例	送 @GHR [ ] 受 @GHR,-1,-1,-1,10,-1,10,-1,-1 [ ]	HDCP 認証エラー時のリトライ回数を取得。 OUT4A と OUT2B は 10 回、その他の出力は成功するまでリトライする。
関連項目	7.7.10 HDCP認証エラー時のリトライ回数	

@SDC	Deep Color 出力設定	
コマンド書式	@SDC, <i>ch_1, color_1</i> ( <i>ch_2, color_2</i> ····)	
返り値書式	@SDC, <i>ch_1, color_1</i> ( <i>ch_2, color_2</i> ····)	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1A ~ 4 = OUT4A, 5 = OUT1B ~ 8 = OUT4B※ ※ 「OUT1B」~「OUT4B」は、HDBaseT出力オプションが搭載されている場合のみ設定が可能です。	
	<i>color_1-8</i> : 色深度 0 = 24-BIT COLOR ※初期値, 1 = 30-BIT COLOR	
実行例	送 @SDC,1,0 受 @SDC,1,0	OUT1A は 24-BIT COLOR に設定する。 正常終了。
関連項目	7.7.11 Deep Color出力	

@GDC	Deep Color 出力取得	
コマンド書式	@GDC	
返り値書式	@GDC, <i>outA_1</i> ( <i>outA_2, outA_3, outA_4, outB_1, outB_2, outB_3, outB_4</i> )	
	<i>outA_1-4</i> : OUTA の各出力の色深度 <i>outB_1-4</i> : OUTB の各出力の色深度※ 0 = 24-BIT COLOR ※初期値, 1 = 30-BIT COLOR ※ 「OUT1B」~「OUT4B」は、HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ値の取得が可能です。	
実行例	送 @GDC 受 @GDC,1,1,0,1,1,1,1,1	出力されている色深度を取得。 OUT3A は 24-BIT COLOR、その他の出力は 30-BIT COLOR。
関連項目	7.7.11 Deep Color出力	

@SCE	CEC 接続設定	
コマンド書式	@SCE, <i>ch_1, connect_1</i> ( <i>ch_2, connect_2</i> ····)	
返り値書式	@SCE, <i>ch_1, connect_1</i> ( <i>ch_2, connect_2</i> ····)	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1A ~ 4 = OUT4A, 5 = OUT1B ~ 8 = OUT4B※ ※ 「OUT1B」~「OUT4B」は、HDBaseT出力オプションが搭載されている場合のみ設定が可能です。	
	<i>connect_1-8</i> : CEC の接続 0 = 未接続 ※初期値, 1 = 選択されている映像入力チャンネル, 2 = 入力チャンネル 1, 3 = 入力チャンネル 2, 4 = 入力チャンネル 3, 5 = 入力チャンネル 4, 6 = 入力チャンネル 5, 7 = 入力チャンネル 6 8 = 入力チャンネル 7, 9 = 入力チャンネル 8	
実行例	送 @SCE,1,4 受 @SCE,1,4	OUT1A の CEC は入力チャンネル 3 と接続する。 正常終了。
関連項目	7.7.12 CEC接続	

@GCE	CEC 接続取得	
コマンド書式	@GCE [ ]	
返り値書式	@GCE, outA_1 (, outA_2, outA_3, outA_4, outB_1, outB_2, outB_3, outB_4) [ ]	
パラメータ	outA_1-4 : OUTA の各出力の CEC の接続 outB_1-4 : OUTB の各出力の CEC の接続※ 0 = 未接続 ※初期値, 1 = 選択されている映像入力チャンネル, 2 = 入力チャンネル 1, 3 = 入力チャンネル 2, 4 = 入力チャンネル 3, 5 = 入力チャンネル 4, 6 = 入力チャンネル 5, 7 = 入力チャンネル 6 8 = 入力チャンネル 7, 9 = 入力チャンネル 8 ※ 「OUT1B」～「OUT4B」は、HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ値の取得が可能です。	
実行例	送 @GCE [ ] 受 @GCE,4,0,0,0,0,0,0,0 [ ]	CEC の接続を取得。 OUT1A は入力チャンネル 3 と接続する、その他の出力は未接続。
関連項目	7.7.12 CEC接続	

@HAU	HDCP 再認証	
コマンド書式	@HAU, ch_1, (, ch_2···) [ ]	
返り値書式	@HAU, ch_1, (, ch_2···) [ ]	
パラメータ	ch_1-8 : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1A ~ 4 = OUT4A, 5 = OUT1B ~ 8 = OUT4B※ ※ 「OUT1B」～「OUT4B」は、HDBaseT出力オプションが搭載されている場合のみ設定が可能です。	
実行例	送 @HAU,1 [ ] 受 @HAU,1 [ ]	OUT1A に接続された表示機器の HDCP の再認証を実行します。 正常終了。
関連項目	7.7.13 HDCP再認証	

@SFL	フレームロックモード設定	
コマンド書式	@SFL, framelock [ ]	
返り値書式	@SFL, framelock [ ]	
パラメータ	framelock : フレームロックモード設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ON	
実行例	送 @SFL,1 [ ] 受 @SFL,1 [ ]	フレームロックモードを ON に設定する。 正常終了。
関連項目	7.7.14 フレームロックモード	

@GFL	フレームロックモード取得	
コマンド書式	@GFL [ ]	
返り値書式	@GFL, framelock [ ]	
パラメータ	framelock : フレームロックモード設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ON	
実行例	送 @GFL [ ] 受 @GFL,1 [ ]	フレームロックモードの状態を取得。 フレームロックモードは ON に設定されている。
関連項目	7.7.14 フレームロックモード	

## 3.3.9 音声設定

@SSL	音声出力レベル設定	
コマンド書式	@SSL, <i>ch_1, level_1</i> ( <i>ch_2, level_2</i> ···)	
返り値書式	@SSL, <i>ch_1, level_1</i> ( <i>ch_2, level_2</i> ···)	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	<i>level_1-4</i> : 音声出力レベル -60 ~ +10 ※初期値 ±0	
実行例	送 @SSL,1,-4 受 @SSL,1,-4	OUT1 の音声出力レベルを-4dB に設定する。 正常終了。
関連項目	7.8.1 音声出力レベル	
注意事項	ミュート中に出力レベルを変更するとミュートが解除されます。	

@GSL	音声出力レベル取得	
コマンド書式	@GSL	
返り値書式	@GSL, <i>out_1</i> ( <i>out_2, out_3, out_4</i> )	
パラメータ	<i>out_1-4</i> : 各出力の音声出力レベル -60 ~ +10 ※初期値 ±0	
実行例	送 @GSL 受 @GSL,-4,0,0,0	音声出力レベルを取得。 OUT1 は-4dB、その他の出力は±0dB。
関連項目	7.8.1 音声出力レベル	

@SOL	音声出力レベル 相対値設定	
コマンド書式	@SOL, <i>ch_1, updown_1</i> ( <i>ch_2, updown_2</i> ···)	
返り値書式	@SOL, <i>ch_1, updown_1</i> ( <i>ch_2, updown_2</i> ···)	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	<i>updown_1-4</i> : 相対設定 -70 ~ +70 現在の音声出力レベル設定に、指定した値を加算します。加算した結果、音声出力レベルがリミット値(-60~+10)を超える場合は、リミット値に制限されます。	
実行例	送 @SOL,1,-1 受 @SOL,1,-1	OUT1 の音声出力レベルを 1dB 下げる。 正常終了。
関連項目	7.8.1 音声出力レベル	
注意事項	ミュート中に出力レベルを変更するとミュートが解除されます。	

@GOL	音声出力レベル リミット状態取得	
コマンド書式	@GOL	
返り値書式	@GOL, <i>out_1</i> ( <i>out_2, out_3, out_4</i> )	
パラメータ	<i>out_1-4</i> : 各出力の音声出力レベルのリミット状態 -1 = 最小設定値(-60dB), 0 = リミット状態ではない, 1 = 最大設定値(+10dB)	
実行例	送 @GOL 受 @GOL,1,0,0,0	音声出力レベルのリミット状態を取得。 OUT1 は最大設定値、その他の出力はリミットではない。
関連項目	7.8.1 音声出力レベル	

@SAM	音声出力ミュート設定	
コマンド書式	@SAM, <i>ch_1</i> , <i>mute_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>mute_2</i> ····)	
返り値書式	@SAM, <i>ch_1</i> , <i>mute_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>mute_2</i> ····)	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	<i>mute_1-4</i> : 音声出力ミュート 0 = ミュート OFF ※初期値, 1 = ミュート ON	
実行例	送 @SAM,1,1 受 @SAM,1,1	OUT1 の音声出力をミュートする。 正常終了。
関連項目	7.8.2 音声出力ミュート	

@GAM	音声出力ミュート取得	
コマンド書式	@GAM	
返り値書式	@GAM, <i>out_1</i> (, <i>out_2</i> , <i>out_3</i> , <i>out_4</i> )	
パラメータ	<i>out_1-4</i> : 各出力の音声出力ミュート 0 = ミュート OFF ※初期値, 1 = ミュート ON	
実行例	送 @GAM 受 @GAM,1,0,0,0	音声出力ミュートを取得。 OUT1 はミュート ON、その他の出力はミュート OFF。
関連項目	7.8.2 音声出力ミュート	

@SAS	音声入力選択設定	
コマンド書式	@SAS, <i>ch_1</i> , <i>select_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>select_2</i> ····)	
返り値書式	@SAS, <i>ch_1</i> , <i>select_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>select_2</i> ····)	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8	
	<i>select_1-8</i> : 音声入力選択 0 = 自動 ※初期値, 1 = アナログ音声, 2 = デジタル音声	
実行例	送 @SAS,3,1 受 @SAS,3,1	IN3 の音声入力をアナログ音声に設定する。 正常終了。
関連項目	7.8.3 音声入力選択	

@GAS	音声入力選択取得	
コマンド書式	@GAS	
返り値書式	@GAS, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> , <i>in_7</i> , <i>in_8</i>	
パラメータ	<i>in_1-8</i> : 各入力チャンネルの音声入力選択 0 = 自動 ※初期値, 1 = アナログ音声, 2 = デジタル音声	
実行例	送 @GAS 受 @GAS,1,0,0,0,0,0,0	音声入力選択を取得。 IN1 はアナログ音声を使用し、その他の入力には自動に設定。
関連項目	7.8.3 音声入力選択	

<b>@GSD</b>	<b>実際の音声入力選択取得</b>	
コマンド書式	@GSD [ ]	
返り値書式	@GSD, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8 [ ]	
パラメータ	in_1-8 : 各入力チャンネルの実際の音声入力選択 1 = アナログ音声 ※初期値, 2 = デジタル音声	
実行例	送 @GSD [ ] 受 @GSD,1,2,2,2,2,1,2,2 [ ]	実際の音声入力選択を取得。 IN1 と IN6 はアナログ音声、その他の入力はデジタル音声 が有効。
関連項目	7.8.3 音声入力選択	

<b>@SSO</b>	<b>音声入力レベル設定</b>	
コマンド書式	@SSO, ch_1, level_1 (, ch_2, level_2...) [ ]	
返り値書式	@SSO, ch_1, level_1 (, ch_2, level_2...) [ ]	
パラメータ	ch_1-8 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8 level_1-8 : 音声入力レベル -60 ~ ±0 ※初期値 ±0	
実行例	送 @SSO,5,-8 [ ] 受 @SSO,5,-8 [ ]	IN5 の音声入力レベルを-8 dB に設定する。 正常終了。
関連項目	7.8.4 音声入力レベル	

<b>@GSO</b>	<b>音声入力レベル取得</b>	
コマンド書式	@GSO [ ]	
返り値書式	@GSO, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8 [ ]	
パラメータ	in_1-8 : 各入力チャンネルの音声入力レベル -60 ~ ±0 ※初期値 ±0	
実行例	送 @GSO [ ] 受 @GSO,0,0,0,0,-4,0,0,0 [ ]	音声入力レベルを取得。 IN5 は-4 dB、その他の入力は±0 dB。
関連項目	7.8.4 音声入力レベル	

<b>@SIL</b>	<b>音声入力レベル 相対値設定</b>	
コマンド書式	@SIL, ch_1, updown_1 (, ch_2, updown_2...) [ ]	
返り値書式	@SIL, ch_1, updown_1 (, ch_2, updown_2...) [ ]	
パラメータ	ch_1-8 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8 updown_1-8 : 相対設定 -60 ~ +60 現在の音声入力レベル設定に、指定した値を加算します。加算した結果、音声入力レベルがリミット値(-60~±0)を超える場合は、リミット値に制限されます。	
実行例	送 @SIL,1,-1 [ ] 受 @SIL,1,-1 [ ]	IN1 の音声入力レベルを 1 dB 下げる。 正常終了。
関連項目	7.8.4 音声入力レベル	

<b>@GIL</b>	<b>音声入力レベル リミット状態取得</b>	
コマンド書式	@GIL [ ]	
返り値書式	@GIL, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8 [ ]	
パラメータ	in_1-8 : 各入力チャンネルの音声入力レベルのリミット状態 -1 = 最小設定値(-60dB), 0 = リミット状態ではない, 1 = 最大設定値(±0dB)	
実行例	送 @GIL [ ] 受 @GIL,1,0,0,0,0,0,0,0 [ ]	音声入力レベルのリミット状態を取得。 IN1 は最大設定値、その他の入力はリミットではない。
関連項目	7.8.4 音声入力レベル	

<b>@SLO</b>	<b>出力リップシンク設定</b>	
コマンド書式	@SLO, ch_1, frame_1 (, ch_2, frame_2...) [ ]	
返り値書式	@SLO, ch_1, frame_1 (, ch_2, frame_2...) [ ]	
パラメータ	ch_1-4 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4 frame_1-4 : リップシンク 0 ~ 8 ※初期値 0	
実行例	送 @SLO,4,2 [ ] 受 @SLO,4,2 [ ]	OUT4 のリップシンクを 2 フレームに設定する。 正常終了。
関連項目	7.8.5 出力リップシンク	

<b>@GLO</b>	<b>出力リップシンク取得</b>	
コマンド書式	@GLO [ ]	
返り値書式	@GLO, out_1 (, out_2, out_3, out_4) [ ]	
パラメータ	out_1-4 : 各出力のリップシンク 0 ~ 8 ※初期値 0	
実行例	送 @GLO [ ] 受 @GLO,0,0,0,2 [ ]	出力のリップシンクを取得。 OUT4 は 2 フレーム、その他の出力は 0 フレーム。
関連項目	7.8.5 出力リップシンク	

<b>@SLY</b>	<b>入力リップシンク設定</b>	
コマンド書式	@SLY, ch_1, frame_1 (, ch_2, frame_2...) [ ]	
返り値書式	@SLY, ch_1, frame_1 (, ch_2, frame_2...) [ ]	
パラメータ	ch_1-8 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8 frame_1-8 : リップシンク 0 ~ 8 ※初期値 0	
実行例	送 @SLY,4,2 [ ] 受 @SLY,4,2 [ ]	IN4 のリップシンクを 2 フレームに設定する。 正常終了。
関連項目	7.8.6 入力リップシンク	

<b>@GLY</b>	<b>入力リップシンク取得</b>	
コマンド書式	@GLY [ ]	
返り値書式	@GLY, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8 [ ]	
パラメータ	in_1-8 : 各入力チャンネルのリップシンク 0 ~ 8 ※初期値 0	
実行例	送 @GLY [ ] 受 @GLY,0,0,0,2,0,0,0,0 [ ]	リップシンクを取得。 IN4 は 2 フレーム、その他の入力 は 0 フレーム。
関連項目	7.8.6 入力リップシンク	

<b>@SSF</b>	<b>アナログ音声入力のサンプリング周波数設定</b>	
コマンド書式	@SSF, ch_1, frequency_1 (, ch_2, frequency_2...) [ ]	
返り値書式	@SSF, ch_1, frequency_1 (, ch_2, frequency_2...) [ ]	
パラメータ	ch_1-4 : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4 frequency_1-4 : サンプリング周波数 0 = AUTO-A ※初期値, 1 = AUTO-B, 2 = 32 kHz, 3 = 44.1 kHz, 4 = 48 kHz, 5 = 96 kHz, 6 = 192 kHz	
実行例	送 @SSF,1,4 [ ] 受 @SSF,1,4 [ ]	OUT1 のサンプリング周波数を 48 kHz に設定する。 正常終了。
関連項目	7.8.7 アナログ音声入力のサンプリング周波数	

<b>@GSF</b>	<b>アナログ音声入力のサンプリング周波数取得</b>	
コマンド書式	@GSF [ ]	
返り値書式	@GSF, out_1 (, out_2, out_3, out_4 ) [ ]	
パラメータ	out_1-4 : 各出力のサンプリング周波数 0 = AUTO-A ※初期値, 1 = AUTO-B, 2 = 32 kHz, 3 = 44.1 kHz, 4 = 48 kHz, 5 = 96 kHz, 6 = 192 kHz	
実行例	送 @GSF [ ] 受 @GSF,0,0,2,0 [ ]	サンプリング周波数を取得。 OUT3 は 32 kHz、その他の出力は AUTO に設定されている。
関連項目	7.8.7 アナログ音声入力のサンプリング周波数	

<b>@GFD</b>	<b>アナログ音声入力の実際のサンプリング周波数取得</b>	
コマンド書式	@GFD [ ]	
返り値書式	@GFD, out_1 (, out_2, out_3, out_4 ) [ ]	
パラメータ	out_1-4 : 各出力の実際のサンプリング周波数 1 = 32kHz, 2 = 44.1kHz, 3 = 48kHz ※初期値, 4 = 96kHz, 5 = 192kHz	
実行例	送 @GFD [ ] 受 @GFD,3,3,2,3 [ ]	実際のサンプリング周波数を取得。 OUT3 は 44.1kHz、その他の出力は 48kHz で出力している。
関連項目	7.8.7 アナログ音声入力のサンプリング周波数	

@SDO	音声出力コネクタ設定	
コマンド書式	@SDO, <i>ch_1, out_1</i> , ( <i>ch_2, out_2</i> ...) [ ]	
返り値書式	@SDO, <i>ch_1, out_1</i> , ( <i>ch_2, out_2</i> ...) [ ]	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4  <i>out_1-4</i> : 音声出力コネクタ 0 = アナログ音声出力コネクタのみ出力, 1 = HDMI 出力コネクタのみ出力, 2 = アナログ音声出力コネクタおよび HDMI 出力コネクタの両方に出力 ※初期値	
実行例	送 @SDO,1,0 [ ] 受 @SDO,1,0 [ ]	OUT1 はアナログ音声出力コネクタのみ音声を出力する。 正常終了。
関連項目	7.8.8 音声出力コネクタ	

@GDO	音声出力コネクタ取得	
コマンド書式	@GDO [ ]	
返り値書式	@GDO, <i>out_1</i> ( <i>out_2, out_3, out_4</i> ) [ ]	
パラメータ	<i>out_1-4</i> : 各出力の音声出力コネクタ 0 = アナログ音声出力コネクタのみ出力, 1 = デジタル出力コネクタのみ出力, 2 = アナログ音声出力コネクタおよびデジタル出力コネクタの両方に出力 ※初期値	
実行例	送 @GDO [ ] 受 @GDO,2,2,2,0 [ ]	音声を出力するコネクタを取得。 OUT4 はアナログ音声出力コネクタのみ音声を出力し、その他の出力は両方に音声を出力する。
関連項目	7.8.8 音声出力コネクタ	

@SAO	デジタル音声出力コネクタ設定	
コマンド書式	@SAO, <i>ch_1, outA_1</i> , ( <i>ch_2, outA_2</i> ...) [ ]	
返り値書式	@SAO, <i>ch_1, outA_1</i> , ( <i>ch_2, outA_2</i> ...) [ ]	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1A ~ 4 = OUT4A, 5 = OUT1B ~ 8 = OUT4B*  <i>outA_1-4</i> : OUTA の各デジタル音声出力コネクタ <i>outB_1-4</i> : OUTB の各デジタル音声出力コネクタ 0 = 出力しない, 1 = 出力する ※初期値	
実行例	送 @SAO,1,0 [ ] 受 @SAO,1,0 [ ]	OUT1A はデジタル音声出力しない。 正常終了。
	送 @SAO,1,0 [ ] 受 @ERR,15 [ ]	HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ設定が可能です。
関連項目	7.8.9 デジタル音声出力コネクタ	

@GAO	デジタル音声出力コネクタ取得	
コマンド書式	@GAO [ ]	
返り値書式	@GAO, outA_1 (, outA_2, outA_3, outA_4, outB_1, outB_2, outB_3, outB_4) [ ]	
パラメータ	outA_1-4 : OUTA のコネクタの各デジタル音声出力 outB_1-4 : OUTB のコネクタの各デジタル音声出力	
実行例	送	@GAO [ ]
	受	@GAO,1,1,1,0,1,1,1,1 [ ]
	送	@GAO [ ]
	受	@ERR,15 [ ]
関連項目	7.8.9 デジタル音声出力コネクタ	

@SMD	マルチチャンネル音声出力設定	
コマンド書式	@SMD, ch_1, out_1 (, ch_2, out_2...) [ ]	
返り値書式	@SMD, ch_1, out_1 (, ch_2, out_2...) [ ]	
パラメータ	ch_1-4 : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	out_1-4 : マルチチャンネル音声出力 0 = CH1/CH2 STEREO, 1 = CH3/CH4 STEREO, 2 = CH5/CH6 STEREO, 3 = CH7/CH8 STEREO, 4 = CH1/CH2 MONO, 5 = CH3/CH4 MONO, 6 = CH5/CH6 MONO, 7 = CH7/CH8 MONO, 8 = DOWN MIX ※初期値	
実行例	送	@SMD,1,8 [ ]
	受	@SMD,1,8 [ ]
関連項目	7.8.10 マルチチャンネル音声出力	

@GMD	マルチチャンネル音声出力取得	
コマンド書式	@GMD [ ]	
返り値書式	@GMD, out_1 (, out_2, out_3, out_4) [ ]	
パラメータ	out_1-4 : 各出力のマルチチャンネル音声出力 0 = CH1/CH2 STEREO, 1 = CH3/CH4 STEREO, 2 = CH5/CH6 STEREO, 3 = CH7/CH8 STEREO, 4 = CH1/CH2 MONO, 5 = CH3/CH4 MONO, 6 = CH5/CH6 MONO, 7 = CH7/CH8 MONO, 8 = DOWN MIX ※初期値	
実行例	送	@GMD [ ]
	受	@GMD,8,4,8,8 [ ]
関連項目	7.8.10 マルチチャンネル音声出力	

@SAT	テストトーン設定	
コマンド書式	@SAT, <i>ch_1, tone_1, speaker_1</i> (, <i>ch_2, tone_2, speaker_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SAT, <i>ch_1, tone_1, speaker_1</i> (, <i>ch_2, tone_2, speaker_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4  <i>tone_1-4</i> : テストトーン 0 = OFF ※ 初期値, 1 = 1kHz, 2 = 400Hz  <i>speaker_1-4</i> : スピーカー 0 = ALL ※ 初期値, 1 = FRONT L/R, 2 = REAR L/R, 3 = REAR L/R CENTER, 4 = FRONT LEFT, 5 = FRONT RIGHT, 6 = LOW FREQUENCY EFFECT, 7 = FRONT CENTER, 8 = REAR LEFT, 9 = REAR RIGHT, 10 = REAR LEFT CENTER, 11 = REAR RIGHT CENTER	
実行例	送 @SAT,1,1,0 <input type="checkbox"/> 受 @SAT,1,1,0 <input type="checkbox"/>	OUT1 の全スピーカーに 1 kHz のテストトーンを出力する。 正常終了。
関連項目	7.8.11 テストトーン	

@GAT	テストトーン取得	
コマンド書式	@GAT <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GAT, <i>t_out_1, s_out_1</i> (, <i>t_out_2, s_out_2, t_out_3, s_out_3, t_out_4, s_out_4</i> ) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>t_out_1-4</i> : 各出力のテストトーン 0 = OFF ※ 初期値, 1 = 1kHz, 2 = 400Hz  <i>s_out_1-4</i> : スピーカー 0 = ALL ※ 初期値, 1 = FRONT L/R, 2 = REAR L/R, 3 = REAR L/R CENTER, 4 = FRONT LEFT, 5 = FRONT RIGHT, 6 = LOW FREQUENCY EFFECT, 7 = FRONT CENTER, 8 = REAR LEFT, 9 = REAR RIGHT, 10 = REAR LEFT CENTER, 11 = REAR RIGHT CENTER	
実行例	送 @GAT <input type="checkbox"/> 受 @GAT,2,1,0,0,0,0,0,0 <input type="checkbox"/>	テストトーンの出力行設定を取得する。 OUT1 は FRONT L/R に 400 Hz のテストトーンを出力し、 その他の出力はテストトーンを出力しない。
関連項目	7.8.11 テストトーン	

## 3.3.10 EDID設定

@SED	EDID データ設定	
コマンド書式	@SED, <i>ch_1</i> , <i>edid_1</i> ( <i>ch_2</i> , <i>edid_2</i> ...)	
返り値書式	@SED, <i>ch_1</i> , <i>edid_1</i> ( <i>ch_2</i> , <i>edid_2</i> ...)	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8  <i>edid_1-8</i> : EDID データ 0 = 内蔵 EDID ※初期値, 1 ~ 4 = OUTA に接続された表示機器から読み取った EDID, 5 ~ 8 = OUTB に接続された表示機器から読み取った EDID※ <sup>1</sup> , 101 ~ 108 = COPY DATA 1 ~ COPY DATA 8 ※ <sup>2</sup> ※ <sup>1</sup> 「OUT1B」~「OUT4B」は、HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ設定が可能です。 ※ <sup>2</sup> @RME EDID データのコピー (P. 70) であらかじめ表示機器から EDID データを読み取っておく必要があります	
実行例	送 @SED,2,3 受 @SED,2,3	IN2 を OUT3A に接続された表示機器から読み取った EDID に設定する。 正常終了。
関連項目	7.9.1 EDIDデータ	

@GED	EDID データ取得	
コマンド書式	@GED	
返り値書式	@GED, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> , <i>in_7</i> , <i>in_8</i>	
パラメータ	<i>in_1-8</i> : 各入力チャンネルの EDID データ 0 = 内蔵 EDID ※初期値, 1 ~ 4 = HDMI 出力コネクタに接続された表示機器から読み取った EDID, 5 ~ 8 = OUTB に接続された表示機器から読み取った EDID※, 101 ~ 108 = COPY DATA 1 ~ COPY DATA 8 ※ 「OUT1B」~「OUT4B」は、HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ値の取得が可能です。	
実行例	送 @GED 受 @GED,0,0,0,3,0,0,0,0	EDID データを取得。 IN4 は OUT3A に接続された表示機器から読み取った EDID、その他の入力は内蔵 EDID。
関連項目	7.9.1 EDIDデータ	

@SVF	EDID パソコン用解像度設定	
コマンド書式	@SVF, <i>ch_1, resolution_1</i> (, <i>ch_2, resolution_2</i> ····) [↵]	
返り値書式	@SVF, <i>ch_1, resolution_1</i> (, <i>ch_2, resolution_2</i> ····) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8  <i>resolution_1-8</i> : 解像度 0 = SVGA (800x600), 1 = XGA (1024x768), 2 = 720p (1280x720), 3 = WXGA (1280x768), 4 = WXGA (1280x800), 5 = Quad-VGA (1280x960), 6 = SXGA (1280x1024), 7 = WXGA (1360x768), 8 = WXGA (1366x768), 9 = SXGA+ (1400x1050), 10 = WXGA+ (1440x900), 11 = WXGA++ (1600x900), 12 = UXGA (1600x1200), 13 = WSXGA+ (1680x1050), 14 = 1080i (1920x1080), 15 = 1080p (1920x1080), 16 = WUXGA (1920x1200), 17 = QWXGA (2048x1152) ※初期値 1080p(1920x1080)	
実行例	送 @SVF,0,12 [↵] 受 @SVF,0,12 [↵]	全入力チャンネルの EDID を 1600x1200(UXGA)に設定する。 正常終了。
関連項目	7.9.2 パソコン用入力解像度	

@GVF	EDID パソコン用解像度取得	
コマンド書式	@GVF [↵]	
返り値書式	@GVF, <i>in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8</i> [↵]	
パラメータ	<i>in_1-8</i> : 各入力チャンネルの解像度 0 = SVGA (800x600), 1 = XGA (1024x768), 2 = 720p (1280x720), 3 = WXGA (1280x768), 4 = WXGA (1280x800), 5 = Quad-VGA (1280x960), 6 = SXGA (1280x1024), 7 = WXGA (1360x768), 8 = WXGA (1366x768), 9 = SXGA+ (1400x1050), 10 = WXGA+ (1440x900), 11 = WXGA++ (1600x900), 12 = UXGA (1600x1200), 13 = WSXGA+ (1680x1050), 14 = 1080i (1920x1080), 15 = 1080p (1920x1080), 16 = WUXGA (1920x1200), 17 = QWXGA (2048x1152) ※初期値 1080p(1920x1080)	
実行例	送 @GVF [↵] 受 @GVF,6,6,9,6,6,6,6,6 [↵]	パソコン用の解像度を取得。 IN3 は 1400x1050、その他の入力 は 1280x1024。
関連項目	7.9.2 パソコン用入力解像度	

@SHF	EDID AV 機器用解像度設定	
コマンド書式	@SHF, <i>ch_1, resolution_1</i> (, <i>ch_2, resolution_2</i> ····) [↵]	
返り値書式	@SHF, <i>ch_1, resolution_1</i> (, <i>ch_2, resolution_2</i> ····) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8  <i>resolution_1-8</i> : 解像度 0 = UNUSED, 1 = 480p, 2 = 720p, 3 = 1080i, 4 = 1080p, 5 = AUTO ※初期値	
実行例	送 @SHF,0,4 [↵] 受 @SHF,0,4 [↵]	全入力チャンネルの EDID を 1080p に設定する。 正常終了。
関連項目	7.9.3 AV機器用入力解像度	

@GHF	EDID AV 機器用解像度取得	
コマンド書式	@GHF [↵]	
返り値書式	@GHF, <i>in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8</i> [↵]	
パラメータ	<i>in_1-8</i> : 各入力チャンネルの解像度 0 = UNUSED, 1 = 480p, 2 = 720p, 3 = 1080i, 4 = 1080p, 5 = AUTO ※初期値	
実行例	送 @GHF [↵] 受 @GHF,5,5,5,4,5,5,5,5 [↵]	AV 機器用の解像度を取得。 IN4 は 1080p、その他の入力 は AUTO。
関連項目	7.9.3 AV機器用入力解像度	

@SDI	Deep Color 入力設定	
コマンド書式	@SDI, <i>ch_1, color_1</i> (, <i>ch_2, color_2</i> ····) [↵]	
返り値書式	@SDI, <i>ch_1, color_1</i> (, <i>ch_2, color_2</i> ····) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8  <i>color_1-8</i> : 色深度 0 = 24-BIT COLOR ※初期値, 1 = 30-BIT COLOR	
実行例	送 @SDI,4,0 [↵] 受 @SDI,4,0 [↵]	IN4 の色深度を 24-BIT COLOR に設定する。 正常終了。
関連項目	7.9.4 Deep Color入力	

@GDI	Deep Color 入力取得	
コマンド書式	@GDI [↵]	
返り値書式	@GDI, <i>in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8</i> [↵]	
パラメータ	<i>in_1-8</i> : 各入力チャンネルの色深度 0 = 24-BIT COLOR ※初期値, 1 = 30-BIT COLOR	
実行例	送 @GDI [↵] 受 @GDI,1,1,1,0,1,1,1,1 [↵]	色深度を取得。 IN4 は 24-BIT COLOR、その他の入力 は 30-BIT COLOR。
関連項目	7.9.4 Deep Color入力	

@SAF	音声フォーマット設定																	
コマンド書式	@SAF, <i>ch</i> , <i>format_1</i> , <i>frequency_1</i> (, <i>format_2</i> , <i>frequency_2</i> ····) 																	
返り値書式	@SAF, <i>ch</i> , <i>format_1</i> , <i>frequency_1</i> (, <i>format_2</i> , <i>frequency_2</i> ····) 																	
パラメータ	<p><i>ch</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8</p> <p><i>format_1-7</i> : 音声フォーマット ※初期値 リニア PCM のみ、出力許可 0 = リニア PCM, 1 = AC-3/Dolby Digital, 2 = AAC, 3 = Dolby Digital+, 4 = DTS, 5 = DTS-HD, 6 = Dolby TrueHD</p> <p><i>frequency_1-7</i> : サンプル周波数 0 = 出力を許可しない, 1 = 32 kHz, 2 = 44.1 kHz, 3 = 48 kHz, 4 = 88.2 kHz, 5 = 96 kHz, 6 = 176.4 kHz, 7 = 192 kHz ※初期値 下表()内の数値 指定可能な最大サンプル周波数は、音声フォーマットにより異なります</p> <table border="1" data-bbox="432 703 1375 994"> <thead> <tr> <th>音声フォーマット</th> <th>サンプル周波数(kHz)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リニア PCM</td> <td>32/44.1/48/88.2/96/176.4/192(48)</td> </tr> <tr> <td>AC-3/Dolby Digital</td> <td>出力を許可しない/32/44.1/48(48)</td> </tr> <tr> <td>AAC</td> <td>出力を許可しない/32/44.1/48/88.2/96(48)</td> </tr> <tr> <td>Dolby Digital+</td> <td>出力を許可しない/32/44.1/48(48)</td> </tr> <tr> <td>DTS</td> <td>出力を許可しない/32/44.1/48/96(48)</td> </tr> <tr> <td>DTS-HD</td> <td>出力を許可しない/44.1/48/88.2/96/176.4/192(192)</td> </tr> <tr> <td>Dolby TrueHD</td> <td>出力を許可しない/44.1/48/88.2/96/176.4/192(96)</td> </tr> </tbody> </table> <p>出力を許可する音声フォーマットと、最大サンプル周波数を指定します。 出力を許可する音声フォーマットのみパラメータを送信すれば、パラメータが送信されなかった音声フォーマットについては自動的に全て「出力を許可しない」に設定されるため、通常は「0=出力を許可しない」のパラメータを送信する必要はありません。またリニア PCM は必ず許可されるので、サンプル周波数を変更する必要がなければ省略可能です。</p>		音声フォーマット	サンプル周波数(kHz)	リニア PCM	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192(48)	AC-3/Dolby Digital	出力を許可しない/32/44.1/48(48)	AAC	出力を許可しない/32/44.1/48/88.2/96(48)	Dolby Digital+	出力を許可しない/32/44.1/48(48)	DTS	出力を許可しない/32/44.1/48/96(48)	DTS-HD	出力を許可しない/44.1/48/88.2/96/176.4/192(192)	Dolby TrueHD	出力を許可しない/44.1/48/88.2/96/176.4/192(96)
音声フォーマット	サンプル周波数(kHz)																	
リニア PCM	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192(48)																	
AC-3/Dolby Digital	出力を許可しない/32/44.1/48(48)																	
AAC	出力を許可しない/32/44.1/48/88.2/96(48)																	
Dolby Digital+	出力を許可しない/32/44.1/48(48)																	
DTS	出力を許可しない/32/44.1/48/96(48)																	
DTS-HD	出力を許可しない/44.1/48/88.2/96/176.4/192(192)																	
Dolby TrueHD	出力を許可しない/44.1/48/88.2/96/176.4/192(96)																	
実行例	送 @SAF,1,0,7,2,3  受 @SAF,1,0,7,2,3  送 @SAF,2,4,3  受 @SAF,2,4,3 	IN1 はリニア PCM の 192 kHz および AAC の 48 kHz までの音声を出力許可する。 正常終了。 IN2 はリニア PCM および DTS の 48kHz までの音声を出力許可する。(リニア PCM のサンプル周波数は変更されません) 正常終了。																
関連項目	7.9.5 音声フォーマット																	

@GAF	音声フォーマット取得	
コマンド書式	@GAF, <i>ch</i> [↵]	
返り値書式	@GAF, <i>ch</i> , <i>format_1</i> , <i>frequency_1</i> (, <i>format_2</i> , <i>frequency_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 8 = IN8	
	<i>format_1-7</i> : 音声フォーマット ※初期値 リニア PCM のみ出力許可 0 = リニア PCM, 1 = AC-3/Dolby Digital, 2 = AAC, 3 = Dolby Digital+, 4 = DTS, 5 = DTS-HD, 6 = Dolby TrueHD	
	<i>frequency_1-7</i> : サンプル周波数 1 = 32 kHz, 2 = 44.1 kHz, 3 = 48 kHz, 4 = 88.2 kHz, 5 = 96 kHz, 6 = 176.4 kHz, 7 = 192 kHz ※初期値 DTS-HD は 192 kHz、Dolby TrueHD は 96 kHz、それ以外は 48 kHz	
	出力が許可されている音声フォーマットと最大サンプル周波数を送信します。	
実行例	送	@GAF,1 [↵] IN1 の出力許可されている音声フォーマットを取得。
	受	@GAF,1,0,7 [↵] リニア PCM の 192kHz までの音声出力が許可されている。
関連項目	7.9.5 音声フォーマット	

@SSP	スピーカー数設定																																																																																																																																
コマンド書式	@SSP, <i>ch</i> , <i>number</i> ( <i>speaker_1</i> , <i>speaker_2</i> ...) 																																																																																																																																
返り値書式	@SSP, <i>ch</i> , <i>number</i> ( <i>speaker_1</i> , <i>speaker_2</i> ...) 																																																																																																																																
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8																																																																																																																																
	<i>number</i> : スピーカー数 1 ~ 8 ※初期値 2																																																																																																																																
	<i>speaker_1-8</i> : 使用するスピーカー 0 = Front Left/Right ※初期値, 1 = Low Frequency Effect, 2 = Front Center, 3 = Rear Left/Right, 4 = Rear Center, 5 = Front Left/Right Center, 6 = Rear Left/Right Center, 7 = Front Left/Right Wide, 8 = Front Left/Right High, 9 = Top Center, 10 = Front Center High																																																																																																																																
	<i>speaker_1-8</i> を省略すると <i>number</i> の設定に応じて以下のように設定します。																																																																																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"><i>number</i></th> <th colspan="11"><i>speaker</i></th> </tr> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>		<i>number</i>	<i>speaker</i>											0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	OFF	OFF	ON	OFF	2	ON	OFF	3	ON	ON	OFF	4	ON	ON	ON	OFF	5	ON	ON	OFF	ON	OFF	6	ON	ON	ON	ON	OFF	7	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	8	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																							
<i>number</i>	<i>speaker</i>																																																																																																																																
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																																																																																						
1	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																																					
2	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																																					
3	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																																					
4	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																																					
5	ON	ON	OFF	ON	OFF																																																																																																																												
6	ON	ON	ON	ON	OFF																																																																																																																												
7	ON	ON	ON	ON	ON	OFF																																																																																																																											
8	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																																					
	<i>speaker_1-8</i> を指定したときに <i>number</i> と <i>speaker_1-8</i> の合計が一致しない場合は、 <i>speaker_1-8</i> から自動的に <i>number</i> を設定し、万が一 <i>number</i> が設定可能な範囲を超えている場合はエラーになります。																																																																																																																																
実行例	送	@SSP,1,8 	IN1 のスピーカー数を 8 に設定する。(スピーカー構成は上の表の <i>number</i> =8 のようになります) 正常終了。																																																																																																																														
	受	@SSP,1,8 																																																																																																																															
	送	@SSP,2,6,0,1,2,3 	IN2 は Front Left/Right, Low Frequency Effect, Front Center, Rear Left/Right の 6 個のスピーカーを使用する。 正常終了。																																																																																																																														
	受	@SSP,2,6,0,1,2,3 																																																																																																																															
	送	@SSP,3,8,0,3,5,6,7 	IN3 は Front Left/Right, Rear Left/Right, Front Left/Right Center, Rear Left/Right Center, Front Left/Right Wide のスピーカーを使用する。 スピーカー数の合計が 10 個になり、設定可能な数を超えている。																																																																																																																														
	受	@ERR,1 																																																																																																																															
関連項目	7.9.6 スピーカー構成																																																																																																																																

@GSP	スピーカー数取得		
コマンド書式	@GSP, <i>ch</i> [ ]		
返り値書式	@GSP, <i>ch</i> , <i>number</i> , <i>speaker_1</i> (, <i>speaker_2</i> ...) [ ]		
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 8 = IN8		
	<i>number</i> : スピーカー数 1 ~ 8 ※初期値 2		
	<i>speaker_1-8</i> : 使用するスピーカー 0 = Front Left/Right ※初期値, 1 = Low Frequency Effect, 2 = Front Center, 3 = Rear Left/Right, 4 = Rear Center, 5 = Front Left/Right Center, 6 = Rear Left/Right Center, 7 = Front Left/Right Wide, 8 = Front Left/Right High, 9 = Top Center, 10 = Front Center High		
実行例	送	@GSP,1 [ ]	IN1 のスピーカー構成を取得。
	受	@GSP,1,6,0,1,2,3 [ ]	Front Left/Right, Low Frequency Effect, Front Center, Rear Left/Right の 6 個のスピーカーを使用している。
関連項目	7.9.6 スピーカー構成		

@RME	EDID データのコピー		
コマンド書式	@RME, <i>out</i> , <i>number</i> (, <i>name</i> ) [ ]		
返り値書式	@RME, <i>out</i> , <i>number</i> (, <i>name</i> ) [ ]		
パラメータ	<i>out_1-8</i> : 読み取りコネクタ 1 = OUT1A ~ 4 = OUT4A, 5 = OUT1B ~ 8 = OUT4B※ ※ 「OUT1B」~「OUT4B」は、HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ設定が可能です		
	<i>number</i> : 保存先の COPY DATA 番号 1 ~ 8		
	<i>name</i> : COPY DATA 名 ASCIIコード(P.10)の、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで COPY DATA 名は省略可能で、省略した場合は現在保存されている名前を変更せずに EDID の設定のみ保存します。		
実行例	送	@RME,1,1 [ ]	OUT1A に接続されている標示機器の EDID データを読み取り、COPY DATA 1 に保存する。
	受	@RME,1,1 [ ]	正常終了。
	送	@RME,3,4,800x600 [ ]	OUT3A に接続されている表示機器の EDID データを読み取り、COPY DATA 4 に「800x600」という名前を付けて保存する。
	受	@RME,3,4,800x600 [ ]	正常終了。
関連項目	7.9.7 EDID データのコピー		

## 3.3.11 RS-232C設定

@SCT	RS-232C 通信設定	
コマンド書式	@SCT, port, setting [↵]	
返り値書式	@SCT, port, setting [↵]	
パラメータ	<p>port : RS-232C コネクタ            0 = 全コネクタ, 1 = RS-232C CH1 コネクタ, 2 = RS-232C CH2 コネクタ            3 = OUT1B*, 4 = OUT2B, 5 = OUT3B, 6 = OUT4B            ※ 「OUT1B」～「OUT4B」は、HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ設定が可能です。</p> <hr/> <p>setting : 通信設定            ・通信速度 ( 4800, 9600, 19200, 38400[bps] ※初期値 : 9600 )            ・データ長 ( 8, 7[bit] ※初期値 : 8 )            ・パリティ ( なし, 偶数, 奇数 ※初期値 : なし )            ・ストップビット ( 1, 2[bit] ※初期値 : 1 )</p> <p>設定値は[表 3.1]をご覧ください。</p>	
実行例	送 @SCT,1,24 [↵] 受 @SCT,1,24 [↵]	RS-232C CH1 コネクタを、通信速度=19200[bps]、データ長=8[bit]、パリティ=なし、ストップビット=1[bit]に設定する。 正常終了。
関連項目	7.10.1 RS-232C 通信設定	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GCT	RS-232C 通信設定取得	
コマンド書式	@GCT [↵]	
返り値書式	@GCT, rs_232c_1, rs_232c_2, outB_1, outB_2, outB_3, outB_4 [↵]	
パラメータ	<p>rs_232c_1 : RS-232C CH1 コネクタ 通信設定            rs_232c_2 : RS-232C CH2 コネクタ 通信設定            outB_1-4 : OUTB の各出力の RS-232C 通信設定※            ※ 「OUT1B」～「OUT4B」は、HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ値の取得が可能です。</p> <p>・通信速度 ( 4800, 9600, 19200, 38400[bps] ※初期値 : 9600 )            ・データ長 ( 8, 7[bit] ※初期値 : 8 )            ・パリティ ( なし, 偶数, 奇数 ※初期値 : なし )            ・ストップビット ( 1, 2[bit] ※初期値 : 1 )</p> <p>設定値は[表 3.1]をご覧ください。</p>	
実行例	送 @GCT [↵] 受 @GCT,24,24,24,24,24,24 [↵]	RS-232C コネクタの通信設定を取得する。 全て通信速度:19200[bps], データ長:8[bit], パリティ:なし, ストップビット:1[bit]。
関連項目	7.10.1 RS-232C 通信設定	

[表 3.1] RS-232C の通信設定パラメータ

値	通信設定				値	通信設定				値	通信設定				値	通信設定			
0	4800	8	なし	1	12	9600	8	なし	1	24	19200	8	なし	1	36	38400	8	なし	1
1	4800	8	なし	2	13	9600	8	なし	2	25	19200	8	なし	2	37	38400	8	なし	2
2	4800	8	奇数	1	14	9600	8	奇数	1	26	19200	8	奇数	1	38	38400	8	奇数	1
3	4800	8	奇数	2	15	9600	8	奇数	2	27	19200	8	奇数	2	39	38400	8	奇数	2
4	4800	8	偶数	1	16	9600	8	偶数	1	28	19200	8	偶数	1	40	38400	8	偶数	1
5	4800	8	偶数	2	17	9600	8	偶数	2	29	19200	8	偶数	2	41	38400	8	偶数	2
6	4800	7	なし	1	18	9600	7	なし	1	30	19200	7	なし	1	42	38400	7	なし	1
7	4800	7	なし	2	19	9600	7	なし	2	31	19200	7	なし	2	43	38400	7	なし	2
8	4800	7	奇数	1	20	9600	7	奇数	1	32	19200	7	奇数	1	44	38400	7	奇数	1
9	4800	7	奇数	2	21	9600	7	奇数	2	33	19200	7	奇数	2	45	38400	7	奇数	2
10	4800	7	偶数	1	22	9600	7	偶数	1	34	19200	7	偶数	1	46	38400	7	偶数	1
11	4800	7	偶数	2	23	9600	7	偶数	2	35	19200	7	偶数	2	47	38400	7	偶数	2

@SCF	RS-232C 動作モード設定	
コマンド書式	@SCF, port, mode <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SCF, port, mode <input type="checkbox"/>	
パラメータ	port : RS-232C コネクタ 0 = 全コネクタ, 1 = RS-232C CH1 コネクタ, 2 = RS-232C CH2 コネクタ mode : 動作モード 0 = 受信モード ※初期値, 1 = 送信モード	
実行例	送 @SCF,1,1 <input type="checkbox"/>	RS-232C CH1 コネクタを送信モードに設定する。
	受 @SCF,1,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.10.2 RS-232C 動作モード	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GCF	RS-232C 動作モード取得	
コマンド書式	@GCF <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GCF, rs-232c_1, rs-232c_2 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	rs_232c_1 : RS-232C CH1 コネクタ 動作モード rs_232c_2 : RS-232C CH2 コネクタ 動作モード 0 = 受信モード ※初期値, 1 = 送信モード	
実行例	送 @GCF <input type="checkbox"/>	RS-232C コネクタの動作モードを取得する。
	受 @GCF,1,0 <input type="checkbox"/>	RS-232C CH1 は送信モード、RS-232C CH2 は受信モード。
関連項目	7.10.2 RS-232C 動作モード	

## 3.3.12 LAN設定

@SIP	LAN IP アドレス設定	
コマンド書式	@SIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	
返り値書式	@SIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	
パラメータ	unit_1 : LAN IP アドレス上位 ~ unit_4 : LAN IP アドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 192.168.001.199	
実行例	送 @SIP,192,168,3,2 [↵] 受 @SIP,192,168,3,2 [↵]	LAN の LAN IP アドレスを 192.168.3.2 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.11.1 IPアドレス	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GIP	LAN IP アドレス取得	
コマンド書式	@GIP [↵]	
返り値書式	@GIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	
パラメータ	unit_1 : LAN IP アドレス上位 ~ unit_4 : LAN IP アドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 192.168.001.199	
実行例	送 @GIP [↵] 受 @GIP,192,168,3,2 [↵]	LAN の IP アドレスを取得する。 IP アドレスは 192.168.3.2。
関連項目	7.11.1 IPアドレス	

@SBI	OUTB IP アドレス設定	
コマンド書式	@SBI, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	
返り値書式	@SBI, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	
パラメータ	unit_1 : OUTB IP アドレス上位 ~ unit_4 : OUTB IP アドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 192.168.001.200 ※ HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ設定が可能です。	
実行例	送 @SBI,192,168,3,2 [↵] 受 @SBI,192,168,3,2 [↵]	OUTB の IP アドレスを 192.168.3.2 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.11.1 IPアドレス	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GBI	OUTB IP アドレス取得	
コマンド書式	@GBP [↵]	
返り値書式	@GBP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	
パラメータ	unit_1 : OUTB IP アドレス上位 ~ unit_4 : OUTB IP アドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 192.168.001.200 ※ HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ値の取得が可能です。	
実行例	送 @GIP [↵] 受 @GIP,192,168,3,2 [↵]	OUTB の IP アドレスを取得する。 IP アドレスは 192.168.3.2。
関連項目	7.11.1 IPアドレス	

@SSB	LAN サブネットマスク設定	
コマンド書式	@SSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 ↵	
返り値書式	@SSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 ↵	
パラメータ	unit_1 : LAN サブネットマスク上位 ~ unit_4 : LAN サブネットマスク下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 255.255.255.000	
実行例	送 @SSB,255,255,192,0 ↵ 受 @SSB,255,255,192,0 ↵ 送 @SSB,255,0,0,128 ↵ 受 @ERR,1 ↵	LAN のサブネットマスクを 255.255.192.0(=18bit)に設定する。 正常終了。 サブネットマスクとして不正な値を指定するとエラーが返されます。
関連項目	7.11.2 サブネットマスク	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GSB	LAN サブネットマスク取得	
コマンド書式	@GSB ↵	
返り値書式	@GSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 ↵	
パラメータ	unit_1 : LAN サブネットマスク上位 ~ unit_4 : LAN サブネットマスク下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 255.255.255.000	
実行例	送 @GSB ↵ 受 @GSB,255,255,192,0 ↵	LAN のサブネットマスクを取得。 LAN のサブネットマスクは 255.255.192.0(=18bit)。
関連項目	7.11.2 サブネットマスク	

@SBS	OUTB サブネットマスク設定	
コマンド書式	@SBS, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 ↵	
返り値書式	@SBS, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 ↵	
パラメータ	unit_1 : OUTB サブネットマスク上位 ~ unit_4 : OUTB サブネットマスク下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 255.255.255.000 ※ HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ設定が可能です。	
実行例	送 @SBS,255,255,192,0 ↵ 受 @SBS,255,255,192,0 ↵ 送 @SBS,255,0,0,128 ↵ 受 @ERR,1 ↵	OUTB のサブネットマスクを 255.255.192.0(=18bit)に設定する。 正常終了。 サブネットマスクとして不正な値を指定するとエラーが返されます。
関連項目	7.11.2 サブネットマスク	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GBS	OUTB サブネットマスク取得	
コマンド書式	@GBS ↵	
返り値書式	@GBS, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 ↵	
パラメータ	unit_1 : OUTB サブネットマスク上位 ~ unit_4 : OUTB サブネットマスク下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 255.255.255.000 ※ HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ値の取得が可能です。	
実行例	送 @GBS ↵ 受 @GBS,255,255,192,0 ↵	OUTB のサブネットマスクを取得。 OUTB のサブネットマスクは 255.255.192.0(=18bit)。
関連項目	7.11.2 サブネットマスク	

@SGW	LAN ゲートウェイアドレス設定	
コマンド書式	@SGW, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [ ]	
返り値書式	@SGW, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [ ]	
パラメータ	unit_1 : LAN ゲートウェイアドレス上位 ~ unit_4 : LAN ゲートウェイアドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 192.168.001.201	
実行例	送 @SGW,192,168,1,254 [ ] 受 @SGW,192,168,1,254 [ ]	LAN のゲートウェイアドレスを 192.168.1.254 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.11.3 ゲートウェイアドレス	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GGW	LAN ゲートウェイアドレス取得	
コマンド書式	@GGW [ ]	
返り値書式	@GGW, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [ ]	
パラメータ	unit_1 : LAN ゲートウェイアドレス上位 ~ unit_4 : LAN ゲートウェイアドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 192.168.001.201	
実行例	送 @GGW [ ] 受 @GGW,192,168,1,254 [ ]	LAN のゲートウェイアドレスを取得。 LAN のゲートウェイアドレスは 192.168.1.254。
関連項目	7.11.3 ゲートウェイアドレス	

@SBG	OUTB ゲートウェイアドレス設定	
コマンド書式	@SBG, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [ ]	
返り値書式	@SBG, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [ ]	
パラメータ	unit_1 : OUTB ゲートウェイアドレス上位 ~ unit_4 : OUTB ゲートウェイアドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 192.168.001.201 ※ HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ設定が可能です。	
実行例	送 @SBG,192,168,1,254 [ ] 受 @SBG,192,168,1,254 [ ]	OUTB のゲートウェイアドレスを 192.168.1.254 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.11.3 ゲートウェイアドレス	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GBG	OUTB ゲートウェイアドレス取得	
コマンド書式	@GBG [ ]	
返り値書式	@GBG, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [ ]	
パラメータ	unit_1 : OUTB ゲートウェイアドレス上位 ~ unit_4 : OUTB ゲートウェイアドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 192.168.001.201 ※ HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ値の取得が可能です。	
実行例	送 @GBG [ ] 受 @GBG,192,168,1,254 [ ]	OUTB のゲートウェイアドレスを取得。 OUTB のゲートウェイアドレスは 192.168.1.254。
関連項目	7.11.3 ゲートウェイアドレス	

@SLF	LAN 動作モード設定		
コマンド書式	@SLF, connection, mode (, ip_1, ip_2, ip_3, ip_4, pjlink, tcp, password) [ ]		
返り値書式	@SLF, connection, mode (, ip_1, ip_2, ip_3, ip_4, pjlink, tcp, password) [ ]		
パラメータ	<p>connection : コネクション番号  1 = コネクション 1 ~ 8 = コネクション 8, 9 = OUT1B ~ 12 = OUT4B*  ※ 「OUT1B」~「OUT4B」は、HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ設定が可能です。</p>		
	<p>mode : 動作モード  0 = 受信モード, 1 = 送信モード  ※初期値 connection1~8 の場合 受信モード  connection9~12 の場合 送信モード*  ※OUTB は送信モード固定です。必ず 1 を設定してください。</p>		
	<p>ip_1 : 接続先 IP アドレス上位 ~ ip_4 : 接続先 IP アドレス下位  0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 192.168.001.198  mode に送信モードを指定した場合のみ、設定します。</p>		
	<p>pjlink : PJLink プロトコルでの接続  0 = PJLink を使用しない ※初期値, 1 = PJLink を使用する  mode に送信モードを指定した場合のみ、設定します。</p>		
	<p>tcp : 接続先ポート番号  1 ~ 65535 ※初期値 1100  mode に送信モードを指定し、かつ、pjlink に使用しないを指定した場合のみ設定します。</p>		
	<p>password : パスワード  ASCII コード(P.10)の、30 ~ 39, 41 ~ 5A, 61 ~ 7A (英数字)の中から最大 32 文字まで mode に送信モードを指定し、かつ pjlink に使用するを指定した場合のみ、設定します。PJLink プロトコルで接続する際にパスワードによる認証を行わない場合は、省略可能です。</p>		
実行例	送	@SLF,1,0 [ ]	コネクション 1 の動作モード=受信モードに設定する。
	受	@SLF,1,0 [ ]	正常終了。
	送	@SLF,2,1,192,168,1,1,0,1300 [ ]	コネクション 2 の動作モード=送信モード, 接続先 IP アドレス=192.168.1.1, PJLink=使用しない, 接続先ポート番号=1300 に設定する。
	受	@SLF,2,1,192,168,1,1,0,1300 [ ]	正常終了。
	送	@SLF,3,1,192,168,1,2,1,PROJECTOR1 [ ]	コネクション 3 の動作モード=送信モード, 接続先 IP アドレス=192.168.1.2, PJLink=使用する, パスワード=「PROJECTOR1」に設定する。
	受	@SLF,3,1,192,168,1,2,1,PROJECTOR1 [ ]	正常終了。
送	@SLF,9,1,192,168,1,2,1 [ ]	OUT1B の動作モード=送信モード, 接続先 IP アドレス=192.168.1.2, PJLink=使用する, パスワード=認証を行なわないに設定する。	
受	@SLF,9,1,192,168,1,2,1 [ ]	正常終了。	
関連項目	7.11.4 LAN 動作モード		
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。		

@GLF	LAN 動作モード取得		
コマンド書式	@GLF, <i>connection</i> [↵]		
返り値書式	@GLF, <i>connection, mode</i> (, <i>ip_1, ip_2, ip_3, ip_4, pjlink, tcp, password</i> ) [↵]		
パラメータ	<i>connection</i> : コネクション番号 1 = コネクション 1 ~ 8 = コネクション 8, 9 = OUT1B ~ 12 = OUT4B* ※ 「OUT1B」~「OUT4B」は、HDBaseT 出力を接続されている場合のみ値の取得が可能です。		
	<i>mode</i> : 動作モード 0 = 受信モード, 1 = 送信モード ※初期値 <i>connection1~8</i> の場合 受信モード <i>connection9~12</i> の場合 送信モード		
	<i>ip_1</i> : 接続先 IP アドレス上位 ~ <i>ip_4</i> : 接続先 IP アドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 192.168.001.198 <i>mode</i> が送信モードの場合のみ、返信されます。		
	<i>pjlink</i> : PJLink プロトコルでの接続 0 = PJLink を使用しない ※初期値, 1 = PJLink を使用する <i>mode</i> が送信モードの場合のみ、返信されます。		
	<i>tcp</i> : 接続先ポート番号 1 ~ 65535 ※初期値 1100 <i>mode</i> が送信モードで、かつ <i>pjlink</i> を使用しない場合のみ、返信されます。		
	<i>password</i> : パスワード ASCII コード(P.10)の、30 ~ 39, 41 ~ 5A, 61 ~ 7A (英数字)の中から最大 32 文字まで <i>mode</i> が送信モードで、かつ <i>pjlink</i> を使用し、パスワードが設定されている場合のみ返信されます。		
実行例	送 受	@GLF,1 [↵] @GLF,1,0 [↵]	コネクション 1 の動作モードを取得する。 動作モード=受信モード。
	送 受	@GLF,2 [↵] @GLF,2,1,192,168,1,1,0,1300 [↵]	コネクション 2 の動作モードを取得する。 動作モード=送信モード, 接続先 IP アドレス=192.168.1.1, PJLink=使用しない, 接続先ポート番号=1300。
	送 受	@GLF,3 [↵] @GLF,3,1,192,168,1,2,1,PROJECTOR1 [↵]	コネクション 3 の動作モードを取得する。 動作モード=送信モード, 接続先 IP アドレス=192.168.1.2, PJLink=使用する, パスワード=「PROJECTOR1」。
	送 受	@GLF,9 [↵] @GLF,3,1,192,168,1,2,1 [↵]	OUT1B の動作モードを取得する。 動作モード=送信モード, 接続先 IP アドレス=192.168.1.2, PJLink=使用する, パスワード=未設定。
関連項目	7.11.4 LAN 動作モード		

@SLP	TCP ポート番号設定	
コマンド書式	@SLP, <i>connection_1</i> , <i>port_1</i> (, <i>connection_2</i> , <i>port_2</i> ····) [↓]	
返り値書式	@SLP, <i>connection_1</i> , <i>port_1</i> (, <i>connection_2</i> , <i>port_2</i> ····) [↓]	
パラメータ	<i>connection_1-8</i> : コネクション番号 0 = 全コネクション, 1 = コネクション 1 ~ 8 = コネクション 8 ----- <i>port_1-8</i> : ポート番号 23, 80, 1100, 5000 ~ 5999, 6000 ~ 6999 ※初期値 コネクション 1~3 = 1100, コネクション 4~6 = 23, コネクション 7~8 = 80	
実行例	送 @SLP,8,6000 [↓] 受 @SLP,8,6000 [↓]	コネクション 8 のポート番号を 6000 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.11.5 TCPポート番号	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GLP	TCP ポート番号取得	
コマンド書式	@GLP [↓]	
返り値書式	@GLP, <i>connection_1</i> , <i>connection_2</i> , <i>connection_3</i> , <i>connection_4</i> , <i>connection_5</i> , <i>connection_6</i> , <i>connection_7</i> , <i>connection_8</i> [↓]	
パラメータ	<i>connection_1-8</i> : 各コネクションのポート番号 23, 80, 1100, 5000 ~ 5999, 6000 ~ 6999 ※初期値 コネクション 1~3 = 1100, コネクション 4~6 = 23, コネクション 7~8 = 80	
実行例	送 @GLP [↓] 受 @GLP,1100,1100,1100,23, 23,23,80,80 [↓]	ポート番号を取得。 コネクション 1~3 は 1100, コネクション 4~6 は 23, コ ネクション 7 および 8 は 80。
関連項目	7.11.5 TCPポート番号	

@GMC	MAC アドレス取得	
コマンド書式	@GMC [↓]	
返り値書式	@GMC, <i>unit_1</i> , <i>unit_2</i> , <i>unit_3</i> , <i>unit_4</i> , <i>unit_5</i> , <i>unit_6</i> [↓]	
パラメータ	<i>unit_1</i> : MAC アドレス上位 ~ <i>unit_6</i> : MAC アドレス下位 00 ~ FF = 8 ビット(16 進数表記)	
実行例	送 @GMC [↓] 受 @GMC,00,08,E5,55,00,01 [↓]	MAC アドレスを取得。 MAC アドレスを返信。
関連項目	7.11.6 MACアドレス表示	

@GMA	OUTB MAC アドレス取得	
コマンド書式	@GMA [↵]	
返り値書式	@GMA, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4, unit_5, unit_6 [↵]	
パラメータ	unit_1 : MAC アドレス上位 ~ unit_6 : MAC アドレス下位 00 ~ FF = 8 ビット(16 進数表記) ※ HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ値の取得が可能です。	
実行例	送 @GMA [↵] 受 @GMA,00,08,E5,55,80,01 [↵]	OUTB の MAC アドレスを取得。 OUTB の MAC アドレスを返信。
関連項目	7.11.6 MACアドレス表示	

## 3.3.13 制御コマンド送信機能

@EXC	制御コマンドの実行		
コマンド書式	@EXC, <i>command_1</i> (, <i>command_2</i> ...) [ ]		
返り値書式	@EXC, <i>command_1</i> (, <i>command_2</i> ...) [ ]		
パラメータ	<i>command_1-5</i> : 制御コマンド A ~ I, a ~ i = 汎用コマンド(COMMAND A~I) 1 ~ 32 = 制御コマンド個別(COMMAND 1~32)		
実行例	送	@EXC,A [ ]	実行条件 COMMAND A に関連付けされているコマンドを実行する。
	受	@EXC,A [ ]	正常終了。
	送	@EXC,1,2,3 [ ]	COMMAND 1→2→3 の順番に実行する。
	受	@EXC,1,2,3 [ ]	正常終了。
	送	@EXC,6 [ ]	COMMAND 6 を実行する。
	受	@EXC,6,RECV: POWER OFF [ ]	受信データを表示するコマンドを実行した場合は、受信した結果が返されます。この例ではコマンドを送信した機器から「POWER OFF」と受信しています。
関連項目	送	@EXC,A [ ]	実行条件 COMMAND A に関連付けされているコマンドを実行する。
	受	@ERR,10,A [ ]	コマンドが異常終了した場合は、エラーステータスと実行した制御コマンドが返されます。(複数の制御コマンドを実行した場合は、複数のエラーが返されることがあります)
注意事項	制御コマンドの実行が終了してから結果を返信するため、返信に時間がかかる場合があります。		

@SEC	制御コマンド設定(通信コマンド制御)																																																
コマンド書式	@SEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display (, recv_1, recv_2····) ☐																																																
返り値書式	@SEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display (, recv_1, recv_2····) ☐																																																
パラメータ	<p>no : 制御コマンド番号 1 ~ 32</p> <p>delay : 遅延時間 0 ~ 999999</p> <p>port : 出力コネクタ 1 ~ 262143</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>bit6</th> <th>bit5</th> <th>bit4</th> <th>bit3</th> <th>bit2</th> <th>bit1</th> <th>bit0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出力コネクタ</td> <td>LAN1</td> <td>RS-232C OUT4B</td> <td>RS-232C OUT3B</td> <td>RS-232C OUT2B</td> <td>RS-232C OUT1B</td> <td>RS-232C CH2</td> <td>RS-232C CH1</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>bit14</th> <th>bit13</th> <th>bit12</th> <th>bit11</th> <th>bit10</th> <th>bit9</th> <th>bit8</th> <th>bit7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出力コネクタ</td> <td>LAN OUT1B*</td> <td>LAN8</td> <td>LAN7</td> <td>LAN6</td> <td>LAN5</td> <td>LAN4</td> <td>LAN3</td> <td>LAN2</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">-</th> <th>bit18</th> <th>bit17</th> <th>bit16</th> <th>bit15</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出力コネクタ</td> <td colspan="2">-</td> <td>LOOP BACK</td> <td>LAN OUT4B</td> <td>LAN OUT3B</td> <td>LAN OUT2B</td> </tr> </tbody> </table> <p>コマンドを送信する出力コネクタに該当するビットが 1 になります(bit23-bit19 は未使用なので常に 0 になります)。例えば RS-232C CH1 にコマンドを送信する場合は 1(2 進数で 000000000000000000000001)になり、LAN1 と LAN2 にコマンドを送信する場合は 192(2 進数で 000000000000000000011000000)になります。</p> <p>※ 「OUT1B」~「OUT4B」は、HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ設定が可能です。</p> <p>memo : メモ ASCII コード(P.10)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ)以外の中から最大 14 文字まで</p> <p>length : 送信コマンドデータサイズ(バイト数) 0 ~ 30</p> <p>command : 送信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁(16 進数表記)で length×2 桁を指定</p> <p>timeout : タイムアウト時間 0 ~ 99999</p> <p>retry : リトライ回数 0 ~ 99</p> <p>interval : リトライ間隔 0 ~ 99999</p> <p>retryover : リトライオーバー時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する</p> <p>display : 受信データの表示 0 = 通信コマンド制御の場合は、0 を指定します</p>		bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0	出力コネクタ	LAN1	RS-232C OUT4B	RS-232C OUT3B	RS-232C OUT2B	RS-232C OUT1B	RS-232C CH2	RS-232C CH1		bit14	bit13	bit12	bit11	bit10	bit9	bit8	bit7	出力コネクタ	LAN OUT1B*	LAN8	LAN7	LAN6	LAN5	LAN4	LAN3	LAN2		-		bit18	bit17	bit16	bit15	出力コネクタ	-		LOOP BACK	LAN OUT4B	LAN OUT3B	LAN OUT2B
	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0																																										
出力コネクタ	LAN1	RS-232C OUT4B	RS-232C OUT3B	RS-232C OUT2B	RS-232C OUT1B	RS-232C CH2	RS-232C CH1																																										
	bit14	bit13	bit12	bit11	bit10	bit9	bit8	bit7																																									
出力コネクタ	LAN OUT1B*	LAN8	LAN7	LAN6	LAN5	LAN4	LAN3	LAN2																																									
	-		bit18	bit17	bit16	bit15																																											
出力コネクタ	-		LOOP BACK	LAN OUT4B	LAN OUT3B	LAN OUT2B																																											

	<p><i>recv_1-32</i> : 返信コマンドのチェックの有無</p> <p>1 ~ 32 = チェックする返信コマンド番号を指定し、複数チェックする場合はカンマで区切って最大 32 個まで指定可能</p> <p>チェックする返信コマンド番号のみパラメータを送信すれば、パラメータが送信されなかった返信コマンドについては自動的に全て「チェックしない」に設定されます。</p> <p>返信コマンドは、@SRC 返信コマンド設定(P.91)で登録します。</p>	
実行例	<p>送 @SEC,1,10,3,POWER,7, 5057204F4E0D0A, 1000,2,500,0,0,1,2☒</p> <p>受 @SEC,1,10,3,POWER,7, 5057204F4E0D0A, 1000,2,500,0,0,1,2☒</p>	<p>制御コマンド番号 1 に以下の内容で登録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅延時間 : 10ms</li> <li>・出力コネクタ : RS-232C CH1 &amp; RS-232C CH2</li> <li>・メモ : POWER</li> <li>・データサイズ : 7 バイト</li> <li>・コマンドデータ : PW ONCR LF (ASCII コード)</li> <li>・タイムアウト : 1000ms</li> <li>・リトライ回数 : 2 回</li> <li>・リトライ間隔 : 500ms 間隔で再送信する</li> <li>・リトライオーバー : 停止する</li> <li>・受信データ : 表示しない</li> <li>・返信コマンド : 1 と 2 をチェックする</li> </ul>
	<p>送 @SEC,2,0,262144, IN1 SELECT,10, 405353572C312C310D0A,0, 0,0,1,0☒</p> <p>受 @SEC,2,0,262144, IN1 SELECT,10, 405353572C312C310D0A,0, 0,0,1,0☒</p>	<p>制御コマンド番号 2 に以下の内容で登録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅延時間 : 0ms</li> <li>・出力コネクタ : LOOP BACK</li> <li>・メモ : IN1 SELECT</li> <li>・データサイズ : 10 バイト</li> <li>・コマンドデータ : @SSW,1,1CR LF (ASCII コード)</li> <li>・タイムアウト : 0ms</li> <li>・リトライ回数 : 0 回</li> <li>・リトライ間隔 : 0ms</li> <li>・リトライオーバー : 継続する</li> <li>・受信データ : 表示しない</li> <li>・返信コマンド : チェックしない</li> </ul>
関連項目	7.12.1 制御コマンド 作成・編集	

@GEC	制御コマンド取得(通信コマンド制御)								
コマンド書式	@GEC, no [ ]								
返り値書式	@GEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display (, recv_1, recv_2... ) [ ]								
パラメータ	no : 制御コマンド番号 1 ~ 32								
	delay : 遅延時間 0 ~ 999999								
	port : 出力コネクタ 1 ~ 262143								
		bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0	
	出力コネクタ	LAN1	RS-232C OUT4B	RS-232C OUT3B	RS-232C OUT2B	RS-232C OUT1B	RS-232C CH2	RS-232C CH1	
		bit14	bit13	bit12	bit11	bit10	bit9	bit8	bit7
	出力コネクタ	LAN OUT1B*	LAN8	LAN7	LAN6	LAN5	LAN4	LAN3	LAN2
		-			bit18	bit17	bit16	bit15	
	出力コネクタ	-			LOOP BACK	LAN OUT4B	LAN OUT3B	LAN OUT2B	
	<p>コマンドを送信する出力コネクタに該当するビットが 1 になります(bit23-bit19 は未使用なので常に 0 になります)。例えば RS-232C CH1 にコマンドを送信する場合は 1(2 進数で 000000000000000000000001)になり、LAN1 と LAN2 にコマンドを送信する場合は 192(2 進数で 000000000000000000000011000000)になります。</p>								
	memo : メモ ASCII コード(P.10)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ)以外の中から最大 14 文字まで								
	length : 送信コマンドデータサイズ(バイト数) 0 ~ 30								
	command : 送信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁(16 進数表記)で length×2 桁								
timeout : タイムアウト時間 0 ~ 99999									
retry : リトライ回数 0 ~ 99									
interval : リトライ間隔 0 ~ 99999									
retryover : リトライオーバー時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する									
display : 受信データの表示 0 = 通信コマンド制御の場合は、0 になります									
recv_1-32 : 返信コマンドのチェックの有無 1 ~ 32 = チェックする返信コマンド番号をカンマで区切って返信									

実行例	送 受	@GEC,1☐ @GEC,1,10,3,POWER, 7,5057204F4E0D0A, 1000,2,500,0,0,1,2☐	制御コマンド番号 1 に登録された内容を取得。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅延時間 : 10ms</li> <li>・出力コネクタ : RS-232C CH1 &amp; RS-232C CH2</li> <li>・メモ : POWER</li> <li>・データサイズ : 7 バイト</li> <li>・コマンドデータ : PW ONCR LF (ASCII コード)</li> <li>・タイムアウト : 1000ms</li> <li>・リトライ回数 : 2 回</li> <li>・リトライ間隔 : 500ms 間隔で再送信する</li> <li>・リトライオーバー : 停止する</li> <li>・受信データ : 表示しない</li> <li>・返信コマンド : 1 と 2 をチェックする</li> </ul>
	送 受	@GEC,2☐ @GEC,2,0,262144, IN1 SELECT,10, 405353572C312C310D0A,0, 0,0,1,0☐	制御コマンド番号 2 に登録された内容を取得。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅延時間 : 0ms</li> <li>・出力コネクタ : LOOP BACK</li> <li>・メモ : IN1 SELECT</li> <li>・データサイズ : 10 バイト</li> <li>・コマンドデータ : @SSW,1,1 CR LF (ASCII コード)</li> <li>・タイムアウト : 0ms</li> <li>・リトライ回数 : 0 回</li> <li>・リトライ間隔 : 0ms</li> <li>・リトライオーバー : 継続する</li> <li>・受信データ : 表示しない</li> <li>・返信コマンド : チェックしない</li> </ul>
関連項目	7.12.1 制御コマンド 作成・編集		

@SEC	制御コマンド設定(受信データの表示)																																																
コマンド書式	@SEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display, delimiter Ⓜ																																																
返り値書式	@SEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display, delimiter Ⓜ																																																
パラメータ	<p>no : 制御コマンド番号 1 ~ 32</p> <p>delay : 遅延時間 0 ~ 999999</p> <p>port : 出力コネクタ 1 ~ 262143</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>bit6</th> <th>bit5</th> <th>bit4</th> <th>bit3</th> <th>bit2</th> <th>bit1</th> <th>bit0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出力コネクタ</td> <td>LAN1</td> <td>RS-232C OUT4B</td> <td>RS-232C OUT3B</td> <td>RS-232C OUT2B</td> <td>RS-232C OUT1B</td> <td>RS-232C CH2</td> <td>RS-232C CH1</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>bit14</th> <th>bit13</th> <th>bit12</th> <th>bit11</th> <th>bit10</th> <th>bit9</th> <th>bit8</th> <th>bit7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出力コネクタ</td> <td>LAN OUT1B*</td> <td>LAN8</td> <td>LAN7</td> <td>LAN6</td> <td>LAN5</td> <td>LAN4</td> <td>LAN3</td> <td>LAN2</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">-</th> <th>bit18</th> <th>bit17</th> <th>bit16</th> <th>bit15</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出力コネクタ</td> <td colspan="2">-</td> <td>LOOP BACK</td> <td>LAN OUT4B</td> <td>LAN OUT3B</td> <td>LAN OUT2B</td> </tr> </tbody> </table> <p>コマンドを送信する出力コネクタに該当するビットが 1 になります(bit23-bit19 は未使用なので常に 0 になります)。例えば RS-232C CH1 にコマンドを送信する場合は 1(2 進数で 000000000000000000000001)になり、LAN1 と LAN2 にコマンドを送信する場合は 192(2 進数で 000000000000000000011000000)になります。</p> <p>※ 「OUT1B」～「OUT4B」は、HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ設定が可能です。</p> <p>memo : メモ ASCIIコード(P.10)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ)以外の中から最大 14 文字まで</p> <p>length : 送信コマンドデータサイズ(バイト数) 0 ~ 30</p> <p>command : 送信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁(16 進数表記)で length×2 桁を指定</p> <p>timeout : タイムアウト時間 0 ~ 99999</p> <p>retry : リトライ回数 0 ~ 99</p> <p>interval : リトライ間隔 0 ~ 99999</p> <p>retryover : リトライオーバー時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する</p> <p>display : 受信データの表示 1 = ASCII コードで表示する, 2 = 16 進数で表示する</p>		bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0	出力コネクタ	LAN1	RS-232C OUT4B	RS-232C OUT3B	RS-232C OUT2B	RS-232C OUT1B	RS-232C CH2	RS-232C CH1		bit14	bit13	bit12	bit11	bit10	bit9	bit8	bit7	出力コネクタ	LAN OUT1B*	LAN8	LAN7	LAN6	LAN5	LAN4	LAN3	LAN2		-		bit18	bit17	bit16	bit15	出力コネクタ	-		LOOP BACK	LAN OUT4B	LAN OUT3B	LAN OUT2B
	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0																																										
出力コネクタ	LAN1	RS-232C OUT4B	RS-232C OUT3B	RS-232C OUT2B	RS-232C OUT1B	RS-232C CH2	RS-232C CH1																																										
	bit14	bit13	bit12	bit11	bit10	bit9	bit8	bit7																																									
出力コネクタ	LAN OUT1B*	LAN8	LAN7	LAN6	LAN5	LAN4	LAN3	LAN2																																									
	-		bit18	bit17	bit16	bit15																																											
出力コネクタ	-		LOOP BACK	LAN OUT4B	LAN OUT3B	LAN OUT2B																																											

	<i>delimiter</i> : デリミタ デリミタを監視する場合は、0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4ビット1桁(16進数表記)で2桁を指定 100 = デリミタを監視しない	
実行例	送 @SEC,3,0,8192,POWER STATUS,9, 47455420504F570D0A, 2000,2,200,0,1,0D☒	制御コマンド番号 3 に以下の内容で登録する。 ・遅延時間 : 0ms ・出力コネクタ : LAN8 ・メモ : POWER STATUS ・データサイズ : 9 バイト ・コマンドデータ : GET POWCR LF (ASCII コード) ・タイムアウト : 2000ms ・リトライ回数 : 2 回 ・リトライ間隔 : 200ms 間隔で再送信する ・リトライオーバー : 停止する ・受信データ : ASCII コードで表示する ・デリミタ : 0D=16 進数(CR=ASCII コード)
	受 @SEC,3,0,8192,POWER STATUS,9, 47455420504F570D0A, 2000,2,200,0,1,0D☒	制御コマンド番号 4 に以下の内容で登録する。 ・遅延時間 : 0ms ・出力コネクタ : LAN6 ・メモ : INPUT ・データサイズ : 7 バイト ・コマンドデータ : INSEL CR LF (ASCII コード) ・タイムアウト : 2500ms ・リトライ回数 : 4 回 ・リトライ間隔 : 100ms 間隔で再送信する ・リトライオーバー : 継続する ・受信データ : 16 進数で表示する ・返信コマンド : デリミタを監視しない
関連項目	7.12.1 制御コマンド 作成・編集	

@GEC	制御コマンド取得(受信データの表示)								
コマンド書式	@GEC, no [↓]								
返り値書式	@GEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display, delimiter [↓]								
パラメータ	no : 制御コマンド番号 1 ~ 32								
	delay : 遅延時間 0 ~ 999999								
	port : 出力コネクタ								
		bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0	
	出力コネクタ	LAN1	RS-232C OUT4B	RS-232C OUT3B	RS-232C OUT2B	RS-232C OUT1B	RS-232C CH2	RS-232C CH1	
		bit14	bit13	bit12	bit11	bit10	bit9	bit8	bit7
	出力コネクタ	LAN OUT1B*	LAN8	LAN7	LAN6	LAN5	LAN4	LAN3	LAN2
		-			bit18	bit17	bit16	bit15	
	出力コネクタ	-			LOOP BACK	LAN OUT4B	LAN OUT3B	LAN OUT2B	
	コマンドを送信する出力コネクタに該当するビットが 1 になります(bit23-bit19 は未使用なので常に 0 になります)。例えば RS-232C CH1 にコマンドを送信する場合は 1(2 進数で 000000000000000000000001)になり、LAN1 と LAN2 にコマンドを送信する場合は 192(2 進数で 000000000000000000011000000)になります。								
	memo : メモ ASCII コード(P.10)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ)以外の中から最大 14 文字まで								
	length : 送信コマンドデータサイズ(バイト数) 0 ~ 30								
	command : 送信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁(16 進数表記)で length×2 桁								
timeout : タイムアウト時間 0 ~ 999999									
retry : リトライ回数 0 ~ 99									
interval : リトライ間隔 0 ~ 999999									
retryover : リトライオーバー時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する									
display : 受信データの表示 1 = ASCII コードで表示する, 2 = 16 進数で表示する									
delimiter : デリミタ デリミタを監視する場合は、0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁(16 進数表記)で 2 桁 100 = デリミタを監視しない									

実行例	送 受	@GEC,3☒ @GEC,3,0,8192,POWER STATUS,9, 47455420504F570D0A, 2000,2,200,0,1,0D☒	制御コマンド番号 3 に登録された内容を取得。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅延時間 : 0ms</li> <li>・出力コネクタ : LAN8</li> <li>・メモ : POWER STATUS</li> <li>・データサイズ : 9 バイト</li> <li>・コマンドデータ : GET POWCR LF (ASCII コード)</li> <li>・タイムアウト : 2000ms</li> <li>・リトライ回数 : 2 回</li> <li>・リトライ間隔 : 200ms 間隔で再送信する</li> <li>・リトライオーバー : 停止する</li> <li>・受信データ : ASCII コードで表示する</li> <li>・デリミタ : 0D=16 進数(CR=ASCII コード)</li> </ul>
	送 受	@GEC,4☒ @GEC,4,0,2048,INPUT,7, 494E53454C0D0A,2500,4, 100,1,2,100☒	制御コマンド番号 4 に登録された内容を取得。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅延時間 : 0ms</li> <li>・出力コネクタ : LAN6</li> <li>・メモ : INPUT</li> <li>・データサイズ : 7 バイト</li> <li>・コマンドデータ : INSEL CR LF (ASCII コード)</li> <li>・タイムアウト : 2500ms</li> <li>・リトライ回数 : 4 回</li> <li>・リトライ間隔 : 100ms 間隔で再送信する</li> <li>・リトライオーバー : 継続する</li> <li>・受信データ : 16 進数で表示する</li> <li>・返信コマンド : デリミタを監視しない</li> </ul>
関連項目	7.12.1 制御コマンド 作成・編集		

@SEC	制御コマンド設定(CEC制御)	
コマンド書式	@SEC, no, delay, port, memo, error, ch_1, cec_1 (, ch_2, cec_2···) 	
返り値書式	@SEC, no, delay, port, memo, error, ch_1, cec_1 (, ch_2, cec_2···) 	
パラメータ	no : 制御コマンド番号 1 ~ 32	
	delay : 遅延時間 0 ~ 999999	
	port : CEC 制御 524288 = CEC 制御の場合は、524288 を指定します	
	memo : メモ ASCIIコード(P.10)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ)以外の中から最大 14 文字まで	
	error : 機器から応答がなかった時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する	
	ch_1-8 : 出力番号 1 = OUT1A, 2 = OUT2A, 3 = OUT3A, 4 = OUT4A, 5 = OUT1B, 6 = OUT2B 7 = OUT3B, 8 = OUT4B* ※ 「OUT1B」~「OUT4B」は、HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ設定が可能です。	
	cec_1-4 : 制御コマンド 0 =制御しない, 1 = POWER OFF, 2 = POWER ON	
	制御する出力のみパラメータを送信すれば、パラメータが送信されなかった出力については自動的に全て「制御しない」に設定されるため、通常は cec_1-4 に「0=制御しない」のパラメータを送信する必要はありません。	
実行例	送 @SEC,7,0,524288,DISPLAY1 ON,0,1,2  受 @SEC,7,0,524288,DISPLAY1 ON,0,1,2 	制御コマンド番号 7 に以下の内容で登録する。 ・遅延時間 : 0ms ・メモ : DISPLAY1 ON ・エラー時 : 停止する ・OUT1 に接続された機器の電源を ON する ・その他の出力は全て制御しない
関連項目	7.12.1 制御コマンド 作成・編集	

@GEC	制御コマンド取得(CEC制御)	
コマンド書式	@GEC, no [ ]	
返り値書式	@GEC, no, delay, port, memo, error, ch_1, cec_1 (, ch_2, cec_2···) [ ]	
パラメータ	no : 制御コマンド番号 1 ~ 32	
	delay : 遅延時間 0 ~ 999999	
	port : CEC 制御 524288 = CEC 制御の場合は、524288 を指定します	
	memo : メモ ASCIIコード(P.10)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ)以外の中から最大 14 文字まで	
	error : 機器から応答がなかった時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する	
	ch_1-8 : 出力番号 1 = OUT1A, 2 = OUT2A, 3 = OUT3A, 4 = OUT4A, 5 = OUT1B, 6 = OUT2B 7 = OUT3B, 8 = OUT4B* ※ 「OUT1B」~「OUT4B」は、HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ値の取得が可能です。	
	cec_1-4 : 制御コマンド 0 = 制御しない, 1 = POWER OFF, 2 = POWER ON	
	制御する出力の設定のみ送信します。	
実行例	送	@GEC,7 [ ]
	受	@GEC,7,0,524288,DISPLAY1 ON,0,1,2 [ ]
		制御コマンド番号 7 に登録された内容を取得。 ・遅延時間 : 0ms ・メモ : DISPLAY1 ON ・エラー時 : 停止する ・OUT1 に接続された機器の電源を ON する ・その他の出力は全て制御しない
関連項目	7.12.1 制御コマンド 作成・編集	

@SRC	返信コマンド設定	
コマンド書式	@SRC, no, process, length, command, mask, memo ☐	
返り値書式	@SRC, no, process, length, command, mask, memo ☐	
パラメータ	no : 制御コマンド番号 1 ~ 32	
	process : 処理判定 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する, 2 = コマンドを再送信する	
	length : 返信コマンドデータサイズ(バイト数) 0 ~ 30	
	command : 返信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4ビット1桁(16進数表記)で length×2 桁を指定	
	mask : マスクデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4ビット1桁(16進数表記)で length×2 桁を指定	
	memo : メモ ASCIIコード(P.10)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ)以外の中から最大 14 文字まで	
実行例	送	@SRC,1,1,9, 52454356204F4B0D0A, FFFFFFFFFFFFFFFF,OK ☐
	受	@SRC,1,1,9, 52454356204F4B0D0A, FFFFFFFFFFFFFFFF,OK ☐
	送	@SRC,2,0,1,40,40,NG ☐
	受	@SRC,2,0,1,40,40,NG ☐
関連項目	7.12.2 返信コマンド 作成・編集	

@GRC	返信コマンド取得		
コマンド書式	@GRC, no [ ]		
返り値書式	@GRC, no, process, length, command, mask, memo [ ]		
パラメータ	no : 制御コマンド番号 1 ~ 32		
	process : 処理判定 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する, 2 = コマンドを再送信する		
	length : 返信コマンドデータサイズ(バイト数) 0 ~ 30		
	command : 返信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4ビット1桁(16進数表記)で length×2桁		
	mask : マスクデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4ビット1桁(16進数表記)で length×2桁		
	memo : メモ ASCIIコード(P.10)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ)以外の中から最大 14文字まで		
実行例	送 受	@GRC,1 [ ] @GRC,1,1,9, 52454356204F4B0D0A, FFFFFFFFFFFFFFFF,OK [ ]	返信コマンド番号 1 に登録された内容を取得。 ・処理判定 : 継続する ・データサイズ : 9 バイト ・コマンドデータ : RECV OK CR LF (ASCIIコード) ・マスクデータ : 全て FF (全ビットチェック) ・メモ : OK
	送 受	@GRC,2 [ ] @GRC,2,0,1,40,40,NG [ ]	返信コマンド番号 2 に登録された内容を取得。 ・処理判定 : 停止する ・データサイズ : 1 バイト ・コマンドデータ : 40 (16進数) ・マスクデータ : 40 (上から2ビット目をチェック) ・メモ : NG
関連項目	7.12.2 返信コマンド 作成・編集		

@SCC	制御コマンド 関連付け設定		
コマンド書式	@SCC, event, c_1 (, c_2, c_3... ) [ ]		
返り値書式	@SCC, event, c_1 (, c_2, c_3... ) [ ]		
パラメータ	event : コマンド実行条件 設定値は[表 3.2] (P. 94)をご覧ください。		
	c_1-10 : 送信コマンド順序 0 = 関連付けなし, 1 ~ 32 = 制御コマンド 1~32 @SEC 制御コマンド設定(通信コマンド制御)(P.81)、@SEC 制御コマンド設定(受信データの表示)(P.85)、@SEC 制御コマンド設定(CEC制御)(P.89)いずれかで登録した制御コマンドを関連付けます		
実行例	送 受	@SCC,19,5,2,1 [ ] @SCC,19,5,2,1 [ ]	電源投入時に制御コマンド 5、制御コマンド 2、制御コマンド 1 の順で実行する。
	送 受	@SCC,9,10,20 [ ] @SCC,9,10,20 [ ]	COMMAND E の PLANE A は、制御コマンド 10、制御コマンド 20 の順で実行する。
関連項目	7.12.3 制御コマンド 関連付け		

@GCC	制御コマンド 関連付け取得		
コマンド書式	@GCC, <i>event</i> [ ]		
返り値書式	@GCC, <i>event</i> , <i>c_1</i> ( <i>c_2</i> , <i>c_3</i> ... ) [ ]		
パラメータ	<i>event</i> : コマンド実行条件 設定値は[表 3.2] (P. 94)をご覧ください。		
	<i>c_1-10</i> : 送信コマンド順序 0 = 関連付けなし, 1 ~ 32 = 制御コマンド 1~32		
実行例	送	@GCC,19 [ ]	電源投入時に関連付けられている制御コマンドを取得。 制御コマンド5、制御コマンド2、制御コマンド1の順で実行する。
	受	@GCC,19,5,2,1 [ ]	
	送	@GCC,9 [ ]	COMMAND E の PLANE A に関連付けられている制御コマンドを 取得。 制御コマンド 10、制御コマンド 20 の順で実行する。
	受	@GCC,9,10,20 [ ]	
関連項目	7.12.3 制御コマンド 関連付け		

[表 3.2] 制御コマンド実行条件パラメータ

event	実行条件	event	実行条件	event	実行条件
1	COMMAND A-PLANE A	37	AUDIO:OUT1-IN1	73	AUDIO:OUT3-IN1
2	COMMAND A-PLANE B	38	AUDIO:OUT1-IN2	74	AUDIO:OUT3-IN2
3	COMMAND B-PLANE A	39	AUDIO:OUT1-IN3	75	AUDIO:OUT3-IN3
4	COMMAND B-PLANE B	40	AUDIO:OUT1-IN4	76	AUDIO:OUT3-IN4
5	COMMAND C-PLANE A	41	AUDIO:OUT1-IN5	77	AUDIO:OUT3-IN5
6	COMMAND C-PLANE B	42	AUDIO:OUT1-IN6	78	AUDIO:OUT3-IN6
7	COMMAND D-PLANE A	43	AUDIO:OUT1-IN7	79	AUDIO:OUT3-IN7
8	COMMAND D-PLANE B	44	AUDIO:OUT1-IN8	80	AUDIO:OUT3-IN8
9	COMMAND E-PLANE A	45	AUDIO:OUT1-OFF	81	AUDIO:OUT3-OFF
10	COMMAND E-PLANE B	46	VIDEO:OUT2-IN1	82	VIDEO:OUT4-IN1
11	COMMAND F-PLANE A	47	VIDEO:OUT2-IN2	83	VIDEO:OUT4-IN2
12	COMMAND F-PLANE B	48	VIDEO:OUT2-IN3	84	VIDEO:OUT4-IN3
13	COMMAND G-PLANE A	49	VIDEO:OUT2-IN4	85	VIDEO:OUT4-IN4
14	COMMAND G-PLANE B	50	VIDEO:OUT2-IN5	86	VIDEO:OUT4-IN5
15	COMMAND H-PLANE A	51	VIDEO:OUT2-IN6	87	VIDEO:OUT4-IN6
16	COMMAND H-PLANE B	52	VIDEO:OUT2-IN7	88	VIDEO:OUT4-IN7
17	COMMAND I-PLANE A	53	VIDEO:OUT2-IN8	89	VIDEO:OUT4-IN8
18	COMMAND I-PLANE B	54	VIDEO:OUT2-OFF	90	VIDEO:OUT4-OFF
19	POWER ON	55	AUDIO:OUT2-IN1	91	AUDIO:OUT4-IN1
20	DISPLAY1 POWER ON	56	AUDIO:OUT2-IN2	92	AUDIO:OUT4-IN2
21	DISPLAY1 POWER OFF	57	AUDIO:OUT2-IN3	93	AUDIO:OUT4-IN3
22	DISPLAY2 POWER ON	58	AUDIO:OUT2-IN4	94	AUDIO:OUT4-IN4
23	DISPLAY2 POWER OFF	59	AUDIO:OUT2-IN5	95	AUDIO:OUT4-IN5
24	DISPLAY3 POWER ON	60	AUDIO:OUT2-IN6	96	AUDIO:OUT4-IN6
25	DISPLAY3 POWER OFF	61	AUDIO:OUT2-IN7	97	AUDIO:OUT4-IN7
26	DISPLAY4 POWER ON	62	AUDIO:OUT2-IN8	98	AUDIO:OUT4-IN8
27	DISPLAY4 POWER OFF	63	AUDIO:OUT2-OFF	99	AUDIO:OUT4-OFF
28	VIDEO:OUT1-IN1	64	VIDEO:OUT3-IN1		
29	VIDEO:OUT1-IN2	65	VIDEO:OUT3-IN2		
30	VIDEO:OUT1-IN3	66	VIDEO:OUT3-IN3		
31	VIDEO:OUT1-IN4	67	VIDEO:OUT3-IN4		
32	VIDEO:OUT1-IN5	68	VIDEO:OUT3-IN5		
33	VIDEO:OUT1-IN6	69	VIDEO:OUT3-IN6		
34	VIDEO:OUT1-IN7	70	VIDEO:OUT3-IN7		
35	VIDEO:OUT1-IN8	71	VIDEO:OUT3-IN8		
36	VIDEO:OUT1-OFF	72	VIDEO:OUT3-OFF		

@STG	制御コマンド 関連付けのトグル動作設定	
コマンド書式	@STG, event_1, toggle_1 (, event_2, toggle_2···) 	
返り値書式	@STG, event_1, toggle_1 (, event_2, toggle_2···) 	
パラメータ	event_1-9 : コマンド実行条件 0 = 全制御コマンド, 1 = COMMAND A ~ 9 = COMMAND I	
	toggle_1-9 : トグル動作 0 = トグル動作しない, 1 = トグル動作する	
実行例	送 @STG,1,1  受 @STG,1,1 	COMMAND A はトグル動作する。 正常終了。
関連項目	7.12.3 制御コマンド 関連付け	

@GTG	制御コマンド 関連付けのトグル動作取得	
コマンド書式	@GTG, event_1 (, event_2···) 	
返り値書式	@GTG, event_1, toggle_1 (, event_2, toggle_2···) 	
パラメータ	event_1-9 : コマンド実行条件 1 = COMMAND A ~ 9 = COMMAND I	
	toggle_1-9 : トグル動作 0 = トグル動作しない, 1 = トグル動作する	
実行例	送 @GTG,1  受 @GTG,1,1 	COMMAND A のトグル動作を取得。 COMMAND A はトグル動作する。
関連項目	7.12.3 制御コマンド 関連付け	

@SUP	制御コマンド 電源 ON 時実行面設定	
コマンド書式	@SUP, event_1, plane_1 (, event_2, plane_2···) 	
返り値書式	@SUP, event_1, plane_1 (, event_2, plane_2···) 	
パラメータ	event_1-9 : コマンド実行条件 0 = 全制御コマンド, 1 = COMMAND A ~ 9 = COMMAND I	
	plane_1-9 : 電源 ON 時の実行面 0 = AUTO, 1 = PLANE A, 2 = PLANE B	
実行例	送 @SUP,1,1  受 @SUP,1,1 	COMMAND A は電源投入時に PLANE A を実行する。 正常終了。
関連項目	7.12.3 制御コマンド 関連付け	

<b>@GUP</b>	<b>制御コマンド 電源 ON 時実行面取得</b>	
コマンド書式	@GUP, event_1 (, event_2····) ☐	
返り値書式	@GUP, event_1, plane_1 (, event_2, plane_2····) ☐	
パラメータ	event_1-9 : コマンド実行条件 1 = COMMAND A ~ 9 = COMMAND I ----- plane_1-9 : 電源 ON 時の実行面 0 = AUTO, 1 = PLANE A, 2 = PLANE B	
実行例	送 @GUP,1☐ 受 @GUP,1,1☐	COMMAND A の電源投入時の実行面を取得。 COMMAND A は電源投入時に PLANE A を実行する。
関連項目	7.12.3 制御コマンド 関連付け	

<b>@SIT</b>	<b>制御コマンド実行時の操作無効時間設定</b>	
コマンド書式	@SIT, time ☐	
返り値書式	@SIT, time ☐	
パラメータ	time : 操作無効時間 0 ~ 999999 ※初期値 0	
実行例	送 @SIT,2000☐ 受 @SIT,2000☐	制御コマンド実行時の操作無効時間を 2000ms(2 秒)に設定する。 正常終了。
関連項目	7.12.5 制御コマンド実行時の操作無効時間	

<b>@GIT</b>	<b>制御コマンド実行時の操作無効時間取得</b>	
コマンド書式	@GIT ☐	
返り値書式	@GIT, time ☐	
パラメータ	time : 操作無効時間 0 ~ 999999 ※初期値 0	
実行例	送 @GIT☐ 受 @GIT,2000☐	制御コマンド実行時の操作無効時間を取得。 制御コマンド実行中または制御コマンド開始後 2000 ms(2 秒)経過するまでは操作無効。
関連項目	7.12.5 制御コマンド実行時の操作無効時間	

<b>@DEC</b>	<b>登録したコマンドおよび関連付けの消去</b>	
コマンド書式	@DEC, no_1 (, no_2, no_3····) ☐	
返り値書式	@DEC, no_1 (, no_2, no_3····) ☐	
パラメータ	no_1-32 : 消去するコマンドまたは関連付け 1 ~ 32 : 制御コマンド 1 ~ 32 101 ~ 132 : 返信コマンド 1 ~ 32 201 ~ 299 : 関連付け 関連付けの設定値は[表 3.3](P.97)をご覧ください。	
実行例	送 @DEC,201☐ 受 @DEC,201☐	COMMAND A-PLANE A の関連付けを消去する。 正常終了。
関連項目	7.12.6 登録したコマンドおよび関連付けの消去	

[表 3.3] 制御コマンドの関連付け削除パラメータ

event	実行条件	event	実行条件	event	実行条件
201	COMMAND A-PLANE A	237	AUDIO:OUT1-IN1	273	AUDIO:OUT3-IN1
202	COMMAND A-PLANE B	238	AUDIO:OUT1-IN2	274	AUDIO:OUT3-IN2
203	COMMAND B-PLANE A	239	AUDIO:OUT1-IN3	275	AUDIO:OUT3-IN3
204	COMMAND B-PLANE B	240	AUDIO:OUT1-IN4	276	AUDIO:OUT3-IN4
205	COMMAND C-PLANE A	241	AUDIO:OUT1-IN5	277	AUDIO:OUT3-IN5
206	COMMAND C-PLANE B	242	AUDIO:OUT1-IN6	278	AUDIO:OUT3-IN6
207	COMMAND D-PLANE A	243	AUDIO:OUT1-IN7	279	AUDIO:OUT3-IN7
208	COMMAND D-PLANE B	244	AUDIO:OUT1-IN8	280	AUDIO:OUT3-IN8
209	COMMAND E-PLANE A	245	AUDIO:OUT1-OFF	281	AUDIO:OUT3-OFF
210	COMMAND E-PLANE B	246	VIDEO:OUT2-IN1	282	VIDEO:OUT4-IN1
211	COMMAND F-PLANE A	247	VIDEO:OUT2-IN2	283	VIDEO:OUT4-IN2
212	COMMAND F-PLANE B	248	VIDEO:OUT2-IN3	284	VIDEO:OUT4-IN3
213	COMMAND G-PLANE A	249	VIDEO:OUT2-IN4	285	VIDEO:OUT4-IN4
214	COMMAND G-PLANE B	250	VIDEO:OUT2-IN5	286	VIDEO:OUT4-IN5
215	COMMAND H-PLANE A	251	VIDEO:OUT2-IN6	287	VIDEO:OUT4-IN6
216	COMMAND H-PLANE B	252	VIDEO:OUT2-IN7	288	VIDEO:OUT4-IN7
217	COMMAND I-PLANE A	253	VIDEO:OUT2-IN8	289	VIDEO:OUT4-IN8
218	COMMAND I-PLANE B	254	VIDEO:OUT2-OFF	290	VIDEO:OUT4-OFF
219	POWER ON	255	AUDIO:OUT2-IN1	291	AUDIO:OUT4-IN1
220	DISPLAY1 POWER ON	256	AUDIO:OUT2-IN2	292	AUDIO:OUT4-IN2
221	DISPLAY1 POWER OFF	257	AUDIO:OUT2-IN3	293	AUDIO:OUT4-IN3
222	DISPLAY2 POWER ON	258	AUDIO:OUT2-IN4	294	AUDIO:OUT4-IN4
223	DISPLAY2 POWER OFF	259	AUDIO:OUT2-IN5	295	AUDIO:OUT4-IN5
224	DISPLAY3 POWER ON	260	AUDIO:OUT2-IN6	296	AUDIO:OUT4-IN6
225	DISPLAY3 POWER OFF	261	AUDIO:OUT2-IN7	297	AUDIO:OUT4-IN7
226	DISPLAY4 POWER ON	262	AUDIO:OUT2-IN8	298	AUDIO:OUT4-IN8
227	DISPLAY4 POWER OFF	263	AUDIO:OUT2-OFF	299	AUDIO:OUT4-OFF
228	VIDEO:OUT1-IN1	264	VIDEO:OUT3-IN1		
229	VIDEO:OUT1-IN2	265	VIDEO:OUT3-IN2		
230	VIDEO:OUT1-IN3	266	VIDEO:OUT3-IN3		
231	VIDEO:OUT1-IN4	267	VIDEO:OUT3-IN4		
232	VIDEO:OUT1-IN5	268	VIDEO:OUT3-IN5		
233	VIDEO:OUT1-IN6	269	VIDEO:OUT3-IN6		
234	VIDEO:OUT1-IN7	270	VIDEO:OUT3-IN7		
235	VIDEO:OUT1-IN8	271	VIDEO:OUT3-IN8		
236	VIDEO:OUT1-OFF	272	VIDEO:OUT3-OFF		

@STL	制御コマンド実行キー 点灯条件設定	
コマンド書式	@STL, <i>switch_1</i> , <i>led_1</i> (, <i>switch_2</i> , <i>led_2</i> ····) 	
返り値書式	@STL, <i>switch_1</i> , <i>led_1</i> (, <i>switch_2</i> , <i>led_2</i> ····) 	
パラメータ	<i>switch_1-5</i> : コマンド実行キー 0 = 全コマンド実行キー, 1 ~ 5 = COMMAND A ~ COMMAND E, ----- <i>led_1-5</i> : 点灯条件 0 = 制御コマンドが登録されている場合に点灯 ※初期値, 1 = 制御コマンド実行中に点灯	
実行例	送 @STL,2,1  受 @STL,2,1 	COMMAND B は、制御コマンド実行中に点灯。 正常終了。
関連項目	7.12.7 制御コマンド実行キー 点灯条件	

@GTL	制御コマンド実行キー 点灯条件取得	
コマンド書式	@GTL, <i>switch_1</i> (, <i>switch_2</i> ····) 	
返り値書式	@GTL, <i>switch_1</i> , <i>led_1</i> (, <i>switch_2</i> , <i>led_2</i> ····) 	
パラメータ	<i>switch_1-5</i> : コマンド実行キー 0 = 全コマンド実行キー, 1 ~ 5 = COMMAND A ~ COMMAND E, ----- <i>led_1-14</i> : 点灯条件 0 = 制御コマンドが登録されている場合に点灯 ※初期値, 1 = 制御コマンド実行中に点灯	
実行例	送 @GTL,5  受 @GTL,5,0 	COMMAND E の点灯条件を取得。 制御コマンドが登録されている場合に点灯。
関連項目	7.12.7 制御コマンド実行キー 点灯条件	

@STF	制御コマンド実行キー&表示機器電源スイッチ 点滅時間設定	
コマンド書式	@STF, <i>switch_1</i> , <i>flash_1</i> (, <i>switch_2</i> , <i>flash_2</i> ····) 	
返り値書式	@STF, <i>switch_1</i> , <i>flash_1</i> (, <i>switch_2</i> , <i>flash_2</i> ····) 	
パラメータ	<i>switch_1-9</i> : キー種別 0 = 全キー, 1 ~ 5 = COMMAND A ~ COMMAND E, 6 ~ 9 = DISPLAY1 POWER ~ DISPLAY4 POWER ----- <i>flash_1-9</i> : 点滅時間 -1 = 制御コマンド実行中に点滅, 0 = 点滅しない, 1 ~ 1000 = 1 秒 ~ 1000 秒まで指定された時間点滅 ※初期値 COMMAND A~I の場合 0(点滅しない), DISPLAYn POWER の場合 -1(制御コマンド実行中に点滅)	
実行例	送 @STF,4,5  受 @STF,4,5 	COMMAND D は、制御コマンド実行開始後 5 秒間点滅する。 正常終了。
関連項目	7.12.8 制御コマンド実行キー&表示機器電源スイッチ 点滅時間	

@GTF	制御コマンド実行キー&表示機器電源スイッチ 点滅時間取得	
コマンド書式	@GTF, <i>switch_1</i> (, <i>switch_2</i> ...) [ ]	
返り値書式	@GTF, <i>switch_1</i> , <i>flash_1</i> (, <i>switch_2</i> , <i>flash_2</i> ...) [ ]	
パラメータ	<p><i>switch_1-9</i> : キー種別  0 = 全キー, 1 ~ 5 = COMMAND A ~ COMMAND E,  6 ~ 9 = DISPLAY1 POWER ~ DISPLAY4 POWER</p> <hr/> <p><i>flash_1-9</i> : 点滅時間  -1 = 制御コマンド実行中に点滅, 0 = 点滅しない,  1 ~ 1000 = 1 秒 ~ 1000 秒まで指定された時間点滅  ※初期値 COMMAND A~I の場合 0(点滅しない),  DISPLAYn POWER の場合 -1(制御コマンド実行中に点滅)</p>	
実行例	送 @GTF,9 [ ]	DISPLAY4 POWER の点滅時間を取得。
	受 @GTF,9,-1 [ ]	制御コマンド実行中に点滅。
関連項目	7.12.8 制御コマンド実行キー&表示機器電源スイッチ 点滅時間	

## 3.3.14 プリセットメモリ

<b>@RCM</b>	クロスポイントメモリから映像・音声チャンネル設定を読み出す	
コマンド書式	@RCM, <i>memory</i> [↵]	
返り値書式	@RCM, <i>memory</i> [↵]	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 8	
実行例	送 @RCM,1 [↵] 受 @RCM,1 [↵]	クロスポイントメモリ 1 の映像・音声チャンネルを読み出す。 正常終了。
関連項目	7.13.1 クロスポイントの読み出し	

<b>@SCM</b>	クロスポイントメモリへ映像・音声チャンネル設定を上書き保存する	
コマンド書式	@SCM, <i>memory</i> (, <i>name</i> ) [↵]	
返り値書式	@SCM, <i>memory</i> (, <i>name</i> ) [↵]	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 8  <i>name</i> : メモリ名 ASCIIコード(P.10)の、20 ~ 7Dの中から最大10文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずにクロスポイントの設定のみ保存します。	
実行例	現在の映像・音声チャンネルをクロスポイントメモリ 2 に保存する。	
	送 @SCM,2 [↵] 受 @SCM,2 [↵]	[メモリ名を省略した場合]
	送 @SCM,2,PATTERN2 [↵] 受 @SCM,2,PATTERN2 [↵]	[メモリ名を指定した場合]
関連項目	7.13.2 クロスポイントの保存	

<b>@SEM</b>	クロスポイントメモリへ映像・音声チャンネル設定を引き継ぎ保存する	
コマンド書式	@SEM, <i>memory</i> (, <i>name</i> ) [↵]	
返り値書式	@SEM, <i>memory</i> (, <i>name</i> ) [↵]	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 8  <i>name</i> : メモリ名 ASCIIコード(P.10)の、20 ~ 7Dの中から最大10文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずにクロスポイントの設定のみ保存します。	
実行例	現在の映像・音声チャンネルをクロスポイントメモリ 2 に保存する。ただし、チャンネル制御しない設定が保存されている出力の設定は保存しない。	
	送 @SEM,2 [↵] 受 @SEM,2 [↵]	[メモリ名を省略した場合]
	送 @SEM,2,PATTERN2 [↵] 受 @SEM,2,PATTERN2 [↵]	[メモリ名を指定した場合]
関連項目	7.13.2 クロスポイントの保存	

@ECM	クロスポイントメモリの映像・音声チャンネル設定編集	
コマンド書式	@ECM, <i>memory</i> , <i>v_1</i> , <i>a_1</i> ( <i>v_2</i> , <i>a_2</i> , <i>v_3</i> , <i>a_3</i> , <i>v_4</i> , <i>a_4</i> ) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@ECM, <i>memory</i> , <i>v_1</i> , <i>a_1</i> ( <i>v_2</i> , <i>a_2</i> , <i>v_3</i> , <i>a_3</i> , <i>v_4</i> , <i>a_4</i> ) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 8	
	<i>v_1-4</i> : 映像出力 <i>a_1-4</i> : 音声出力 -1 = 制御しない, 0 = OFF, 1 = IN1 ~ 8 = IN8	
実行例	送 @ECM,2,1,1,2,2,3,3,-1,-1 <input type="checkbox"/> 受 @ECM,2,1,1,2,2,3,3,-1,-1 <input type="checkbox"/>	クロスポイントメモリ 2 を読み出すと、OUT1~3 は IN1 ~3 と 1:1 に設定し、OUT4 は制御しない。
関連項目	7.13.3 クロスポイントの編集	

@GCM	クロスポイントメモリの映像・音声チャンネル設定を取得する	
コマンド書式	@GCM, <i>memory</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GCM, <i>memory</i> , <i>video_1</i> , <i>audio_1</i> , ( <i>video_2</i> , <i>audio_2</i> , <i>video_3</i> , <i>audio_3</i> , <i>video_4</i> , <i>audio_4</i> ), <i>name</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 8	
	<i>video_1-4</i> : 映像出力 <i>audio_1-4</i> : 音声出力 -1 = 制御しない, 0 = OFF, 1 = IN1 ~ 8 = IN8 工場出荷時はメモリに何も保存されておらず、「制御しない」状態になります。 はじめてクロスポイントに設定を保存する際に、映像のみ(@SCV)または音声のみ(@SCA)を保存した場合、保存していない音声または映像は「制御しない」が返信されます。	
実行例	送 @GCM,2 <input type="checkbox"/>	クロスポイントメモリ 2 の映像・音声チャンネルを取得。 「PATTERN2」という名前で、映像・音声ともに OUT1 は IN3、OUT2 は IN1、OUT3 は IN2、OUT4 は制御しない設定が保存されている。
	受 @GCM,2,3,3,1,1,2,2,-1,-1,P ATTERN2 <input type="checkbox"/>	
関連項目	7.13.3 クロスポイントの編集	

@RCV	クロスポイントメモリから映像チャンネル設定を読み出す	
コマンド書式	@RCV, <i>memory</i> [↵]	
返り値書式	@RCV, <i>memory</i> [↵]	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 8	
実行例	送 @RCV,1 [↵] 受 @RCV,1 [↵]	クロスポイントメモリ 1 の映像チャンネルを読み出す。 正常終了。
関連項目	7.13.1 クロスポイントの読み出し	

@SCV	クロスポイントメモリへ映像チャンネル設定を上書き保存する	
コマンド書式	@SCV, <i>memory</i> (, <i>name</i> ) [↵]	
返り値書式	@SCV, <i>memory</i> (, <i>name</i> ) [↵]	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 8  <i>name</i> : メモリ名 ASCIIコード(P.10)の、20 ~ 7Dの中から最大 10 文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずにクロスポイントの設定のみ保存します。	
実行例	現在の映像チャンネルをクロスポイントメモリ 2 に保存する。	
	送 @SCV,2 [↵] 受 @SCV,2 [↵]	[メモリ名を省略した場合]
	送 @SCV,2,PATTERN2 [↵] 受 @SCV,2,PATTERN2 [↵]	[メモリ名を指定した場合]
関連項目	7.13.2 クロスポイントの保存	

@SEV	クロスポイントメモリへ映像チャンネル設定を引き継ぎ保存する	
コマンド書式	@SEV, <i>memory</i> (, <i>name</i> ) [↵]	
返り値書式	@SEV, <i>memory</i> (, <i>name</i> ) [↵]	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 8  <i>name</i> : メモリ名 ASCIIコード(P.10)の、20 ~ 7Dの中から最大 10 文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずにクロスポイントの設定のみ保存します。	
実行例	現在の映像チャンネルをクロスポイントメモリ 2 に保存する。ただし、チャンネル制御しない設定が保存されている出力の設定は保存しない。	
	送 @SEV,2 [↵] 受 @SEV,2 [↵]	[メモリ名を省略した場合]
	送 @SEV,2,PATTERN2 [↵] 受 @SEV,2,PATTERN2 [↵]	[メモリ名を指定した場合]
関連項目	7.13.2 クロスポイントの保存	

<b>@ECV</b>	<b>クロスポイントメモリの映像チャンネル設定編集</b>	
コマンド書式	@ECV, <i>memory</i> , <i>v_1</i> ( <i>v_2</i> , <i>v_3</i> , <i>v_4</i> )	
返り値書式	@ECV, <i>memory</i> , <i>v_1</i> ( <i>v_2</i> , <i>v_3</i> , <i>v_4</i> )	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 8	
	<i>v_1-4</i> : 映像出力 -1 = 制御しない, 0 = OFF, 1 = IN1 ~ 8 = IN8	
実行例	送 @ECV,2,1,2,3,-1 受 @ECV,2,1,2,3,-1	クロスポイントメモリ2を読み出すと、OUT1~3はIN1~3と1:1に設定し、OUT4は制御しない。
関連項目	7.13.3 クロスポイントの編集	

<b>@GCV</b>	<b>クロスポイントメモリの映像チャンネル設定を取得する</b>	
コマンド書式	@GCV, <i>memory</i>	
返り値書式	@GCV, <i>memory</i> , <i>video_1</i> ( <i>video_2</i> , <i>video_3</i> , <i>video_4</i> ), <i>name</i>	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 8	
	<i>video_1-4</i> : 映像出力 -1 = 制御しない, 0 = OFF, 1 = IN1 ~ 8 = IN8 工場出荷時はメモリに何も保存されておらず、「制御しない」状態になります。 はじめてクロスポイントに設定を保存する際に、音声のみ(@SCA)を保存した場合、保存していない映像は「制御しない」が返信されます。	
	<i>name</i> : メモリ名 ASCIIコード(P.10)の、20 ~ 7Dの中から最大10文字まで	
実行例	送 @GCV,2 受 @GCV,2,3,1,2,4 PATTERN2	クロスポイントメモリ2の映像チャンネルを取得。 「PATTERN2」という名前で、OUT1はIN3、OUT2はIN1、OUT3はIN2、OUT4はIN4が保存されている。
関連項目	7.13.3 クロスポイントの編集	

<b>@RCA</b>	<b>クロスポイントメモリから音声チャンネル設定を読み出す</b>	
コマンド書式	@RCA, <i>memory</i>	
返り値書式	@RCA, <i>memory</i>	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 8	
実行例	送 @RCA,1 受 @RCA,1	クロスポイントメモリ1の音声チャンネルを読み出す。 正常終了。
関連項目	7.13.1 クロスポイントの読み出し	

<b>@SCA</b>	<b>クロスポイントメモリへ音声チャンネル設定を上書き保存する</b>	
コマンド書式	@SCA, <i>memory</i> (, <i>name</i> ) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SCA, <i>memory</i> (, <i>name</i> ) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 8	
	<i>name</i> : メモリ名 ASCIIコード(P.10)の、20 ~ 7Dの中から最大10文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずにクロスポイントの設定のみ保存します。	
実行例	現在の音声チャンネルをクロスポイントメモリ2に保存する。	
	送 @SCA,2 <input type="checkbox"/>	[メモリ名を省略した場合]
	受 @SCA,2 <input type="checkbox"/>	
	送 @SCA,2,PATTERN2 <input type="checkbox"/>	[メモリ名を指定した場合]
受 @SCA,2,PATTERN2 <input type="checkbox"/>		
関連項目	7.13.2 クロスポイントの保存	

<b>@SEA</b>	<b>クロスポイントメモリへ音声チャンネル設定を引き継ぎ保存する</b>	
コマンド書式	@SEA, <i>memory</i> (, <i>name</i> ) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SEA, <i>memory</i> (, <i>name</i> ) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 8	
	<i>name</i> : メモリ名 ASCIIコード(P.10)の、20 ~ 7Dの中から最大10文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずにクロスポイントの設定のみ保存します。	
実行例	現在の音声チャンネルをクロスポイントメモリ2に保存する。ただし、チャンネル制御しない設定が保存されている出力の設定は保存しない。	
	送 @SEA,2 <input type="checkbox"/>	[メモリ名を省略した場合]
	受 @SEA,2 <input type="checkbox"/>	
	送 @SEA,2,PATTERN2 <input type="checkbox"/>	[メモリ名を指定した場合]
受 @SEA,2,PATTERN2 <input type="checkbox"/>		
関連項目	7.13.2 クロスポイントの保存	

<b>@ECA</b>	<b>クロスポイントメモリの音声チャンネル設定編集</b>	
コマンド書式	@ECA, <i>memory</i> , <i>a_1</i> (, <i>a_2</i> , <i>a_3</i> , <i>a_4</i> ) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@ECA, <i>memory</i> , <i>a_1</i> (, <i>a_2</i> , <i>a_3</i> , <i>a_4</i> ) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 8	
	<i>a_1-4</i> : 音声出力 -1 = 制御しない, 0 = OFF, 1 = IN1 ~ 8 = IN8	
実行例	送 @ECA,2,1,2,3,-1 <input type="checkbox"/>	クロスポイントメモリ2を読み出すと、OUT1~3はIN1~3と1:1に設定し、OUT4は制御しない。
	受 @ECA,2,1,2,3,-1 <input type="checkbox"/>	
関連項目	7.13.3 クロスポイントの編集	

@GCA	クロスポイントメモリの音声チャンネル設定を取得する	
コマンド書式	@GCA, <i>memory</i> [↵]	
返り値書式	@GCA, <i>memory</i> , <i>audio_1</i> (, <i>audio_2</i> , <i>audio_3</i> , <i>audio_4</i> ), <i>name</i> [↵]	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 8  <i>audio_1-4</i> : 音声出力 -1 = 制御しない, 0 = OFF, 1 = IN1 ~ 8 = IN8 工場出荷時はメモリに何も保存されておらず、「制御しない」状態になります。 はじめてクロスポイントに設定を保存する際に、映像のみ(@SCV)を保存した場合、保存していない音声は「制御しない」が返信されます。  <i>name</i> : メモリ名 ASCIIコード(P.10)の、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで	
実行例	送 @GCA,2[↵] 受 @GCA,2,3,1,2,4 PATTERN2[↵]	クロスポイントメモリ 2 の音声チャンネルを取得。 「PATTERN2」という名前で、OUT1 は IN3、OUT2 は IN1、OUT3 は IN2、OUT4 は IN4 が保存されている。
関連項目	7.13.3 クロスポイントの編集	

@RPM	プリセットメモリから全設定を読み出す	
コマンド書式	@RPM, <i>preset</i> [↵]	
返り値書式	@RPM, <i>preset</i> [↵]	
パラメータ	<i>preset</i> : プリセットメモリ 1 ~ 8	
実行例	送 @RPM,3[↵] 受 @RPM,3[↵] 送 @RPM,7[↵] 受 @ERR,3[↵]	プリセットメモリ 3 を読み出す。 正常終了。 データが登録されていないプリセットメモリは読み出すことができません。
関連項目	7.13.4 全設定の読み出し	
注意事項	この操作を行うと、一部の環境設定を除く、映像および音声の入出力に関する全ての設定が更新されます。操作には十分にご注意ください。	

@SPM	プリセットメモリに全設定を保存する	
コマンド書式	@SPM, <i>preset</i> (, <i>name</i> ) [↵]	
返り値書式	@SPM, <i>preset</i> (, <i>name</i> ) [↵]	
パラメータ	<i>preset</i> : プリセットメモリ 1 ~ 8  <i>name</i> : メモリ名 ASCIIコード(P.10)の、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずに各種設定のみ保存します。	
実行例	送 @SPM,2[↵] 受 @SPM,2[↵] 送 @SPM,2,MEMORY2[↵] 受 @SPM,2,MEMORY2[↵]	[メモリ名を省略した場合] [メモリ名を指定した場合]
関連項目	7.13.5 全設定の保存	

@SMU	電源投入時の状態設定	
コマンド書式	@SMU, state [↵]	
返り値書式	@SMU, state [↵]	
パラメータ	state : 電源投入時の設定 1 ~ 8 = クロスポイントメモリ 1 ~ 8, 9 = チャンネル OFF, 10 = ラストチャンネル ※初期値, 11 ~ 18 = プリセットメモリ 1 ~ 8	
実行例	送 @SMU,3[↵] 受 @SMU,3[↵]	電源投入時のチャンネル設定をクロスポイントメモリ3に設定する。 正常終了。
関連項目	7.13.6 電源投入時の設定	

@GMU	電源投入時の状態取得	
コマンド書式	@GMU [↵]	
返り値書式	@GMU, state [↵]	
パラメータ	state : 電源投入時の設定 1 ~ 8 = クロスポイントメモリ 1 ~ 8, 9 = チャンネル OFF, 10 = ラストチャンネル ※初期値, 11 ~ 18 = プリセットメモリ 1 ~ 8	
実行例	送 @GMU[↵] 受 @GMU,3[↵]	電源投入時の状態を取得。 電源投入時はクロスポイントメモリ 3 に保存されたチャンネル設定 で起動する。
関連項目	7.13.6 電源投入時の設定	

## 3.3.15 ビットマップ設定

@SBM	ビットマップ画像の出力設定	
コマンド書式	@SBM, <i>ch_1, out_1</i> (, <i>ch_2, out_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SBM, <i>ch_1, out_1</i> (, <i>ch_2, out_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4 <hr/> <i>out_1-4</i> : ビットマップ画像出力設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ビットマップ 1 ON, 2 = ビットマップ 2 ON, 3 = ビットマップ 3 ON, 4 = ビットマップ 4 ON ※ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です	
実行例	送 @SBM,1,1 <input type="checkbox"/> 受 @SBM,1,1 <input type="checkbox"/>	OUT1に通常の映像の代わりにビットマップ1の画像を出力する。 正常終了。
関連項目	7.14.2 ビットマップ画像の出力	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

@GBM	ビットマップ画像の出力取得	
コマンド書式	@GBM <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GBM, <i>out_1</i> (, <i>out_2, out_3, out_4</i> ) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>out_1-4</i> : 各出力のビットマップ画像出力設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ビットマップ 1 ON, 2 = ビットマップ 2 ON, 3 = ビットマップ 3 ON, 4 = ビットマップ 4 ON	
実行例	送 @GBM <input type="checkbox"/> 受 @GBM,1,0,0,0 <input type="checkbox"/>	出力されている映像を取得。 OUT1 にビットマップ 1 の画像を出力し、その他の出力にはビットマップの画像を出力していない。
関連項目	7.14.2 ビットマップ画像の出力	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

@SBB	ビットマップ バックカラー設定	
コマンド書式	@SBB, <i>ch_1</i> , <i>bitmap_1</i> , <i>red_1</i> , <i>green_1</i> , <i>blue_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>bitmap_2</i> , <i>red_2</i> , <i>green_2</i> , <i>blue_2</i> ···)	
返り値書式	@SBB, <i>ch_1</i> , <i>bitmap_1</i> , <i>red_1</i> , <i>green_1</i> , <i>blue_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>bitmap_2</i> , <i>red_2</i> , <i>green_2</i> , <i>blue_2</i> ···)	
パラメータ	<i>ch_1-16</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4  <i>bitmap_1-16</i> : ビットマップ番号 0 = 全ビットマップ, 1 = ビットマップ 1, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4 ※ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です  <i>red_1-16</i> : バックカラー(赤) <i>green_1-16</i> : バックカラー(緑) <i>blue_1-16</i> : バックカラー(青) 0 ~ 255 ※初期値 0	
実行例	送 @SBB,1,1,255,255,255 受 @SBB,1,1,255,255,255	ビットマップ 1 を OUT1 に出力する場合のバックカラーを RGB ともに 255(白色)に設定する。 正常終了。
関連項目	7.14.3 バックカラー	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

@GBB	ビットマップ バックカラー取得	
コマンド書式	@GBB, <i>ch</i>	
返り値書式	@GBB, <i>ch</i> , <i>red1</i> , <i>green1</i> , <i>blue1</i> (, <i>red_2</i> , <i>green_2</i> , <i>blue_2</i> ···)	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4  <i>red_1-4</i> : 各ビットマップのバックカラー(赤) <i>green_1-4</i> : 各ビットマップのバックカラー(緑) <i>blue_1-4</i> : 各ビットマップのバックカラー(青) 0 ~ 255 ※初期値 0 ※登録されているビットマップの設定を順番に送信します	
実行例	送 @GBB,2 受 @GBB,2,255,0,0 送 @GBB,2 受 @GBB,2,255,0,0,0,255,0	OUT2 のバックカラーを取得。 R が 255、G と B が 0(赤色)。 ビットマップが 2 個登録されている場合に、OUT2 のバックカラーを取得。 ビットマップ 1 は R が 255、G と B が 0(赤色)、ビットマップ 2 は G が 255、R と B が 0(緑色)。
関連項目	7.14.3 バックカラー	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

@SBT	ビットマップ アスペクト比設定	
コマンド書式	@SBT, <i>ch_1</i> , <i>bitmap_1</i> , <i>aspect_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>bitmap_2</i> , <i>aspect_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SBT, <i>ch_1</i> , <i>bitmap_1</i> , <i>aspect_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>bitmap_2</i> , <i>aspect_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-16</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	<i>bitmap_1-16</i> : ビットマップ番号 0 = 全ビットマップ, 1 = ビットマップ 1, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4 ※ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です	
	<i>aspect_1-16</i> : アスペクト比 0 = AUTO, 1 = FULL, 2 = THROUGH	
実行例	送 @SBT,1,1,1 <input type="checkbox"/> 受 @SBT,1,1,1 <input type="checkbox"/>	ビットマップ 1 を OUT1 に出力する場合のアスペクト比を FULL に設定する。 正常終了。
関連項目	7.14.4 アスペクト比	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

@GBT	ビットマップ アスペクト比取得	
コマンド書式	@GBT, <i>ch</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GBT, <i>ch</i> , <i>aspect_1</i> (, <i>aspect_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	<i>aspect_1-4</i> : 各ビットマップのアスペクト比 0 = AUTO, 1 = FULL, 2 = THROUGH ※登録されているビットマップの設定を順番に送信します	
実行例	送 @GBT,1 <input type="checkbox"/>	OUT1 のアスペクト比を取得。 FULL 画面表示する。
	受 @GBT,1,1 <input type="checkbox"/>	
	送 @GBT,2 <input type="checkbox"/>	ビットマップが 2 個登録されている場合に、OUT2 のアスペクト比を取得。 ビットマップ 1 は FULL 画面表示、ビットマップ 2 は AUTO 表示。
	受 @GBT,2,1,0 <input type="checkbox"/>	
関連項目	7.14.4 アスペクト比	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

@SZP	ビットマップ 表示位置設定		
コマンド書式	@SZP, <i>ch_1</i> , <i>bitmap_1</i> , <i>position_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>bitmap_2</i> , <i>position_2</i> ····) 		
返り値書式	@SZP, <i>ch_1</i> , <i>bitmap_1</i> , <i>position_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>bitmap_2</i> , <i>position_2</i> ····) 		
パラメータ	<i>ch_1-16</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4		
	<i>bitmap_1-16</i> : ビットマップ番号 0 = 全ビットマップ, 1 = ビットマップ 1, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4 ※ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です		
	<i>position_1-16</i> : 表示位置 0 = CENTER ※初期値, 1 = TOP-LEFT, 2 = BOTTOM-LEFT, 3 = TOP-RIGHT, 4 = BOTTOM-RIGHT		
実行例	送 @SZP,1,1,1 	受 @SZP,1,1,1 	ビットマップ 1 を OUT1 に出力する場合は左上に表示する。 正常終了。
関連項目	7.14.5 表示位置		
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。		

@GZP	ビットマップ 表示位置取得		
コマンド書式	@GZP, <i>ch</i> 		
返り値書式	@GZP, <i>ch</i> , <i>position_1</i> (, <i>position_2</i> ····) 		
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4		
	<i>position_1-4</i> : 各ビットマップの表示位置 0 = CENTER ※初期値, 1 = TOP-LEFT, 2 = BOTTOM-LEFT, 3 = TOP-RIGHT, 4 = BOTTOM-RIGHT ※登録されているビットマップの設定を順番に送信します		
実行例	送 @GZP,1 	受 @GZP,1,1 	OUT1 の表示位置を取得。 左上に表示する。
	送 @GZP,2 	受 @GZP,2,1,0 	ビットマップが 2 個登録されている場合に、OUT2 の表示位置を取得。 ビットマップ 1 は左上に表示、ビットマップ 2 は中央に表示する。
関連項目	7.14.5 表示位置		
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。		

@SBA	ビットマップ 入力チャンネル割り当て設定		
コマンド書式	@SBA, <i>ch_1</i> , <i>input_1</i> , <i>bitmap_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>input_2</i> , <i>bitmap_2</i> ...) 		
返り値書式	@SBA, <i>ch_1</i> , <i>input_1</i> , <i>bitmap_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>input_2</i> , <i>bitmap_2</i> ...) 		
パラメータ	<i>ch_1-32</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4		
	<i>input_1-32</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 8 = IN8		
	<i>bitmap_1-32</i> : ビットマップ割り当て 0 = NONE ※初期値, 1 = ビットマップ 1, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4 ※ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です		
実行例	送	@SBA,1,8,1 	OUT1 は IN8 にビットマップ 1 を割り当てる。(IN8 を選択するとビットマップ 1 が出力されます)
	受	@SBA,1,8,1 	正常終了。
	送	@SBA,2,6,1,8,2 	OUT2 は IN6 にビットマップ 1 を割り当て、IN8 にビットマップ 2 を割り当てる。(IN6 を選択するとビットマップ 1 が出力され、IN8 を選択するとビットマップ 2 が出力されます)
	受	@SBA,2,8,1,8,2 	正常終了。
関連項目	7.14.6 入力チャンネル割り当て		
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1 のみ設定が可能です。		

@GBA	ビットマップ 入力チャンネル割り当て取得		
コマンド書式	@GBA, <i>ch</i> 		
返り値書式	@GBA, <i>ch</i> , <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> , <i>in_7</i> , <i>in_8</i> 		
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4		
	<i>in_1-8</i> : 各入力チャンネルのビットマップ割り当て 0 = NONE ※初期値, 1 = ビットマップ 1, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4		
実行例	送	@GBA,1 	OUT1 のビットマップ割り当てを取得。
	受	@GBA,1,0,0,0,0,0,0,1 	OUT1 は IN8 にビットマップ 1 が割り当てられており、その他の入力チャンネルはビットマップが割り当てられていない。
関連項目	7.14.6 入力チャンネル割り当て		
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1 のみ設定が可能です。		

@SPB	電源投入時のビットマップ画像の出力設定	
コマンド書式	@SPB, <i>ch_1</i> , <i>out_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>out_2</i> ...) [↵]	
返り値書式	@SPB, <i>ch_1</i> , <i>out_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>out_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4 ----- <i>out_1-4</i> : ビットマップ画像出力設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ビットマップ 1 ON, 2 = ビットマップ 2 ON, 3 = ビットマップ 3 ON, 4 = ビットマップ 4 ON ※ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です	
実行例	送 @SPB,1,0 [↵] 受 @SPB,1,0 [↵]	OUT1 は電源投入時にビットマップ画像を出力しない。 正常終了。
関連項目	7.14.7 電源投入時のビットマップ画像の出力	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

@GPB	電源投入時のビットマップ画像の出力取得	
コマンド書式	@GPB [↵]	
返り値書式	@GPB, <i>out_1</i> (, <i>out_2</i> , <i>out_3</i> , <i>out_4</i> ) [↵]	
パラメータ	<i>out_1-4</i> : 各出力のビットマップ画像出力設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ビットマップ 1 ON, 2 = ビットマップ 2 ON, 3 = ビットマップ 3 ON, 4 = ビットマップ 4 ON	
実行例	送 @GPB [↵] 受 @GPB,0,0,0,1 [↵]	電源投入時のビットマップ画像出力を取得。 OUT4にビットマップ1の画像を出力し、その他の出力にはビットマップの画像しない。
関連項目	7.14.7 電源投入時のビットマップ画像の出力	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

@SBD	ビットマップ用メモリの分割設定	
コマンド書式	@SBD, num, mode (, size_1, size_2...) [↵]	
返り値書式	@SBD, num, mode, block_1 (, block_2...) [↵]	
パラメータ	<p>num : 分割数 1 ~ 4 ※初期値 1</p> <hr/> <p>mode : 分割モード 0 = 自動モード, 1 = リサイズモード, 2 = 強制モード, 3 = サイズ指定モード ※サイズ指定モードを選択した場合は、size_1-4 を指定します</p> <hr/> <p>size_1-4 : 各メモリのブロックサイズ 0 ~ 128 ※初期値 128 ※1 ブロックは 65,536 バイトで、全ビットマップの合計サイズが 128 ブロック (8,388,608 バイト以下になるように設定します) mode が 3 の場合のみ指定します</p> <hr/> <p>block_1-4 : 各メモリのブロックサイズ 0 ~ 128 ※正常にメモリが分割できた場合は、分割後のブロックサイズを送信します</p>	
実行例	送 @SBD,2,1 [↵] 受 @SBD,2,1,64,64 [↵]	ビットマップ用メモリをリサイズモードで 2 分割する。 ビットマップ 1 およびビットマップ 2 は、それぞれ 64 ブロック (4,194,304 バイト)のメモリを確保した。
	送 @SBD,2,3,96,36 [↵] 受 @ERR,1 [↵]	ビットマップ用メモリをサイズ指定モードで 96 ブロックと 36 ブロックに 2 分割する。 合計のブロックサイズが 132 になるため、分割できなかった。
関連項目	7.14.8 メモリエリアの分割	

@GBD	ビットマップ用メモリの分割設定取得	
コマンド書式	@GBD [↵]	
返り値書式	@GBD, num, block_1 (, block_2...) [↵]	
パラメータ	<p>num : 分割数 1 ~ 4 ※初期値 1</p> <hr/> <p>block_1-4 : 各メモリのブロックサイズ 0 ~ 128 ※初期値 128</p>	
実行例	送 @GBD [↵] 受 @GBD,2,64,64 [↵]	ビットマップ用メモリの分割設定を取得。 ビットマップ 1 およびビットマップ 2 は、それぞれ 64 ブロック (4,194,304 バイト)のメモリが確保されている。
関連項目	7.14.8 メモリエリアの分割	

@GBV	ビットマップ用メモリの使用状態取得	
コマンド書式	@GBV [↵]	
返り値書式	@GBV, num, block_1 (, block_2···) [↵]	
パラメータ	num : 分割数 1 ~ 4 ※初期値 1 <hr/> block_1-4 : 実際に使用されている各メモリのブロックサイズ 0 ~ 128 ※初期値 12	
実行例	送 @GBV[↵] 受 @GBV,2,32,0[↵]	ビットマップ用メモリの実際の使用状態を取得。 ビットマップ 1 は 32 セクタ(2,097,152 バイト)が使用され、ビットマップ 2 は登録されていない。
関連項目	7.14.8 メモリエリアの分割	

@SBN	登録するビットマップ番号設定	
コマンド書式	@SBN, bitmap [↵]	
返り値書式	@SBN, bitmap [↵]	
パラメータ	bitmap : ビットマップ番号 1 = ビットマップ 1 ※初期値, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4 ※ビットマップは分割数以下の番号のみ指定可能です ※ターミナルソフトなどでビットマップを書き込む場合は、先に書き込むビットマップ番号を指定してください	
実行例	送 @SBN,2[↵] 受 @SBN,2[↵]	ビットマップ 2 に画像を登録する。(次に送信されたビットマップファイルはビットマップ 2 に登録されます) 正常終了。
関連項目	7.14.1 ビットマップファイルの送信	

@GBN	登録するビットマップ番号取得	
コマンド書式	@GBN [↵]	
返り値書式	@GBN, bitmap [↵]	
パラメータ	bitmap : ビットマップ番号 1 = ビットマップ 1 ※初期値, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4	
実行例	送 @GBN[↵] 受 @GBN,2[↵]	登録するビットマップ番号を取得。 ビットマップ 2。
関連項目	7.14.1 ビットマップファイルの送信	

@SFZ	フリーズ設定	
コマンド書式	@SFZ, <i>ch_1</i> , <i>freeze_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>freeze_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SFZ, <i>ch_1</i> , <i>freeze_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>freeze_2</i> ...) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4 <hr/> <i>freeze_1-4</i> : フリーズ設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ON	
実行例	送 @SFZ,1,1 <input type="checkbox"/> 受 @SFZ,1,1 <input type="checkbox"/>	OUT1 の映像をフリーズ(静止)する。 正常終了。
関連項目	7.14.9 入力映像のキャプチャ	
注意事項	フリーズは一時的なものです。入力チャンネルを切り換えた場合や、入力信号が変化した場合は、自動的にフリーズが解除され、入力映像が通常どおり出力されます。	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

@GFZ	フリーズ設定取得	
コマンド書式	@GFZ <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GFZ, <i>out_1</i> (, <i>out_2</i> , <i>out_3</i> , <i>out_4</i> ) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>out_1-4</i> : 各出力のフリーズ設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ON	
実行例	送 @GFZ <input type="checkbox"/> 受 @GFZ,1,0,0,0 <input type="checkbox"/>	フリーズの状態を取得。 OUT1 は入力映像をフリーズ(静止)して出力し、その他の出力は通常どおり映像を出力している。
関連項目	7.14.9 入力映像のキャプチャ	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ取得が可能です。	

@CAP	入力映像のキャプチャ	
コマンド書式	@CAP, <i>ch</i> , <i>bitmap</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@CAP, <i>ch</i> , <i>bitmap</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4 <hr/> <i>bitmap</i> : ビットマップ番号 1 = ビットマップ 1, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4 ※ビットマップは分割数以下の番号のみ指定可能です	
実行例	送 @CAP,1,2 <input type="checkbox"/> 受 @CAP,1,2 <input type="checkbox"/>	OUT1 の入力映像をビットマップ 2 に登録する。 正常終了。
関連項目	7.14.9 入力映像のキャプチャ	
注意事項	@SML マルチディスプレイモード設定(P.36)が ON の場合は、全出力共通になり、OUT1のみ設定が可能です。	

## 3.3.16 その他設定

@SLS	キーロック設定/解除	
コマンド書式	@SLS, lock <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SLS, lock <input type="checkbox"/>	
パラメータ	lock : キーロック設定 0 = キーロック解除 ※初期値, 1 = キーロック, 2 = 現在の設定を逆にする	
実行例	送 @SLS,1 <input type="checkbox"/>	フロントパネルをロックする。
	受 @SLS,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	6.6 キーロック設定/解除の操作	

@GLS	キーロック状態取得	
コマンド書式	@GLS <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GLS, lock <input type="checkbox"/>	
パラメータ	lock : キーロック設定 0 = ロック解除 ※初期値, 1 = ロック有効	
実行例	送 @GLS <input type="checkbox"/>	キーロック状態を取得。
	受 @GLS,1 <input type="checkbox"/>	フロントパネルはキーロック中。
関連項目	6.6 キーロック設定/解除の操作	

@SLM	フロントパネル キーロック対象の設定	
コマンド書式	@SLM, channel, channel_mode, menu, memory, command, command_mode, power <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SLM, channel, channel_mode, menu, memory, command, command_mode, power <input type="checkbox"/>	
パラメータ	channel : 入力チャンネル選択キー channel_mode : チャンネル切換モード選択キー menu : メニュー操作キー memory : クロスポイント読み出しキー command : 制御コマンド実行キー command_mode : コマンド動作モード選択キー power : 表示機器電源スイッチ 0 = キーロック対象外, 1 = キーロック対象 ※初期値	
実行例	送 @SLM,1,0,0,0,0,0,0 <input type="checkbox"/>	入力チャンネル選択キーのみをキーロック対象にする。
	受 @SLM,1,0,0,0,0,0,0 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.16.1 キーロック対象の設定	

@GLM	フロントパネル キーロック対象の取得	
コマンド書式	@GLM [↵]	
返り値書式	@GLM, channel, channel_mode, menu, memory, command, command_mode, power [↵]	
パラメータ	<i>channel</i> : 入力チャンネル選択キー <i>channel_mode</i> : チャンネル切換モード選択キー <i>menu</i> : メニュー操作キー <i>memory</i> : クロスポイント読み出しキー <i>command</i> : 制御コマンド実行キー <i>command_mode</i> : コマンド動作モード選択キー <i>power</i> : 表示機器電源スイッチ 0 = キーロック対象外, 1 = キーロック対象 ※初期値	
実行例	送 @GLM [↵] 受 @GLM,1,0,0,0,0,0,0 [↵]	キーロック設定の状態を取得する。 入力チャンネル選択キーのみがキーロック対象。
関連項目	7.16.1 キーロック対象の設定	

@SBZ	ブザー音設定	
コマンド書式	@SBZ, bz [↵]	
返り値書式	@SBZ, bz [↵]	
パラメータ	<i>bz</i> : ブザー音設定 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
実行例	送 @SBZ,1 [↵] 受 @SBZ,1 [↵]	ブザー音を ON に設定する。 正常終了。
関連項目	7.16.2 ブザー音	

@GBZ	ブザー音設定取得	
コマンド書式	@GBZ [↵]	
返り値書式	@GBZ, bz [↵]	
パラメータ	<i>bz</i> : ブザー音設定 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
実行例	送 @GBZ [↵] 受 @GBZ,1 [↵]	ブザー音の状態を取得。 ブザー音は ON に設定されている。
関連項目	7.16.2 ブザー音	



※4 音声入力信号のフォーマットは以下のように返信します

返信例	音声入力信号のフォーマット
LINEAR PCM 48kHz	リニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します
LINEAR PCM 48kHz (MULTI CHANNEL)	マルチチャンネルのリニア PCM 信号が入力されています
COMPRESSED AUDIO	圧縮音声信号(Dolby Digital、DTS など)が入力されています (本機では詳細なフォーマット判別を行っていませんので、圧縮音声が入力されている場合は全て同じ表示になります)
NO SIGNAL	映像信号が入力されていません

※5 HDCP の認証状態は以下のいずれかを返信します

返信例	HDCP の認証状態
HDCP SUPPORT	HDCP に対応した表示機器が接続されています
HDCP NOT SUPPORT	HDCP に対応していない表示機器が接続されています
HDCP ERROR	HDCP に対応した表示機器が接続されていますが、認証に失敗しました
HDCP CHECK NOW	表示機器の接続状態が変わった場合などに表示され、表示機器の状態を確認中です
UNCONNECTED	表示機器が接続されていません

※6 出力信号の種類は以下のいずれかを返信します

返信	出力信号の種類
Hxx	HDMI 信号を出力しており、xx は色深度で 24 または 30 のいずれかになります
D	DVI 信号を入力しています
C	HDCP の認証中のため、映像を出力していません
O	Cat5e/Cat6 のケーブルが接続されていません。
N	表示機器が接続されていません

※7 デジタル出力コネクタへの映像出力、デジタル出力コネクタへの音声出力、アナログ音声出力コネクタへの音声出力の順でエラーコードを返信します  
エラーコードは以下のいずれかになります

エラーコード	映像出力の状態	音声出力の状態
0	正常に映像または音声が出力されています※7	
1	@SVO 映像出力コネクタ設定 (P.52)が「OFF」に設定されています。	@SAM 音声出力ミュート設定(P.57)が「ON」に設定されています
2	DDC 電源が入力されていません(入力機器が接続されていない場合は、通常この状態になります)	
3	映像信号が入力されていません	音声信号が入力されていません
4	ソース機器の映像出力または音声出力がミュート状態です	
5	HDCP の付加された信号が入力されているが、表示機器が HDCP に対応していません(HDCP の認証処理中にも返信されることがあります)	
6	映像または音声の出力に必要な情報(パケット)をソース機器が出力していません	
7	本機が対応していない信号(サンプリングクロックが範囲外)が入力されています	圧縮音声が入力されているため音声を出力することができません(圧縮音声に対応した表示機器以外には、圧縮音声は出力されません)
8	—	@SDO 音声出力コネクタ設定 (P.61)が「OFF」に設定されています
9	—	@SDM 出力モード設定 (P.47)が「DVI MODE」に設定されているか、音声に対応していない表示機器が接続されています ※8
A	入力チャンネルが OFF に設定されています	
B	—	@SAO デジタル音声出力コネクタ設定 (P. 61)が「OFF」に設定されています。
C	表示機器が接続されていません	
D	HDCP の認証中です	
E	HDCP の認証に失敗しました	
F	Cat5e/Cat6 のケーブルが接続されていません。 ※8	

※7 アナログ音声信号の入力状態は検出できないため、「0」が返信される場合でも、アナログ入力を選択されているときは音声が出力されないことがあります。

※8 「OUT1B」～「OUT4B」のみの状態になります。

実行例	送 受	@GSS,1,0 @GSS,1,0,H30,1080P 60Hz, LINEAR PCM 48kHz, HDCP ON	IN1 の全ステータスを取得。 ・入力信号の種類 : 30-BIT COLOR の HDMI 信号 ・映像入力信号 : 1080P 60Hz ・音声入力信号 : LINEAR PCM 48kHz ・HDCP : ON
	送 受	@GSS,4,3 @GSS,4,3,NO SIGNAL	IN4 の音声入力信号のフォーマットを取得。 ・音声入力信号 : 入力信号なし
	送 受	@GSS,11,0 @GSS,11,0,HDCP SUPPORT, H30,000	OUT1 の全ステータスを取得。 ・HDCP の認証状態 : 正常終了 ・出力信号の種類 : 30-BIT COLOR の HDMI 信号 ・エラーコード : 映像、音声ともに正常
	送 受	@GSS,13,1 @GSS,13,1,UNCONNECTED	OUT3 の HDCP の認証状態を取得。 ・HDCP の認証状態 : 未接続
	送 受	@GSS,12,3 @GSS,12,3,300	OUT2 のエラーコードを取得。 ・エラーコード : 映像信号が入力されてお らず、音声信号は正常
関連項目	7.16.8 表示機器状態表示		

@GES	モニタ EDID 情報取得	
コマンド書式	@GES, channel, mode [ ]	
返り値書式	@GES, channel, mode, status_1 (, status_2, status_3... ) [ ]	
パラメータ	<p>channel : 出力 1 = OUT1A ~ 4 = OUT4A, 5 = OUT1B ~ 8 = OUT4B<sup>※1</sup></p> <p>※1 「OUT1B」~「OUT4B」は、HDBaseT 出力オプションが搭載されている場合のみ値の取得が可能です。</p> <hr/> <p>mode : 取得するステータス 0 = 1~4 の全て, 1 = モニタ名, 2 = 解像度とピクセルクロック, 3 = HDMI 対応状況およびサンプリング構造と色深度 <sup>※2</sup>, 4 = 音声の対応状況と、サンプリング周波数, ビット長, チャンネル数および圧縮音声の対応状況 <sup>※3</sup></p> <p>※2 HDMI に対応していない表示機器の場合「DVI」と返信します HDMI に対応している表示機器の場合「HDMI」と返信し、続けて対応しているサンプリング構造(RGB, YCbCr 4:2:2, YCbCr 4:4:4 のうち対応しているものを/で区切って返信)-対応している色深度(24, 30, 36 のうち対応しているものを/で区切って返信)の順で返信します</p> <p>※3 音声に対応していない表示機器の場合「AUDIO NOT SUPPORT」と返信します 音声に対応している表示機器の場合「LINEAR PCM」と返信し、続けて対応しているサンプリング周波数(32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192 のうち対応しているものを/で区切って返信)-ビット長(16, 20, 24 のうち対応しているものを/で区切って返信)-チャンネル数(1~8 のいずれか)-圧縮音声に対応していれば「COMPRESSED AUDIO SUPPORT」の順で返信します</p>	
実行例	送 受	<p>@GES,1,0 [ ]</p> <p>@GES,1,0,MSD-804FD, 1920x1080 148.50MHz, DVI, AUDIO NOT SUPPORT [ ]</p>
	送 受	<p>@GES,6,0 [ ]</p> <p>@GES,6,0,MSD-804FD, 1920x1200 154.00MHz, HDMI- RGB/YCbCr422/YCbCr444-24 BIT COLOR, LINEAR PCM-32/ 44.1/48kHz-16/20/24BIT-2 CHANNEL [ ]</p>
		<p>OUT1A に接続された表示機器の EDID 情報を取得。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタ名 : MSD-804FD</li> <li>・解像度 : 1920x1080</li> <li>・ピクセルクロック : 148.50MHz</li> <li>・HDMI : 非対応</li> <li>・音声 : 非対応</li> </ul>
		<p>OUT2B に接続された表示機器の EDID 情報を取得。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタ名 : MSD-804FD</li> <li>・解像度 : 1920x1200</li> <li>・ピクセルクロック : 154.00MHz</li> <li>・HDMI : 対応</li> <li>・サンプリング構造 : RGB/YCbCr 4:2:2/ YCbCr 4:4:4</li> <li>・色深度 : 24BIT COLOR</li> <li>・音声 : 対応</li> <li>・サンプリング周波数 : 32/44.1/48kHz</li> <li>・ビット長 : 16/20/24BIT</li> <li>・チャンネル数 : 2CHANNEL</li> <li>・圧縮音声 : 非対応</li> </ul>
関連項目	7.16.9 表示機器の EDID 情報表示	

@GIV	バージョン情報取得	
コマンド書式	@GIV 	
返り値書式	@GIV, <i>id</i> , <i>ver</i> 	
パラメータ	<i>id</i> : 製品型番	
	<i>ver</i> : ファームウェアバージョン	
実行例	送	@GIV 
	受	@GIV,MSD-804FD,1.00 
		製品の情報を取得。
		製品型番とファームウェアバージョンを返信。
関連項目	7.16.10 バージョン情報表示	

MSD-804FD 取扱説明書 <コマンドガイド>

Ver.1.2.3

発行日 2016 年 08 月 09 日



株式会社 アイ・ディ・ケイ

**本 社** 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1  
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765

**関西営業所** 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第 2 ビル 5 階  
TEL (06) 6192-0764 FAX (06) 6192-0906

**九州営業所** 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-9-2 八百治センタービル 3 階  
TEL (092) 431-0764 FAX (092) 431-0906

**E メールアドレス** info@idk.co.jp **ホームページ** <http://www.idk.co.jp/>